

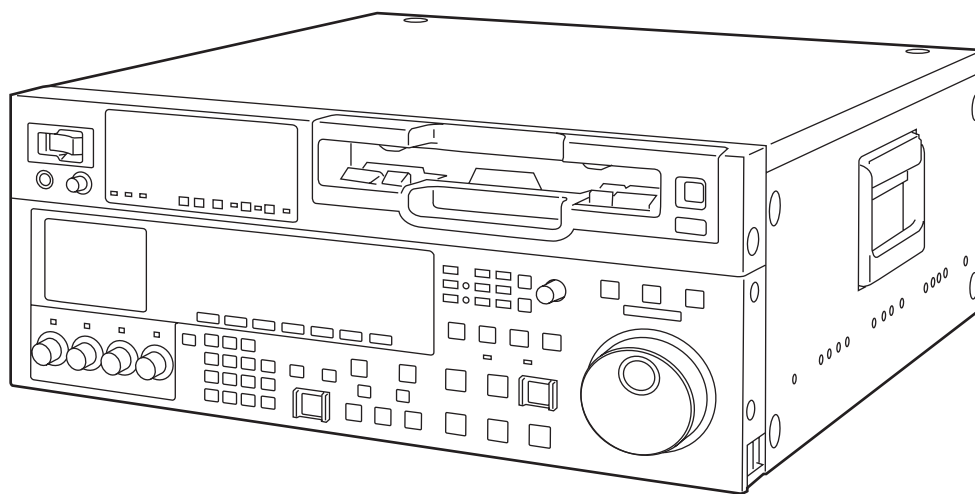
取扱説明書

デジタル HD ビデオカセットレコーダー

品番 AJ-**HD1700**

DVCPRO HD

EX



このたびは、デジタルHDビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4～6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

概要	3	● SETUP MENU/SYSTEM MENU	60
付属品	3	● FILE	62
安全上のご注意	4	● PF1/PF2	64
特長	7	● CARD	69
各部の名称と機能	8	● STOP CODE	72
フロントパネル	8	● 50P IN/OUT ASSIGN	74
タイムコード表示部	16	システムメニュー	80
リアパネル	18	セットアップメニュー	83
接続	20	● BASIC	83
1台での接続例	20	● OPERATION	86
2台での接続例 (デッキ対デッキ)	20	● INTERFACE	89
23/24Hz または 25Hz (HD) モード時の		● EDIT	90
システム接続例	21	● TAPE PROTECT	92
25Hz (SD) モード時のシステム接続例	21	● TIME CODE	93
編集コントローラとの接続例	22	● VIDEO	95
テープについて	23	● AUDIO	100
電源投入/カセット挿入	24	● MENU	106
STOP/STANDBY モード	24	● Dolby-E 機器との接続について	106
記録	25	● システム周波数の切り替え手順	107
再生	26	● 動作モードに応じた記録・再生フォー	
ジョグ/シャトル	27	マットおよび同期信号の選択について	107
手動編集	28	● システム周波数の切り替えに伴う	
プリロール	28	メニュー管理	108
自動編集 (デッキ対デッキ)	29	タイムコード/ユーザズビットについて	113
スイッチの設定と調整	29	タイムコード	113
編集モードの選択	30	ユーザズビット	113
編集点の登録	30	内部タイムコードの設定	113
編集点の確認	31	外部タイムコードの設定	114
編集点の訂正	31	キュータイム登録・プリロール・キューアップ	
プレビュー	32	(HOME, PF1, PF2 画面でのみ機能)	114
自動編集の実行	32	タイムコード/ユーザズビットの再生	114
レビュー	33	スーパーインポーズ画面	115
オーディオスプリット編集	34	音声の記録チャンネルとモニター出力の選択	116
バリエブルメモリー機能	36	表示部のセービングファンクション	117
ファンクションメニュー	38	ラックマウント	118
● 概要	38	ビデオヘッドクリーニング	119
● ファンクションキーの割り当て	39	結露	119
● 設定値の切り替え方法	40	お手入れ	119
● HOME	41	エラーメッセージ	120
● VIDEO	47	ダイアグメニュー	120
● AUDIO	49	ワーニングメッセージ	122
● TC	51	エラーメッセージ	122
● CUE	52	RS-232C インターフェース	124
● DIAG	55	コネクターの信号	130
● MENU	57	回路基板	131
● ASSEMBLE	58	保証とアフターサービス	132
● INSERT	59	定格	133

概要

本機は、1/4 インチ幅の小型カセットテープを使用した DVCPRO HD-LP フォーマットの HD デジタルビデオカセットレコーダーです。

1080/59.94i (60i)、720/59.94p (60p)、1080/50i の HD 信号の記録・再生・編集ができ、既存の DVCPRO(25Mbps/50Mbps)の再生が可能です。

さらに、バリアブルフレームレートカメラで収録した 720/24p over 60p (720/25p over 60p) ソースからは 1080/24psf (1080/25psf) への変換出力が得られ、シネマ製作用途にも応えます。

また、標準装備のフォーマットコンバータの HD-SD 変換により既存の SD システムとのインターフェースや HD システムへの展開が可能です。

高効率デジタル圧縮技術を採用した高画質 VTR で、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は 4U サイズの小型・軽量設計になっていますので持ち運びにも負担が軽く、19 インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

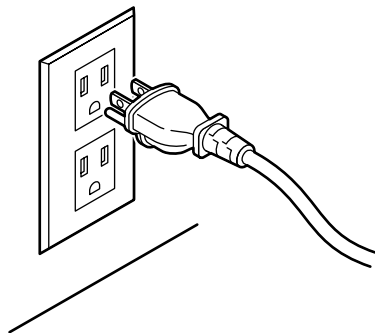
機器のセットアップは、フロントパネルのファンクションボタンやフロントパネルの液晶モニターのメニュー画面を見ながら対話方式で行います。

編集機能としては、アSEMBル・インサートの両編集が行えます。

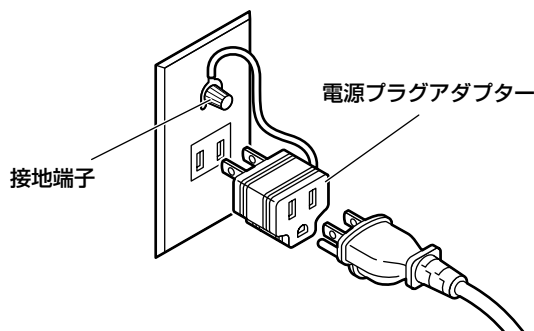
付属品

電源コード(3芯)	1
電源プラグアダプター	1

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



- 2 ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

電源コードや接続コードに重いものを載せない!



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

コンセントや配線機器の定格を越えて使用しない!



禁止

たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する!



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない!



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!



禁止

火災や感電の原因になります。

警告

<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない! 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>水場で使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>本機を改造しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む!</p> <p> 火災や感電の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>	<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする!</p> <p> 火災や感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p>	<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>指定のカバー以外は外さない!</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 	<p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる!</p> <p> プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 	

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p>  <p>コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の上に重い物を置かない!</p>  <p>バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない!</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。 	<p>本機の通風孔をふさがない!</p>  <p>内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 風通しの悪い所に押し込まないでください。 テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。 	<p>持ち上げるときや移動させるときには、十分注意する!</p>  <p>落としたりすると、けがをする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなどして、慎重に取り扱ってください。
<p>カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する!</p>  <p>けがをする恐れがあります。</p> <p>指に注意</p>	<p>本機に乗らない!</p>  <p>倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く!</p>  <p>火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする。</p>  <p>異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。(本機を電源から完全に遮断するには電源プラグを抜く必要があります。)</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p>  <p>本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p> <p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>

特長

小型・軽量

本機は、4UサイズのデジタルVTRです。
ラックマウントアダプター(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大126分記録

DVCPRO HD-LP 記録方式の採用により、新開発の1/4インチXLカセットテープに、最大126分の長時間デジタルHD記録が可能です。

高画質

既存DVCPROの4倍の記録レート(100Mbps)を持った4:2:2 HDコンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

1080i/720p*1、59.94Hz/60Hz/50Hz

スイッチャブル

メニューで切り替えることにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

*1 50Hzのシステム周波数を選択した場合、720pでの記録・再生はできません。

フレームレート変換機能

メニューで切り替えることにより、バリエーションフレームレートカメラで、フレームレートが24fps(25fps)で記録されたテープを再生すると1080/24psf(25psf)に変換して出力することができます。

SDIインターフェース

HDシリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

DVCPROとの互換再生

DVCPRO HD-LP 記録再生の他に、既存のDVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROで記録されたテープを本機で再生することができます。
また、民生のDVテープ(SP)/DVCAMも本機で再生することができます。

デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、-1倍速から+2倍速(DVCPRO HD-LP 記録テープ)までクリアな再生が行えます。

<ノート>

-1/+2倍速に限りなく近いスピードのスロー再生(外部コントローラを使った場合)時、多少のノイズが発生することがあります。

サーチ速度

サーチ速度は正・逆方向に最大100倍速(HD-LP 記録テープ)までカラー画像で再生が可能です。

タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレータ)/TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。
タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力をLTCとして本機に記録することが可能です。

多機能なインターフェース

- **シリアルデジタル入出力**
HDコンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HDコンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを1本のBNCでインターフェースすることができます。(SMPTE 292M、299M/BTA S-004)
また、HD-SDフォーマットコンバータを標準装備しているためSDコンポーネントシリアル信号をも出力することができます。(SMPTE 259M-C、272M-A、294M)
- **アナログビデオ出力**
DVCPRO50/DVCPRO 互換再生、DV再生、DVCAM再生、ダウンコン時にコンポジット信号を出力します。
- **AES/EBU オーディオ入出力**
8チャンネルのデジタルオーディオ入出力端子を装備しています。
- **SDTI 入出力**
SDTIボード(オプション)を使用しますと、圧縮されたコンポーネント信号のままインターフェースが行えます。(SMPTE 305M、321M)
- **SD信号のアップコンバート記録**
入力アップコンバータボード(オプション)を使用しますと、SDコンポーネントシリアル信号(SMPTE 259M-C)をアップコンバートしてHD信号として記録できます。
- **9ピンRS-422A/RS-232C リモート**
標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)の他、RS-232Cおよび50ピンパラレルのリモート端子を装備しています。
RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

8チャンネルのPCMオーディオを持ち、8チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。
アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

メニュー方式のセットアップ

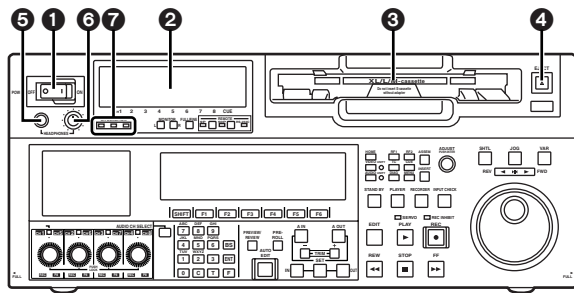
本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機の液晶モニターまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

液晶モニター付き多機能フロントパネル

映像確認用の液晶モニター、操作ボタン、大型表示パネルなどの多機能を4Uサイズに納め、操作性の向上を実現しました。

各部の名称と機能

フロントパネル

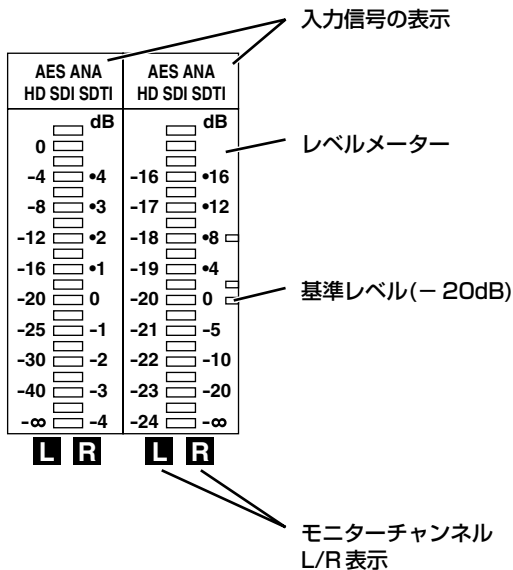


① POWER スイッチ

② オーディオレベルメーター

オーディオ情報の表示を行います。

- PCM オーディオ信号の CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8 と CUE トラック信号の各レベル
- 記録時および E-E 選択時には入力信号のレベルを表示
再生時には出力信号の各レベルを表示
INPUT CHECK 時には CH1 ~ CH8 で入力信号のレベルを表示
- 各チャンネルごとの入力信号の表示
選択された入力信号のインジケータが点灯します。(SD SDI 入力選択時は SDI が点灯します。) 選択された入力信号のない場合、AES/HDSDI/SDI/SDTI 時は点滅し、ANA 時は点灯のままとなります。
なお、内蔵信号(INT SG)が選択されたときは、AES/ANA/HD SDI/SDTI のインジケータが全て点灯します。
23/24Hz モードまたは 25Hz (HD、SD) モード時は全て消灯します。



③ カセット挿入口

オレンジ色のプレートが見えているときはすでにカセットテープが挿入されています。

④ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンタ表示部が CTL 表示の時は、表示がリセットされます。

⑤ ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

⑥ 音量調整ダイヤル

ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニュー No.712(MONI OUT)で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。) 分離させた時には、モニター出力は UNITY 値(既定値)になります。

⑦ チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。
(緑 → アンバー → 赤)

緑：

ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。

アンバー：

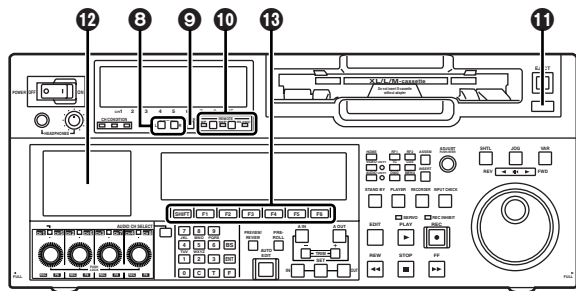
ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。
このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤：

ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。

各部の名称と機能

フロントパネル



⑧ MONITOR SELECT ボタン

モニター L/R とヘッドホンジャックに出力する音声信号を切り替えるためのボタンです。

- <AUDIO SHIFT2> メニューの **[F6]**

M MIX = OFF の時(工場出荷設定) :

「L」(又は「R」)ボタンを押すたびに、モニター L(又はモニター R)に出力する信号を CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8、CUE、CH1、・・・と切り替えることができ、オーディオレベルメーターに表示されます。

- <AUDIO SHIFT2> メニューの **[F6]**

M MIX = L, R, L/R の時 :

複数のチャンネルの信号をミックスして出力することができます。

「L」(又は「R」)ボタンを押しながら、数字キーでモニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャンネルが選択され、オーディオレベルメーターに表示されます。(また、同様の操作で、すでに選択されているチャンネルを非選択にします。)

ただし、CH1～CH4のうち最大2チャンネル、CH5～CH8のうち最大2チャンネルの選択となります。

選択例：CH1+CH3+CH5+CH8 は可。
CH1+CH2+CH4 は不可。

⑨ METER(FULL/FINE)切り替えスイッチ

オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切り替えるボタンです。

FULL モード :

セットアップメニュー No. 763(METER SCALE)の設定に応じて $-\infty \sim 0$ dB(基準レベルを -20 dB 表示)又は、 $-\infty \sim +20$ dB(基準レベルを 0 dB 表示)の範囲を表示します。

FINE モード :

セットアップメニュー No. 763(METER SCALE)の設定に応じて $-24 \sim -15$ dB(基準レベルを -20 dB 表示)または、 $-4 \sim +5$ dB(基準レベルを 0 dB 表示)の範囲を 0.5 dB ごとのスケールで表示します。

⑩ REMOTE ボタンと RS-232C 表示

REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切り替えます。

9P :

ボタンを2秒以上押すとLEDが点灯して、9ピンのREMOTEに切り替わります。

50P :

ボタンを2秒以上押すとLEDが点灯して、50ピンパラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールすることができます。

RS-232C 表示 :

RS-232C 端子に接続された機器と本機が通信可能なとき、このLEDが点灯します。

⑪ AUTO OFF ランプ

本機の動作に異常が発生した時に点灯し、タイムコード表示部にその内容を表示します。

⑫ 液晶モニター

テープの再生画やEE画の確認用のモニターです。HDテープ再生時は、ダウンコンバートしてレターボックスで表示します。

SDテープ再生時は、4 : 3のアスペクト比で表示します。オンスクリーンメニューも表示できます。

また、フロントからの操作やテープ走行が行われない状態で放置しておくモニター保護のため、自動的にモニター表示をオフにします。

なお、本機の動作が開始されると、モニター表示がオンになります。

<ノート>

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや常時点灯する画素がでることがあります。これらの画素はテープには記録されません。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

⑬ ファンクションボタン

ファンクションメニュー(詳細は、38ページ参照)およびセットアップメニュー操作として使用します。

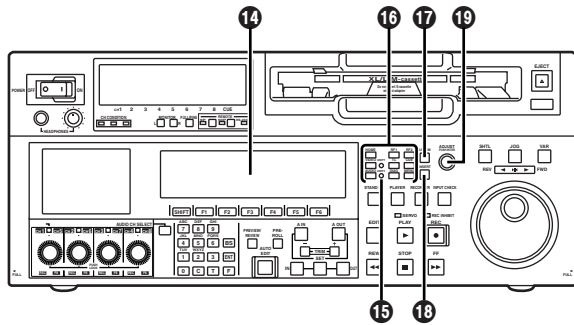
[SHIFT] : 現在のファンクションメニュー(**[F1]**～**[F6]**)のページを切り替えます。

[F1]～**[F6]** : タイムコード表示部下方に枠で囲まれている設定項目の設定値を変えます。

設定値を変えるには、**[F1]**～**[F6]** ボタンを希望の数値になるまで押し続けるか、一度**[F1]**～**[F6]** ボタンを押して設定項目の設定値をハイライト点灯させた後、希望の数値になるまでADJUSTダイヤルを回します。

各部の名称と機能

フロントパネル



14 タイムコード表示部

ダイレクトメニューボタン 16 に応じた各種データ/VTR ステータス情報/テープフォーマット情報/ワーニング情報などを表示します。(表示の詳細は 16 ページ参照)

15 UNITY ランプ

VIDEO UNITY ランプ :

HD/SD のすべての出力レベルが UNITY であれば点灯します。

AUDIO UNITY ランプ :

PCM/CUE AUDIO の入出力レベルが UNITY であれば点灯します。(セットアップメニュー No. 142 AUDIO UNITY の設定に従います。)

16 ダイレクトメニューボタン

タイムコード表示部内のファンクションメニューをダイレクトに切り換えるボタンです。

HOME :

記録・再生・TC 操作の最も基本的な設定を行います。

VIDEO :

VIDEO 信号の基本的な入出力設定を行います。HD 出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

AUDIO :

AUDIO 信号の基本的な入出力設定を行います。

PF1 :

ファンクションキーにユーザー定義のメニューを登録することができます。

PF2 :

ファンクションキーにユーザー定義のメニューを登録することができます。

TC :

タイムコードに関する設定を行います。タイムコードスーパーの表示設定もこの画面で行うことができます。

CUE :

60 点までキュー点を設定することができます。PAGE モードでは 6 点を 1 ページとして、6 点 × 10 ページのキュー点をページ単位で管理することができます。

DIAG :

ワーニング/アワーメータが確認できます。SHIFT 画面ではエラーログファイルの確認、削除ができます。

MENU :

SYSTEM、SETUP メニューに関する操作(調整、内部メモリおよび IC カードへの SAVE/LOAD)画面へ移動できます。

各ファンクションメニューの詳細は、38 ページ以降を参照ください。

17 ASSEM ボタン

アSEMBル編集をする時に使用します。

ASSEM ボタンを押すと、タイムコード表示部に <ASSEMBLE> メニューが表示されます。[F1] で ASSEM を ON にするとアSEMBル編集が可能になり、ASSEM ボタンが点灯します。

ほかのダイレクトメニューで移動しても ASSEM ボタンが点灯している時は、アSEMBルモードとなっています。

アSEMBルモードを解除するには、<ASSEMBLE> ▶ [F1] ASSEM = OFF にすれば ASSEM ボタンは消灯し、解除になります。

18 INSERT ボタン

インサート編集をする時に使用します。

INSERT ボタンを押すと、タイムコード表示部に <INSERT> メニューが表示され、編集したい信号を選択するファンクションメニューが表示されます。

編集したい信号を選択するには、ファンクションキーを押してハイライト表示になれば選択された表示となります。

選択を解除するには、もう一度ファンクションキーを押してください。

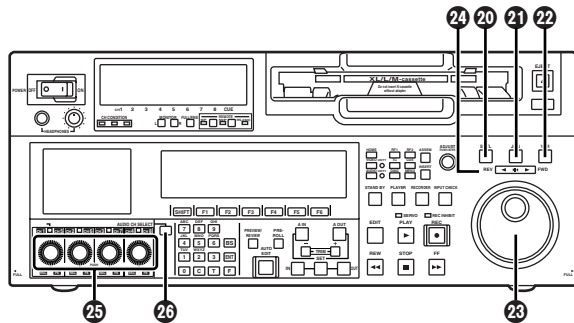
V/A1/A2/A3/A4/CUE の選択は [F1] ~ [F6]、A5/A6/A7/A8/TC の選択は [SHIFT] + [F2] ~ [F6] となります。

19 ADJUST ダイヤル

メニューなどの操作に使用します。

各部の名称と機能

フロントパネル



20 SHTL ボタン

SHUTTLE 再生をするときはこのボタンを押してサーチダイヤル 23 で操作します。

ダイヤルを回し、任意の位置で止めると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。

21 JOG ボタン

JOG 再生をするときはこのボタンを押してサーチダイヤル 23 で操作します。

セットアップメニュー No.310(JOG FWD MAX)、No.311(JOG REV MAX)で設定した速度範囲内で、ダイヤルの回転速度に応じて再生します。

22 VAR ボタン

VAR 再生をするときはこのボタンを押してサーチダイヤル 23 で操作します。

ダイヤルを左一杯に回すと - 4.9 倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと + 4.9 倍速になります。

SLOW の速度は、セットアップメニュー No.308(VAR FWD MAX)、No.309(VAR REV MAX)で選択できます。

23 サーチダイヤル

編集点を探すためのダイヤルです。

SHTL/JOG/VAR ボタンを押してダイヤルを有効にするか、ダイヤルを回すだけで有効になるかは、セットアップメニュー No.100(SEARCH ENA)で切り替えることができます。

24 REV/STILL/FWD ランプ

サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。

REV :

ダイヤルを左に回すと点灯し、SHTL/JOG/VAR ボタンが点灯している時は、テープが REV 方向に走行します。

STILL :

JOG ボタンが点灯している時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、テープ走行も停止します。

SHTL/VAR モード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。

FWD :

ダイヤルを右に回すと点灯し、SHTL/JOG/VAR ボタンが点灯している時は、テープが FWD 方向に走行します。

25 オーディオ入出力レベルの調整ダイヤル

PCM オーディオ信号の CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8 の各記録および再生レベルを調整するダイヤルです。

- ボリューム操作の LOCK/UNLOCK の切り換え
ダイヤルを押すとダイヤル上の LED が点灯 (LOCK)/消灯 (UNLOCK) になります。

LOCK (点灯) 状態の時は、現在のオーディオレベルに対応する表示セグメントのみ点灯し、ダイヤルを回してもオーディオレベルは変えられません。

UNLOCK (消灯) 状態は、現在のオーディオレベルに対応する表示セグメントおよびその下のすべての表示セグメントが点灯し、オーディオレベルを変えられます。

- UNITY/VAR の切り替え

UNLOCK 状態で数字キーの [F] キーを押しながら、ダイヤルのつまみを押すと UNITY/VAR を切り替えることができます。

中央で点灯しているセグメントの位置が UNITY を表します。

- REC/PB の切り替え

AUDIO ファンクションメニューの "AUDIO SHIFT2" の [F1] にて AUTO/REC/PB のボリューム機能の切り替えができます。

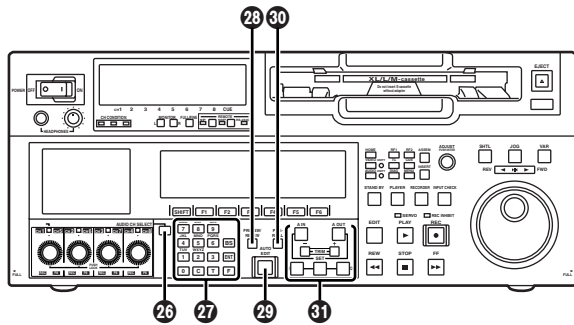
AUTO は記録や EE、INPUT CHECK 時に REC ボリューム、再生時に PB ボリュームと自動的に切り替わります。

- CH1 ~ CH4 と CH5 ~ CH8 の切り替え

AUDIO CH SELECT 26 で切り替えます。

各部の名称と機能

フロントパネル



26 オーディオチャンネル切り替えボタン

CH1 ~ CH4 または CH5 ~ CH8 のオーディオボリューム制御をこのボタンで切り替えます。このボタンを押すたびにオーディオボリューム上のチャンネル表示 LED が切り替わります。

27 数字キー

CUE 点、編集点などの数値を入力します。
[F] キーを押しながら [1] ~ [9] までの数字を押すとユーザービットで使う A ~ F までやファイル名として使う A ~ Z までのアルファベットを入力することができます。
ひとつの数字キーに複数のアルファベットを割り当てているため、同じ数字キーを押すとアルファベットが切り替わっていきます。入力する位置を変えたい場合は ADJUST ダイアルで位置を変えて入力して下さい。

28 PREVIEW/REVIEW ボタン

PREVIEW :

編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。

IN 点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点を IN 点として登録し、プレビューを実行します。

REVIEW :

1 区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダー側のモニターで見ることができます。

29 AUTO EDIT ボタン

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。

IN 点が登録されていない時に押すと、押した点を IN 点として自動編集を実行します。

30 PREROLL ボタン

送出や手動編集の頭出しに使用します。押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。

HOME, PF1, PF2 画面でキュータイムが登録されている場合 :

<HOME SHIFT> メニューの [F1] PREROL で設定したプリロール時間を使って登録されたキュータイムからプリロールします。

CUE 画面でサーチモードの場合 :

<CUE SHIFT> メニューの [F5] CU-ROL で設定したプリロール時間を使って選択されたキュー点からプリロールします。

選択されたキュー点が未登録の場合や、キュー点登録モードの場合は、プリロール動作はしません。

上記以外の場合 :

<HOME SHIFT> メニューの [F1] PREROL で設定したプリロール時間を使って登録された IN 点(IN 点が登録されていないときは現在のテープ位置)からプリロールします。

IN 点が登録されていないときに押すと、現在のテープ位置を IN 点として自動登録します。(ただし、セットアップメニュー No.305(AUTO ENTRY)を「ENA」にした場合)

IN(A IN)または OUT(A OUT)ボタンと同時に押すと、その登録点にキューアップすることができます。また、HOME, PF1, PF2 画面で登録されているキュータイムにキューアップするには、数字キーの [F] キーを押しながら、PREROLL ボタンを押します。

31 IN(A IN)/SET/OUT(A OUT)ボタン

SET ボタンと同時に押し、IN(A IN)/OUT(A OUT)点を登録します。

A IN/A OUT は、オーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオの IN/OUT 点を登録するために使用します。

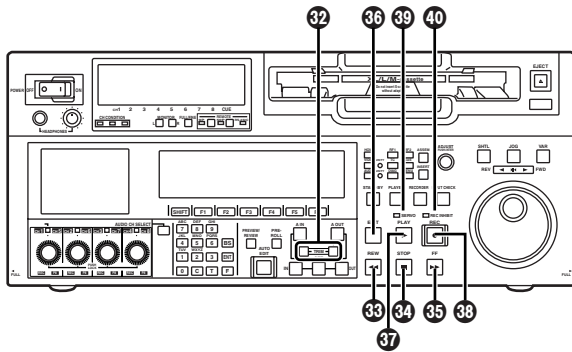
IN(A IN)/OUT(A OUT)点が登録されている時には、登録されている IN(A IN)ボタン、もしくは OUT(A OUT)ボタンが点灯します。

登録した後にこれらのボタンを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の値がカウンタ表示部に表示されます。

IN(A IN)/OUT(A OUT)ボタンを押しながら、[C] キーを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の登録が削除できます。

各部の名称と機能

フロントパネル



32 TRIM ボタン

IN/OUT 点の微修整用のボタンです。
IN ボタンまたは OUT ボタンを押しながら、+ または - ボタンを押すと、登録した編集点を 1 フレーム単位で修整できます。+ ボタンを押すと 1 フレーム進み、- ボタンを押すと 1 フレーム戻ります。
また、PLAY ボタンを押しながら、+ または - ボタンを押すと、再生位相の調整ができます。

33 REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。
巻き戻しの速度は、セットアップメニュー No.102(FF. REW MAX)で選択ができます。

34 STOP ボタン

押すとテープ走行が停止し、<HOME>メニューの [F1] OUTPUT = TAPE の時には、静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

35 FF ボタン

押すと、テープを早送りします。
早送りの速度は、セットアップメニュー No.102(FF. REW MAX)で選択ができます。

36 EDIT ボタン

手動編集をする時、PLAY 中に EDIT ボタンと PLAY ボタンを同時に押します。
ストップモード中にこのボタンを押すと、<ASSEMBLE>メニューまたは<INSERT>メニューで選んだモードの入力信号を E-E モードでモニターすることができます。
STOP ボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押ししている間、<ASSEMBLE>メニューまたは<INSERT>メニューで選んだモードの入力信号を E-E モードでモニターすることができます。

<ノート>

サーチモードでのオーディオの再生音は保障できません。

37 PLAY ボタン

押すと再生が始まります。
REC ボタンと同時に押すと記録が、PLAY 中に EDIT ボタンと同時に押すと手動編集が始まります。
ただし、サーボがロックしていない時は手動編集にはなりません。
手動編集中に PLAY ボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。

38 REC ボタン

PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。

39 SERVO ランプ

ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。

40 REC INHIBIT ランプ

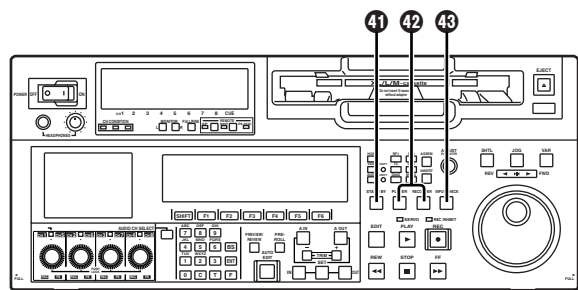
カセットテープの誤消去防止機構の状態と<HOME>メニューの [F6] REC INH の選択内容によって点灯、消灯します。点灯中はテープへの記録は禁止されます。

カセットテープの誤消去防止機構	REC INH メニュー	REC INHIBIT ランプ	動作内容
記録禁止	—	点灯* (または遅い点滅)	全ての記録禁止
記録可能	OFF	消灯	全ての記録可能
	ALL	点灯	全ての記録禁止
	PRE	速い点滅	上書き記録禁止
	NORM	速い点滅	通常の記録禁止編集可能
	V/CTL	速い点滅	映像信号と CTL 信号が記録禁止

* : セットアップメニュー No.114 REC INH LAMP で点灯/点滅が切り替えられます。

各部の名称と機能

フロントパネル



④ STAND BY ボタン

通常の STOP 時と同じテープテンションがかかります。ヘッドドラムの回転中は、ボタンが点灯してスタンバイ ON モードであることを示します。ストップ・モード中にこのボタンを押すと、スタンバイ OFF モードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。スタンバイ OFF モードの時にこのボタンを押すか、または STOP ボタンを押すと、スタンバイ ON モードになります。また、STOP ボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。スタンバイ OFF モードへの移行時間はセットアップメニューで設定できます。

④2 PLAYER/RECORDER ボタン

本機と RS-422A シリアルインターフェースのリモコン端子(9ピン)を装備した VTR を使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。

PLAYER ボタン :

押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。

RECORDER ボタン :

押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ(本機)に対して働くようになります。

- セットアップメニュー No.200(PARA RUN)で「ENA」を選択した状態で、PLAYER ボタンまたは RECORDER ボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパララン(パラレルラン)操作時のマスター機となります。ただし、本設定時には REMOTE 端子(9ピン)からの外部コントロールはできなくなります。

④3 INPUT CHECK ボタン

押している間だけ、モニター出力端子から入力信号を出力し、入力ビデオ・オーディオをモニターできます。タイムコード表示はタイムコードジェネレータを確認することができます。INPUT CHECK ボタンを離した後も、タイムコードジェネレータの値を表示し続けるにはセットアップメニュー No.517(TCG OUT)で「LATCH」を選択します。

<ノート>

CUE 信号、SDTI 信号は INPUT CHECK が機能しません。EE 状態で入力信号をモニターできます。

各部の名称と機能

フロントパネル

INPUT_CHECK 出力仕様

VIDEO (59/60Hz モード)

入力選択 (MENU 600)	INT SG (59.94Hz/ 60Hz)	HD SDI (59.94Hz/ 60Hz)	SD SDI (59.94Hz)	SDTI (59.94 Hz)
出力系				
HD SDI (MONITOR) (59.94Hz/60Hz)	INT SG (selected signal)	HD SDI (input signal)	MUTE (BLACK)	本線系と同等*
SD SDI (MONITOR) (59.94Hz)	MUTE (BLACK)	MUTE (BLACK)	SD SDI (input signal)	本線系と同等*
LCD (MONITOR) (59.94Hz/60Hz)	INT SG (selected signal)	HD SDI (input signal)	SD SDI (input signal)	本線系と同等*
VIDEO OUT3 (59.94Hz)	本線系と同等*	本線系と同等*	本線系と同等*	本線系と同等*

VIDEO (50Hz モード)

入力選択 (MENU 600)	INT SG (50Hz)	HD SDI (50Hz)	SD SDI (50Hz)
出力系			
HD SDI (MONITOR) (50Hz)	INT SG (selected signal)	HD SDI (input signal)	MUTE (BLACK)
SD SDI (MONITOR) (50Hz)	MUTE (BLACK)	MUTE (BLACK)	SD SDI (input signal)
LCD (MONITOR) (50Hz)	INT SG (selected signal)	HD SDI (input signal)	SD SDI (input signal)
VIDEO OUT3 (50Hz)	本線系と同等*	本線系と同等*	本線系と同等*

< ノート >

- SD SDI 入力選択には AJ-UC1700G (オプション) が必要です。
- SDTI 入力選択には AJ-YAC150P (オプション) が必要です。
- INT SG 入力選択時の信号は MENU No.601 で選択されます。
- 23/24Hz モードまたは 25Hz (HD、SD) モード選択時は INPUT CHECK 動作しません。

* SDTI 入力選択時は、INPUT CHECK 動作しません。

AUDIO

出力系	MONITOR(L,R) 選択	
	CH1 ~ CH8	CUE
MONITOR L	Lch 選択 CH が設定しているオーディオ入力*2	本線系と同等*1
MONITOR R	Rch 選択 CH が設定しているオーディオ入力*2	本線系と同等*1
HEAD PHONE L	Lch 選択 CH が設定しているオーディオ入力*2	本線系と同等*1
HEAD PHONE R	Rch 選択 CH が設定しているオーディオ入力*2	本線系と同等*1
HD SDI (MONITOR) (エンベデッドオーディオ)	本線系と同等*1・3	
SD SDI (MONITOR) (エンベデッドオーディオ)	本線系と同等*1・3	

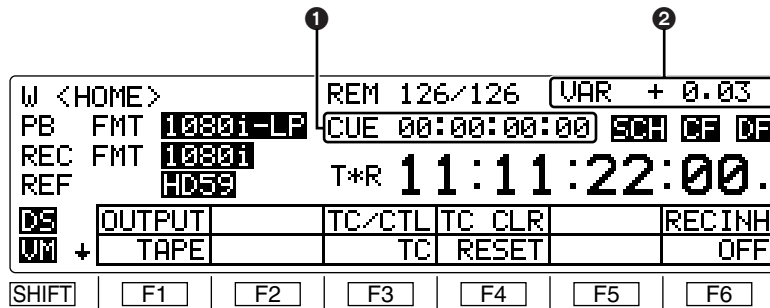
*1 INPUT CHECK 動作しません。VTR 動作モードに応じた信号が出力されます。

*2 SETUP MENU No.713 ~ 724 で設定します。ただし、VIDEO 入力 SDTI 選択時は INPUT CHECK 動作しません。

*3 VIDEO INPUT と OUTREF が非同期の場合はノイズがでる場合があります。

各部の名称と機能

タイムコード表示部



①キュータイム表示

現在登録されているキュータイムを表示します。
(キュータイムの操作は“キュータイム登録・プリロール・キューアップ” 114 ページを参照)
キュータイムの操作は、HOME, PF1, PF2 画面のみ可能です。

②動作モード(スピード)表示

現在の動作モードを表示します。(スピード表示を含む)

EJECT :

イジェクトモード

STANDBY OFF :

スタンバイオフモード

T.RELEASE :

テンションリリースモード

STOP :

ストップモード

PREROLL :

プリロールモード

PLAY :

再生モード

PLAY + :

特殊再生(再生位相の調整)モード(FWD 方向)

PLAY - :

特殊再生(再生位相の調整)モード(REV 方向)

REC : 記録モード

JOG(REV/STILL/FWD) :

ジョグモード

VAR(速度 - 4.9 ~ + 4.9) :

バリエابلモード

SHTL(速度 - 32.0 ~ + 32.0) :

シャトルモード

FF :

早送りモード

REW :

巻き戻しモード

EDIT :

編集モード

AUTO EDIT :

自動編集モード

PREVIEW :

プレビューモード

REVIEW :

レビューモード

- <HOME SHIFT>メニューの[F6](VARMEM)を「ON」にした場合

DSPD(速度 - 1.0 ~ + 2.0) :

バリエابلメモリの初期速度設定時

DSMP(速度 - 1.0 ~ + 2.0) :

バリエابلメモリの再生速度記憶モード時

DPLY(速度 - 1.0 ~ + 2.0) :

バリエابلメモリの再生モード時

DPRV(速度 - 1.0 ~ + 2.0) :

バリエابلメモリ編集のプレビューモード時

DEDT(速度 - 1.0 ~ + 2.0) :

バリエابلメモリ編集の実行モード時

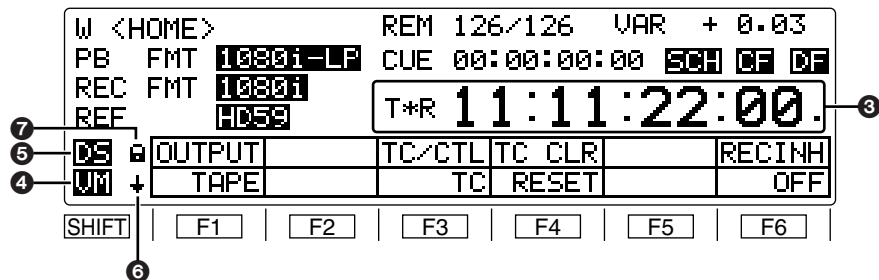
- セットアップメニュー No.013(DET STOP)を「ON」にした場合

D-STOP :

PLAY 再生時、STOP CODE を検出し強制停止

各部の名称と機能

タイムコード表示部



③ タイムカウンタ表示

- CTL : CTL カウンタのデータ
- TCG : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
- UBG : タイムコードジェネレータのユーザービットデータ
- tcg : タイムコードジェネレータのタイムコードデータのプリセット時
- ubg : タイムコードジェネレータのユーザービットデータのプリセット時
- TCR/T*R : タイムコードリーダーのタイムコードデータ
- UBR/U*R : タイムコードリーダーのユーザービットデータ

タイムコードデータやユーザービットデータが正しく読み取れなかった場合は、“T*R”、“U*R”のように表示され、CTLがある場合はCTLによりタイムコードデータは補完されます。

TCR 00:00:00:00.
(59/60Hzモードのみ)

ドロップフレームマーク:
“:” : ノンドロップフレーム
“.” : ドロップフレーム

フィールドマーク:
“ ” : 第1フィールド
“. ” : 第2フィールド
(±0.3倍速を越える場合は表示されません。)

④ バリアブルメモリモードインジケータ

<HOME SHIFT>メニューの [F6] (VARMEM)を「ON」にした場合に表示されます。VM点灯中は、常時バリアブルメモリ操作可能です。(詳細は、“バリアブルメモリー機能” 36ページを参照)

⑤ DETECT STOP MODE インジケータ

<STOP CODE>メニューの [F2] (DET ST)を「ON」にした場合に表示されます。DS点灯中、PLAY再生中にSTOP CODEを検出するとテープ走行が停止します。(詳細は、“ファンクションメニュー <STOP CODE>” 72ページを参照)

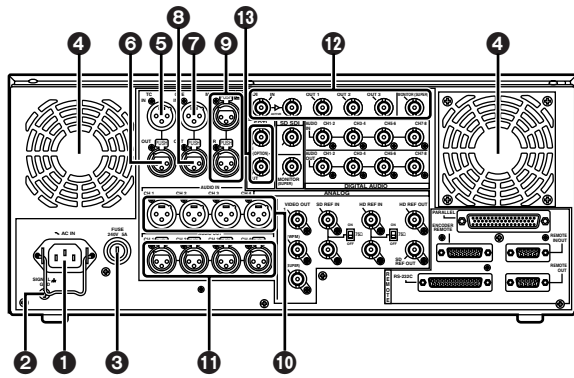
⑥ 裏ページメニューインジケータ

⑦ ファンクションボタンの操作禁止インジケータ

[F]ボタンを押しながら[BS]ボタンを押した場合に表示されます。このとき、ファンクションボタンの操作を禁止することができます。もう一度[F]ボタンを押しながら[BS]ボタンを押すと、表示が消えてファンクションボタンを操作できるようになります。

各部の名称と機能

リアパネル



① AC IN コネクター

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

② SIGNAL GND 端子

ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

③ ヒューズホルダー

5Aのヒューズが入っています。

④ ファン

本機の冷却用のファンです。
ファンがなんらかの異常で停止した時には、**W**がタイムコード表示部に表示され、ビーブ音が鳴ります。
ワーニングの状態で継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。

⑤ TIME CODE IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

⑥ TIME CODE OUT 端子

再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。

⑦ CUE IN 端子

CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。
セットアップメニュー No.704(CUE IN LV)で-60dB入力モードを選択することにより、マイクからの音声信号の記録もできます。

⑧ CUE OUT 端子

CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。

⑨ MONITOR OUT 端子

PCMオーディオ信号 CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8 または CUE 信号を出力します。

⑩ ANALOG AUDIO IN 端子

アナログオーディオの入力端子です。
(CH1/CH2/CH3/CH4)

⑪ ANALOG AUDIO OUT 端子

アナログ・オーディオ信号を出力します。
(CH1/CH2/CH3/CH4)

⑫ HD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子/ACTIVE THRU

SMPTE 292M、299M 規格に準拠した、HD デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
HD SDI MONITOR からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。
INPUT CHECK 時は 15 ページの INPUT CHECK 出力表を参照してください。

⑬ SDTI IN/OUT 端子(SDTI オプション)*1、SD SDI IN/ACTIVE THRU(SD アップコンバータ、オプション)*2

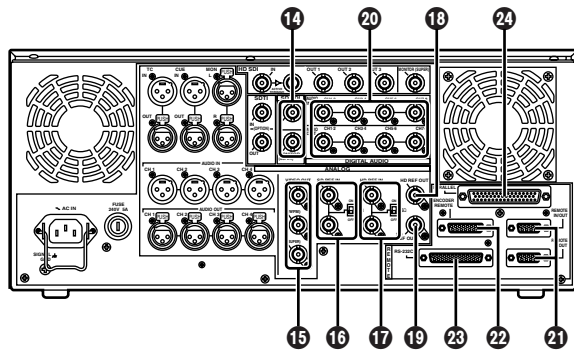
*1 : SMPTE 305M、321M 規格に準拠した圧縮データの入出力信号です。
*2 : SMPTE 259M-C 規格に準拠した SD SDI 信号を HD にアップコンして記録できる入力端子です。

<ノート>

- SD シリアルデジタル入力オプション(AJ-UC1700G)と SDTI 入力オプション(AJ-YAC150P)は同時に挿入できません。いずれか一方のみで使用してください。
- システムメニュー項目 25 (SYSTEM REQ) で 25Hz (HD、SD) または 50Hz モードを選択している時、SDTIは機能しません。

各部の名称と機能

リアパネル



14 SD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT 端子

SMPTE 259M-C、272M-A、294M 規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の出力端子です。

DVCPRO25M/50M/DV/DVCAM 互換再生時、ダウンコン出力時に出力します。SD SDI MONITOR からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。

また、セットアップメニュー No.606(SD MONI O SEL)で SD SDI MONITOR 出力を、SDSDI OUT1(スーパーインポーズなし)と同じ出力にすることができます。

<VIDEO>メニューの **[F1]** (VID IN)で「SD SDI」を選択し、No.107(EE MODE SEL)で「THRU」を選択したときは、EEモードの SD SDI MONITOR 出力にはスーパーインポーズは付加されず、SD SDI OUT1 と同じ出力となります。

- <VIDEO>メニューの **[F1]** (VID IN)で「SD SDI」を選択するにはオプションボード AJ-UC1700G が必要です。
- INPUT CHECK 時は 15 ページの INPUT CHECK 出力表を参照してください。ラインコンバート時はミュートされます。

<ノート>

23/24Hz モードでは、SD SDI 出力、アナログコンポジットビデオ出力のシステム位相は、HD SDI 出力と位相を合わせるために、テープ走行が 1 倍速になった時、変化する場合があります。

15 ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT 端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。DVCPRO25M/50M/DV/DVCAM 互換再生時、ダウンコン出力時に出力します。

VIDEO OUT3 の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。

スーパーの ON/OFF はセットアップメニュー No.005(SUPER)で選択します。

VIDEO OUT2 の端子は、WFM(ウェーブフォーム) OUT として使用することができます。

メニューで切り替えられる信号は TC、CTL、VIDEO、RF L/R、ENV L/R です。

INPUT CHECK 機能はありません。ラインコンバート時はミュートされます。

16 SD REF IN 端子と 75 Ω 終端スイッチ

SD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。カラーバースト付きのコンポジット信号を入力してください。終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

17 HD REF IN 端子と 75 Ω 終端スイッチ

HD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。正負両極性 3 値同期信号を入力してください。終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

18 HD REF OUT 端子

外部同期用の HD リファレンス・ビデオ信号の出力端子です。

正負両極性 3 値同期信号を出力します。

メニュー No.020 の SYS FORMAT に準じた出力となります。

19 SD REF OUT 端子

外部同期用のコンポジット信号(ブラックバースト信号)を出力します。

20 DIGITAL AUDIO IN/OUT 端子

AES/EBU 規格に準拠したデジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

21 リモートコントロール端子

本機を 2 台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。

リモートコントロール端子は、IN/OUT 用と OUT 用との 2 つがあります。

IN/OUT :

外部コントローラと接続

デッキ対デッキ操作時に接続

OUT :

パララン操作時に接続

ループスルーとして使用

22 ENCODER REMOTE 端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダーリモートコントローラを接続します。

23 RS-232C 端子

24 PARALLEL REMOTE 端子

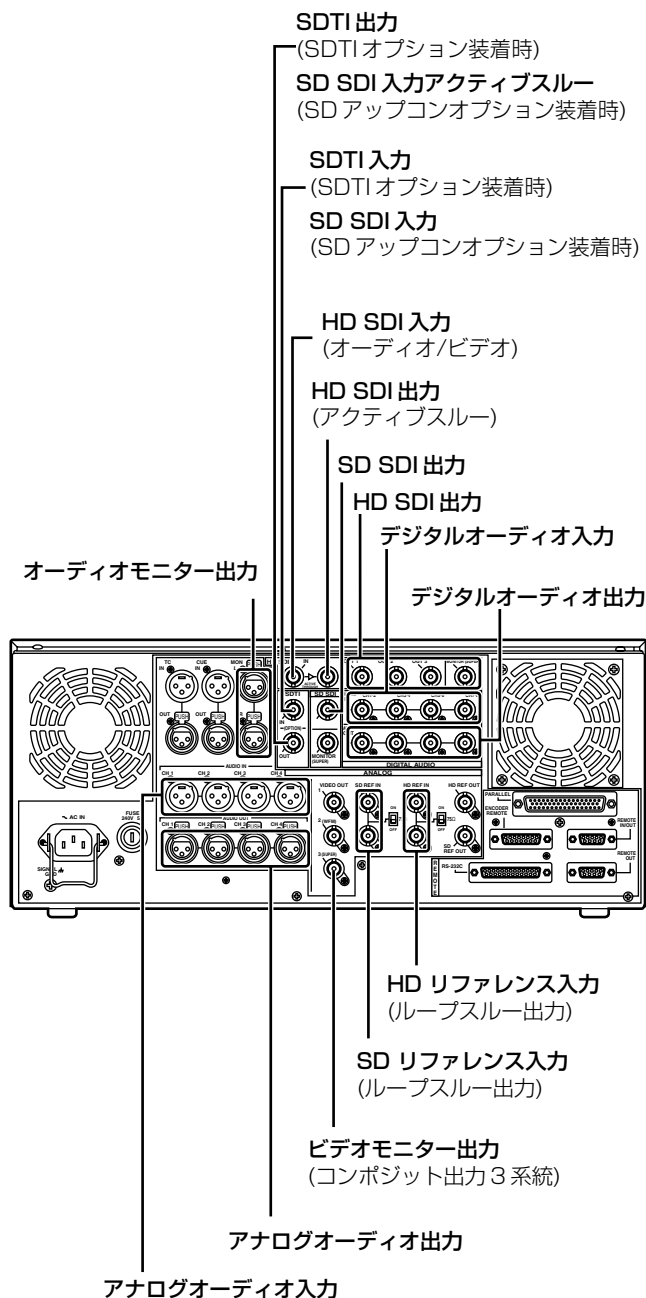
本機を外部から操作する時に使用します。

接 続

1 台での接続例

プレーヤー側：

フロントパネルのREMOTE LED^⑩が点灯していない状態(Localモード)にします。



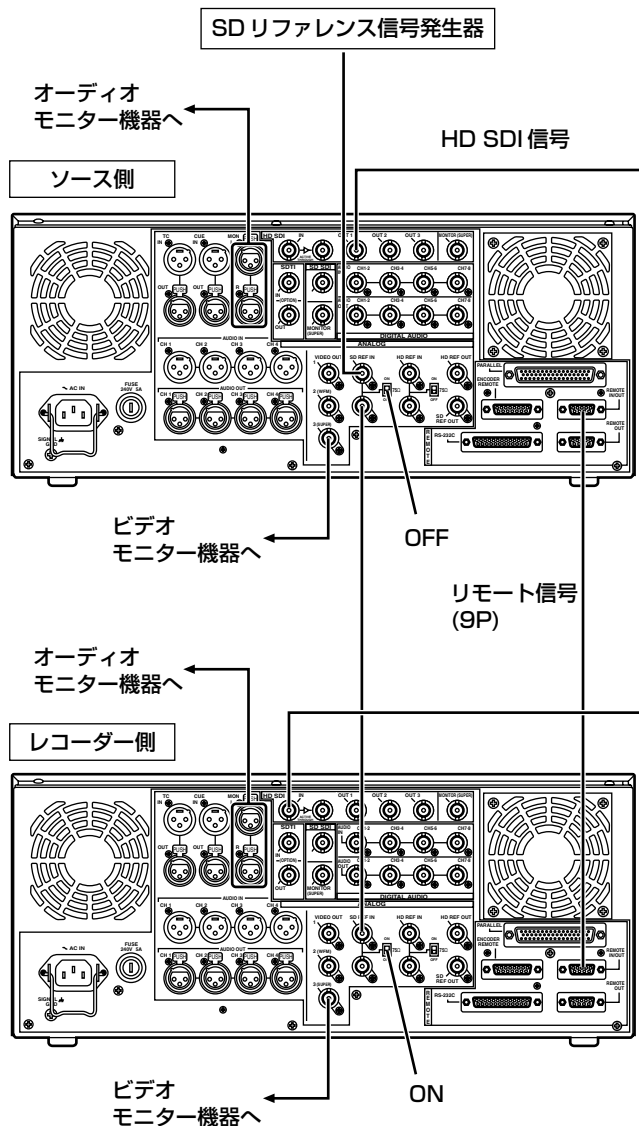
2 台での接続例(デッキ対デッキ)

ソース側：

フロントパネルのREMOTE ボタン「9P」を2秒以上押し、REMOTE状態にします。(9P LED点灯)

レコーダ側：

フロントパネルのREMOTE LED^⑩が点灯していない状態(Localモード)にします。



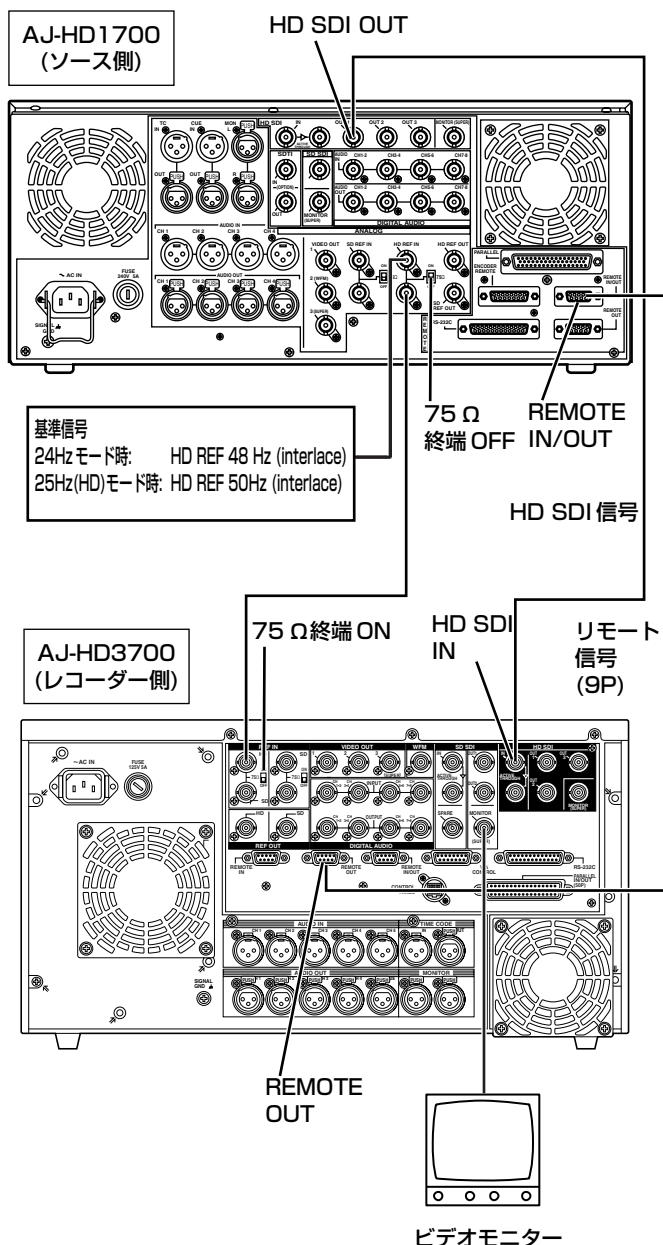
接 続

23/24Hz または 25Hz (HD) モード時のシステム接続例

本機では、バリエーションフレームレートカメラを使用し、フレームレートを 24fps (25fps) で記録したテープを再生すると、1080/24psf (1080/25psf) に変換して出力でき、AJ-HD3700 シリーズとダイレクト編集が可能です。

下図はデッキ対デッキの接続例です。

REF 入力は、HD REF 入力に 48Hz (50Hz) のリファレンス信号を入力してください。

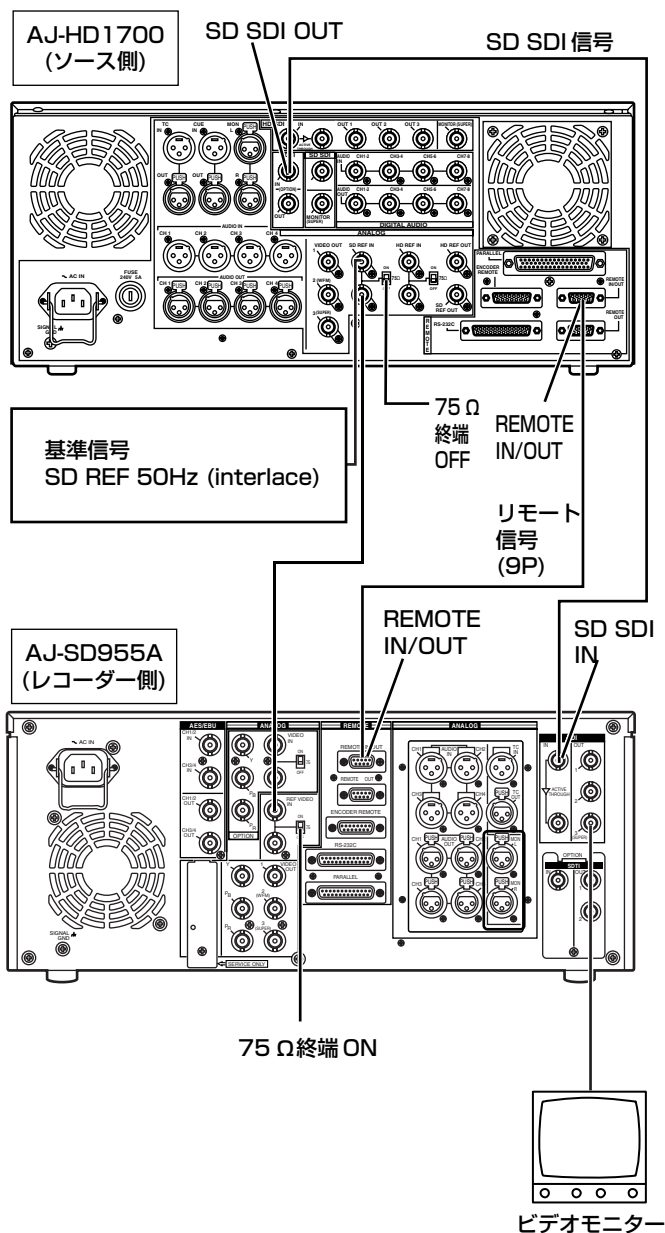


25Hz (SD) モード時のシステム接続例

本機では、バリエーションフレームレートカメラを使用し、フレームレートを 25fps で記録したテープを再生すると、576/50i に変換して出力でき、SD VTR とダイレクト編集が可能です。

下図はデッキ対デッキの接続例です。

REF 入力は、SD REF 入力に 50Hz のリファレンス信号を入力してください。



<ノート>

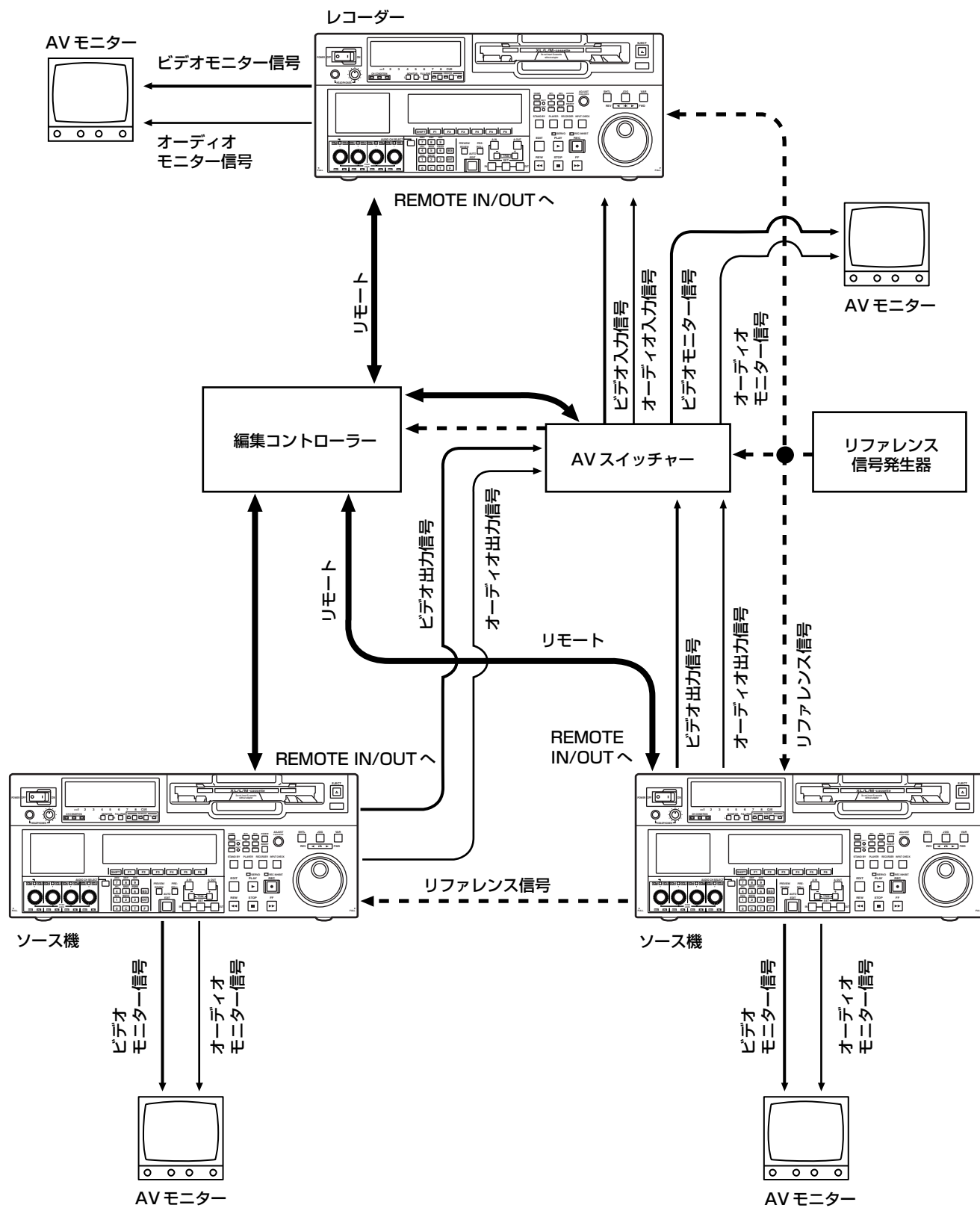
- テープ走行が 1 倍速になった時、REF 入力とテープの同期をとるため、数フレーム間映像が乱れ、音声出力がミュートされる場合があります。
- 23/24Hz モード時、SD SDI および VIDEO OUT 端子には、VITC 信号は出力されません。
- 25Hz (HD) モード時、SD SDI および VIDEO OUT 端子の出力ビデオ信号は HD SDI 出力に対して、約 1 フィールド遅延します。
- 25Hz (SD) モード時、HD SDI 出力はミュートされます。

本機で再生するテープに関するノート

- バリエーションフレームレートカメラで撮影したテープを使用してください。
- 撮影したテープをダビングしたテープ、または編集加工したテープは使用しないでください。テープ管理情報が失われ、正常に変換再生ができない場合があります。
- 24fps (25fps) 以外のフレームレートで収録されたテープを 1080/24psf (1080/25psf) に変換する場合は、別売のフレームレートコンバータ(AJ-FRC27) を使用してください。

接 続

編集コントローラとの接続例



<ノート>
 リモート信号(9P)の接続を他の機器に接続し直す場合は、編集コントローラーの設定等を再確認してください。

テープについて

民生 DV/DVCAM カセット

S カセット

民生 DV/DVCAM 用カメラレコーダ専用テープです。

カセットアダプタ(別売品、AJ-CS455P)を使用すれば、再生できます。

ただし、長時間用カセットテープ(標準モード 80 分/LP モード 120 分)は使用できませんのでご注意ください。

なお、民生用 DV テープはパナソニックの民生用 DV テープのご使用をお勧めいたします。

- カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

M カセット

DVCPRO HD LP :

最大 33 分の録画・再生テープ
(AJ-HP33EMG)

DVCPRO 25/50/50P/HD の再生テープ

L カセット

DVCPRO HD LP :

最大 64 分の録画・再生テープ
(AJ-HP64ELG)

DVCPRO 25/50/50P/HD の再生テープ

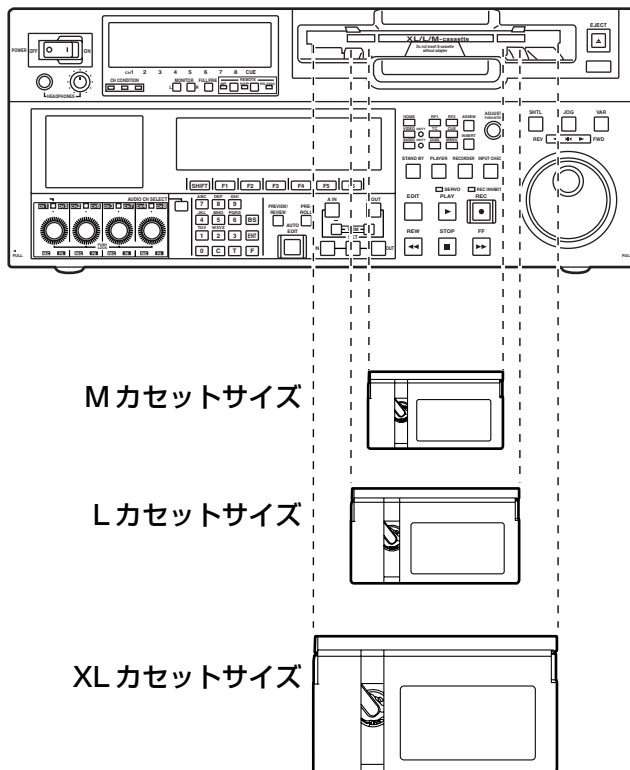
民生 DV/DVCAM 用 :

民生 DV/DVCAM 標準カセットの再生テープです。
なお、民生用 DV テープはパナソニックのテープのご使用をお勧めいたします。

XL カセット

DVCPRO HD LP :

最大 126 分の録画・再生テープ
(AJ-HP126EXG)



挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。

カセットテープは自動的にローディングされます。

<民生 DV/DVCAM テープの再生時のご注意>

- 民生の LP モードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生 DV/DVCAM テープの最大送り速度は 32 倍速です。
- 民生 DV/DVCAM テープでの最大スチル時間は 10 秒に設定しています。
- テープ保護の観点から、民生 DV/DVCAM テープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生 DV/DVCAM テープご使用時の STILL TIMER の最大時間は 10 秒に、また STILL 状態で放置した時の合計時間は 1 分に設定されています。
- 民生 DV/DVCAM テープに記録された素材を編集する時には、DVCPRO HD テープか、他の放送用 VTR に記録して使用してください。
- 民生 DV/DVCAM テープを使用してスロー再生を行うと、ノイズが発生する場合があります。

電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

1 電源を入れます。

2 AUTO OFF ランプが消灯していることを確認します。

結露などの異常があると、AUTO OFF ランプが点灯し、全ての操作ができなくなります。

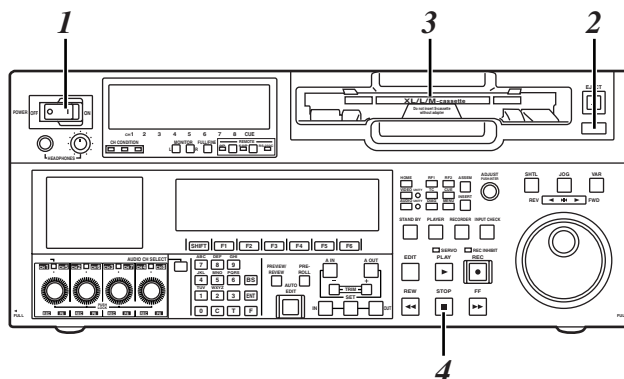
3 カセットテープを挿入します。

カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。

4 STOP ランプが点灯していることを確認します。

テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOP モードになります。

EJECT ランプは消灯します。



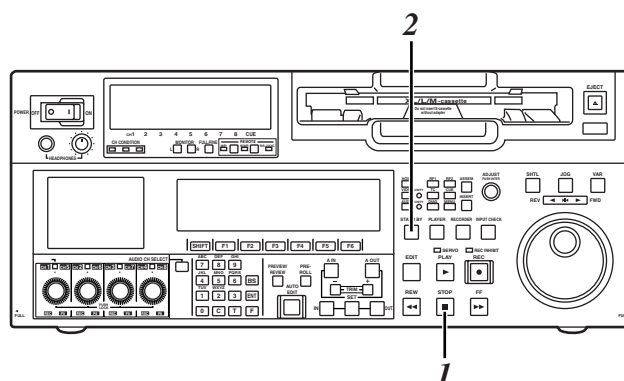
STOP/STANDBY モード

1 STOP ボタンを押すと、STOP モードになります。STOP ランプが点灯し、テープ走行が停止します。

- テープ保護のため、セットアップメニュー No.400(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイ OFF モードになります。STOP、REW、FF、PLAY の各ボタンを押すと、そのモードになります。

2 STAND BY ボタンを押すと、スタンバイ ON/OFF モードになります。

ランプの点灯中は、スタンバイ ON モードです。スタンバイ OFF モード中にこのボタンを押すと、スタンバイ ON モードになります。ストップモード中にこのボタンを押すと、スタンバイ OFF モードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。



<STILL TIMER 設定のご注意>

番組送出時や繰り返し同一素材使用時は、同一箇所での累計待機時間が長くなります。

テープ保護のため、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えばセットアップメニュー No.400(STILL TIMER)は最大 30 秒程度に設定してください。

1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。

2 STOP ボタンを押して、本機を停止モードにします。

3 <HOME>メニューの **[F1]** で「OUTPUT = EE」にします。
モニターテレビに E-E 画像が出ます。

4 REC INHIBIT ランプの消灯を確認します。
ランプが点灯しているときは、<HOME>メニューの **[F6]** で「R INH = OFF」にします。
挿入したカセットが DVCPRO HD-LP 以外のフォーマットですでに記録されている場合は、セットアップメニュー No.118 により、記録禁止状態(工場出荷設定)となっています。

5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整

入力ビデオ/オーディオ信号の選択

- ① 記録する信号を接続します。
- ② <VIDEO>メニューの **[F1]** と <AUDIO>メニュー/**[F1]** ~ **[F6]** で入力信号を選択します。

オーディオレベル調整

- ① AUDIO メニューで選択されたオーディオ CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8 とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。
フロントパネルのオーディオ UNITY ランプが点灯していると、オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
- ② 記録レベルを調整するときは、REC LED が点灯して、オーディオ調整ダイヤルが LOCK 解除状態 (LOCK LED が消灯) になっていることを確認してください。
LOCK 状態のとき (LOCK LED が点灯) は、オーディオ調整ダイヤルを押します。LOCK LED が消灯して LOCK が解除されます。
また、アナログキューオーディオ記録レベル調整は、セットアップメニュー No. 790 (CUE REC VOL) で行い、-20dB を超えない範囲に調整します。

6 REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
REC と PLAY ランプが点灯し、記録が始まります。

7 STOP ボタンを押すと、記録が終了し、停止モードになります。

<ノート>

- 記録中は、SERVO ランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- AUDIO メニューで CH5 ~ CH8 の入力信号としてアナログ信号 (ANA1 ~ ANA4) が選択された場合、記録レベルはそれぞれ CH1 ~ CH4 の記録レベル設定に連動します。
- 記録するビデオ信号として SDTI が選択されているときは、記録するオーディオ信号も自動的に SDTI となります。

再生

- 1** カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2** PLAY ボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
- 3** オーディオ再生レベルを調整します。
再生レベルを調整するときは、PB LED が点灯してオーディオ調整ダイヤルが LOCK 解除状態になっていることを確認して調整を行います。
LOCK 状態のとき(LOCK LED が点灯)は、オーディオ調整ダイヤルを押します。LOCK LED が消灯して LOCK が解除されます。また、アナログキューオーディオ調整はセットアップメニュー No.791 (CUE PB VOL)で行います。
通常は、UNITY 状態(ボリュームのセグメント表示が中央で点灯)にしておきます。
- 4** 再生を終了するときは、STOP ボタンを押します。
VTR は STOP モードになります。

<ノート>

再生中は SERVO ランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

再生位相の調整機能

2 台の VTR を使用して同じプログラムを再生する場合、一方の VTR の再生速度を変更することで VTR 間の再生位相を調整することができます。

- 1** PLAY ボタンを押しながら TRIM ボタン(+ボタンまたは-ボタン)を押します。
TRIM ボタンを押すごとに、セットアップメニュー No.109(CAP.LOCK)で指定した再生フレーミングフィールド数単位で、再生速度を加速または減速します。
加速または減速した速度で再生している間、SERVO ランプは消灯します。
- 2** 再生位相の調整が終わりましたら、PLAY ボタンを離します。
VTR は標準の再生速度に戻り、SERVO ランプは点灯します。

ジョグ/シャトル

ジョグモード

- 1 JOG ボタンを押します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピードで再生します。
セットアップメニュー No. 310(JOG FWD MAX)、No. 311(JOG REV MAX)の設定によりジョグの最大速度を切り替えることができます。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押します。

シャトルモード

- 1 SHTL ボタンを押します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが 0 ~ ± 32 倍速まで変化します。
セットアップメニュー No. 101(SHTL MAX)で ± 9.8、± 16、± 32 倍速に切り替えることができます。
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
- 3 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOP ボタンまたは、他のボタンを押します。

バリエブルモード

- 1 VAR ボタンを押します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが - 4.9 ~ + 4.9 倍速まで変化します。
セットアップメニュー No. 308(VAR FWD MAX)、No. 309(VAR REV MAX)の設定によりシャトルの最大速度を切り替えることができます。
ただし、- 1 ~ + 2 倍速以外はノイズが出ます。
(DVCPRO HD-LP 記録テープ以外は、- 1.0 ~ + 1.1 倍速がノイズレスの範囲です。)
- 3 バリエブルモードから他のモードに移行するときは、STOP ボタンまたは、他のボタンを押します。

<ノート>

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモード/ジョグモード/バリエブルモードに移行するように設定されています。
ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。
セットアップメニュー No.100(SEARCH ENA)を「KEY」にします。

手動編集

1 編集モードを選択します。

ASSEM ボタン：

アセンブル(つなぎとり)編集を行います。

INSERT ボタン：

インサート(挿入)編集を行います。

2 タイムコード表示部で、編集チャンネルを選択します。

ASSEM：

[F1]ボタンで ASSEM = ON にします。

INSERT：

V/A1/A2/A3/A4/CUE の選択は [F1] ~ [F6] ボタンを、A5/A6/A7/A8/TC の選択は [SHIFT] + [F2] ~ [SHIFT] + [F6] ボタンを押してハイライト表示されたチャンネルが編集されます。

3 PLAY ボタンを押します。

4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置 (IN 点)を探し、IN 点で、PLAY と EDIT ボタンを同時に押します。

5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置 (OUT 点)で STOP または PLAY ボタンを押します。STOP モードまたは PLAY モードになり、編集が終了します。

プリロール

1 PREROLL ボタンを押します。
VTR はプリロール動作を行います。

HOME, PF1, PF2 画面でキュータイムが登録されている場合：

<HOME SHIFT>メニューの [F1] (PREROL) で設定したプリロール時間を使って登録されたキュータイムからプリロールします。

CUE 画面でサーチモードの場合：

<CUE SHIFT>メニューの [F5] (CU-ROL)で設定したプリロール時間を使って選択したキュー点からプリロールします。

選択したキュー点が未登録の場合やキュー点登録モードの場合は、プリロール動作はしません。

上記以外の場合：

<HOME SHIFT>メニューの [F1] (PREROL) で設定したプリロール時間を使って登録された IN 点 (IN 点が登録されていないときは現在のテープ位置)からプリロールします。

IN 点が登録されていないときに押すと、現在のテープ位置を IN 点として自動登録します。(ただし、セットアップメニュー No.305 (AUTO ENTRY)を「ENA」にした場合)

<ノート>

編集 IN 点とプリロール点の間にはタイムコードまたは CTL が連続して記録されていることが必要です。

自動編集(デッキ対デッキ)

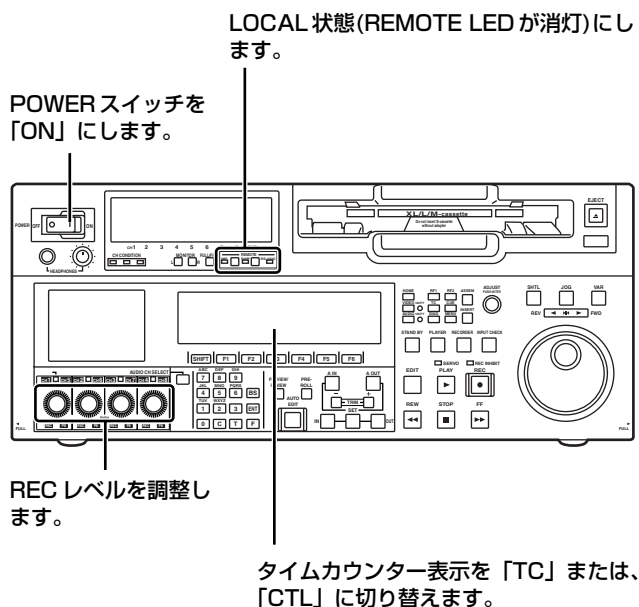
編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容の一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集の基本的な操作は以下のとおりです。

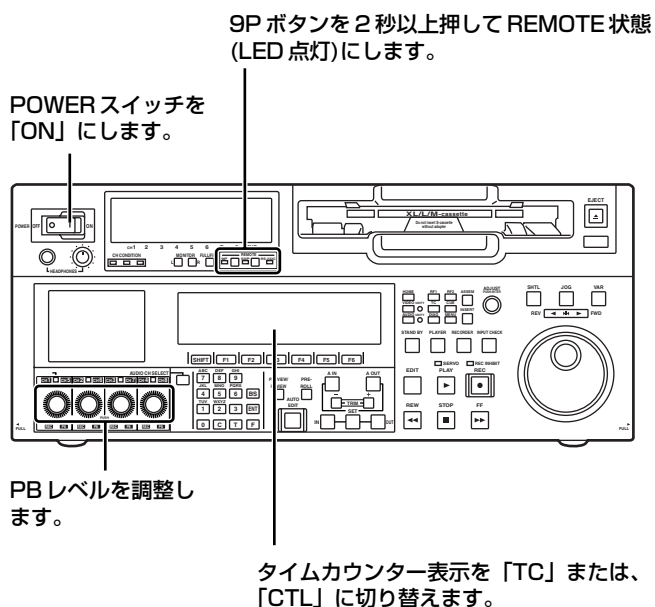
- 1 REMOTE ボタンでプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」(REMOTE LEDが点灯していない状態)にします。
- 2 編集モード(ASSEM/INSERT)を選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認(プレビュー)を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認(レビュー)します。

スイッチの設定と調整

本機をレコーダーとして使用する場合



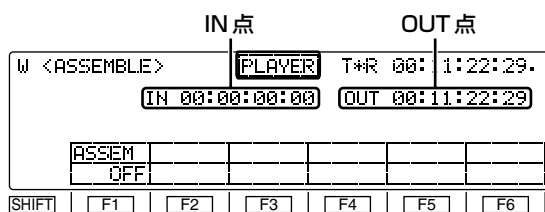
本機をプレーヤーとして使用する場合



編集モードの選択

- 1 編集モードを選択します。
ASSEM ボタン：
 アセンブル(つなぎとり)編集を行います。
INSERT ボタン：
 インサート(挿入)編集を行います。
- 2 タイムコード表示部で、編集チャンネルを選択します。
ASSEM：
[F1] ボタンで ASSEM = ON にします。
INSERT：
 V/A1/A2/A3/A4/CUE の選択は **[F1]** ~ **[F6]** ボタンを、A5/A6/A7/A8/TC の選択は **[SHIFT] + [F2]** ~ **[SHIFT] + [F6]** ボタンを押してハイライト表示されたチャンネルが編集されます。
- 3 **PLAYER** または **RECORDER** ボタンを押して、操作する VTR を選択します。(VTR2 台での設定)
PLAYER：
 プレーヤー側 VTR を操作して、編集点を登録する場合に押します。
RECORDER：
 レコーダー側 VTR(本機)を操作して、編集点を登録する場合に押します。

[ASSEM 画面]

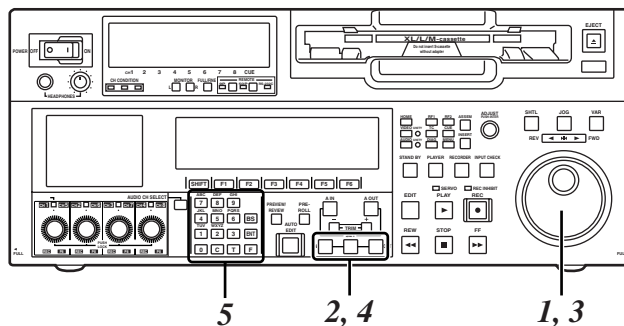


[INSERT 画面]



編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集 IN 点を探します。希望の位置で静止画にします。ジョグ・シャトル操作の詳しい説明は、27 ページを参照してください。
- 2 IN ボタンと SET ボタンを同時に押します。編集 IN 点が登録されます。編集 IN 点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集 OUT 点を探します。希望の位置で静止画にします。
- 4 OUT ボタンと SET ボタンを同時に押します。編集 OUT 点が登録されます。編集 OUT 点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 5 数字キーで編集点のダイレクト登録ができます。
 1. <ASSEMBLE> または <INSERT> メニューを選択します。
 2. **[T]** ボタンを押して編集点をハイライト表示させます。ハイライト表示を IN 点または OUT 点へ移動させるときは、ADJUST ダイヤルを回します。
 3. もう一度 **[T]** ボタンを押して、任意の編集点を数字キーからダイレクト入力します。桁の移動は、ADJUST ダイヤルを回します。
 4. **[ENT]** ボタンを押して登録します。途中で登録をやめるときは、**[C]** ボタンを押します。任意の編集点をリセット(00:00:00:00)するとき、**[T]** ボタンを押してハイライト表示を任意の編集点に合わせて、もう一度 **[T]** ボタンを押します。次に、**[F]** ボタンと **[O]** ボタンを同時に押します。最後に **[ENT]** ボタンを押して登録します。



マッチフレーム処理機能について

VTR2 台での編集操作の場合、プレーヤー側に IN/OUT 点、レコーダー側に IN/OUT 点の合計 4 つの編集点があります。しかし、最後の一つは、自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の 3 つだけ可能です。

ネガティブデュレーション機能について

セットアップメニュー No. 300(IN/OUT DEL)と No. 301(NEGA FLASH)を組み合わせてご使用ください。

自動編集(デッキ対デッキ)

編集点の確認

1 IN(または OUT)ボタンを押して、編集点を確認します。
登録されている編集点の値がディスプレイ部に表示されます。

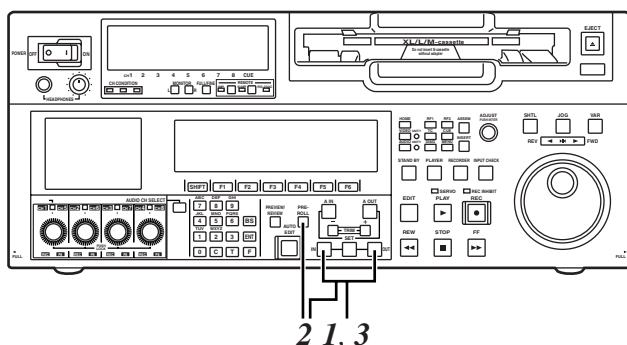
2 IN(または OUT)ボタンを押しながら、PREROLL ボタンを押して、編集点の画像を確認します。
編集 IN(または OUT)点にテープがキューアップされて、静止画になります。

- セットアップメニュー No. 307(AFTER CUE-UP)が「STOP」に設定されている場合、<HOME>メニュー[F1] (OUTPUT) = EE のときはE-Eモードになります。

3 IN ボタンと OUT ボタンを同時に押して、編集区間(デュレーションタイム)を確認します。
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合
2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合
設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合
前回編集した区間のデュレーション



編集点の訂正

1 編集点の再登録
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN(または OUT)ボタンと SET ボタンを同時に押して再登録します。

2 フレーム単位での編集点の訂正(トリム機能)
IN(または OUT)ボタンを押しながら TRIM ボタンを押します。

+ボタンを一回押す毎に、1 フレーム進みます。

-ボタンを一回押す毎に、1 フレーム戻ります。

3 編集点のリセット

① 編集 INと OUT 点両方のリセット

<HOME>メニューの [F4] (TC CLR = RESET)を押します。

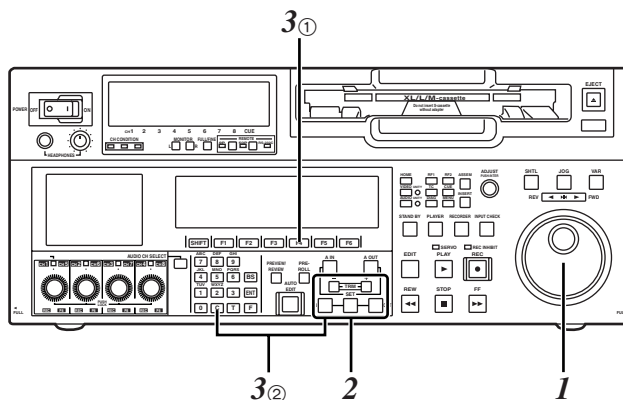
(CTL モード時のみに有効です。)

② 編集 INまたは OUT 点のリセット

IN(または OUT)ボタンを押しながら数字ボタンの [0]を押します。

<ノート>

- 編集実行中でも編集 OUT 点のリセットは可能です。
- EJECT モード時は、IN および OUT 点は自動的にリセットされます。

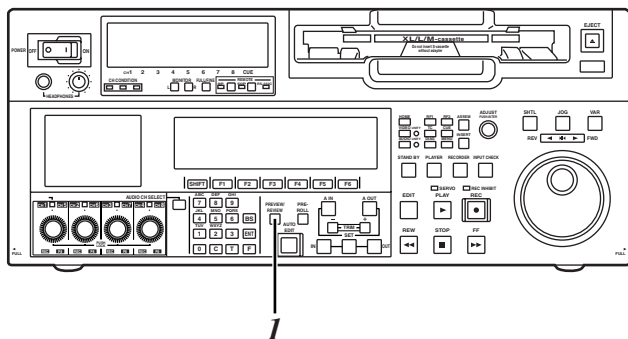


プレビュー

1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。
通常のプレビューが実行されます。

<ノート>

- 編集 IN 点が登録されていない場合は、PREVIEW ボタンが押された位置を編集 IN 点として登録します。
- プレビューを中止する場合は、STOP ボタンを押します。
- プレビュー実行中に IN 点以降で再度 PREVIEW ボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集 OUT 点になるとポストロール後、自動的に止まります。



自動編集の実行

1 AUTO EDIT ボタンを押します。
自動編集が実行されます。

- 編集を中止する場合は、STOP ボタンを押します。
- 編集 OUT 点になると、ポストロール後、止まります。

ポストロールについて

アセンブル編集の場合、編集 OUT 点通過後約 2 秒間編集を続け、OUT 点に戻って止まります。
インサート編集の場合、編集 OUT 点通過後 PLAY モードになり、OUT 点に戻って止まります。

リトライ機能

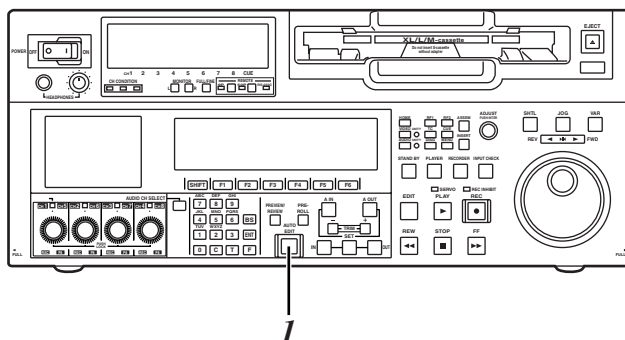
STOP ボタンを押して編集を中止しても、そのまま再度 AUTO EDIT ボタンを押すと、最初から編集を行います。

オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDIT ボタンを押すと、前回の編集 OUT 点を IN 点として登録し、編集を行います。
オートタグモードを解除する場合は、走行系ボタン (PLAY ボタンなど) を押します。

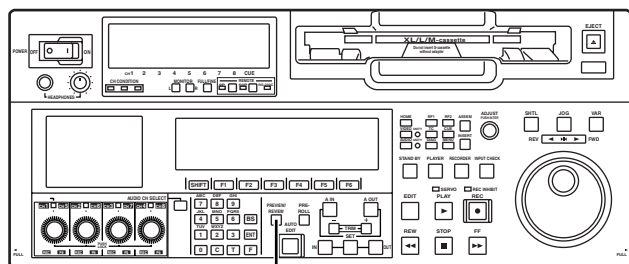
<ノート>

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますが、TRIM + (または TRIM -) ボタンと SET ボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEW ボタンを押します。
レコーダー側でレビューが開始されます。
 - 途中でレビューをやめるときは、STOP ボタンを押します。
 - 編集 OUT 点になると、ポストロール後、止まります。



オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点をそれぞれ登録し、編集点をずらして編集することができます。オーディオ編集点の登録はアセンブル編集モードが選択されているときはできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

■ 編集点の登録

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

<ノート>

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアセンブル編集に切り替えると、オーディオ編集点は削除されます。

■ 編集点の削除

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら数字キーの [C] を押します。

ビデオ OUT 点：

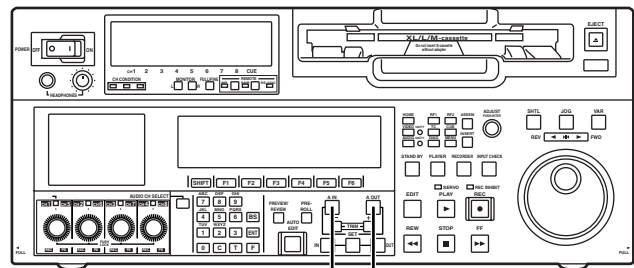
OUT ボタンを押しながら数字キーの [C] を押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら数字キーの [C] を押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら数字キーの [C] を押します。



A-IN ボタン A-OUT ボタン

■ 編集点の訂正

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

OUT ボタンを押しながら TRIM+ または、TRIM- ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。

■ 編集点へのキューアップ

ビデオ IN 点へのキューアップ：

IN ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

ビデオ OUT 点へのキューアップ：

OUT ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

オーディオ IN 点へのキューアップ：

A-IN ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

オーディオ OUT 点へのキューアップ：

A-OUT ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

オーディオスプリット編集

■ デュレーションの表示

デュレーションはディスプレイ部に表示することができます。

ビデオ IN 点/OUT 点間：

IN ボタンと OUT ボタンを同時に押します。

オーディオ IN 点/OUT 点間：

A-IN ボタンと A-OUT ボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

VTR2 台でオーディオスプリット編集操作を行う場合、ビデオの編集点としてプレーヤー側に IN/OUT 点、レコーダー側に IN/OUT 点と、オーディオの編集点としてプレーヤー側にオーディオ IN/OUT 点、レコーダー側にオーディオ IN/OUT 点の合計 8 つの編集点があります。

8 点のうち 5 点の編集点を登録すると、残りの 3 点は自動的に計算されますので、編集点の登録は 5 点まで可能となります。

■ スプリット編集機能のない VTR をプレーヤーにするとき

ビデオとオーディオの編集点を、独立して設定することができない VTR をプレーヤーとして使用するとき、オーディオの IN 点と OUT 点をレコーダー側に設定し、ビデオの編集点として 3 点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

<ノート>

オーディオスプリット編集時、オーディオ OUT 点(またはビデオ OUT 点)を登録せずに、ビデオ OUT 点(またはオーディオ OUT 点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオ OUT 点(またはビデオ OUT 点)が登録されるか、STOP ボタンを押して操作を中断するまで、編集を続けます。

バリアブルメモリー機能

バリアブルメモリー機能の選択

<HOME SHIFT>メニューの **[F6]** (VARMEM)を「ON」にすることで、バリアブルメモリーモードが選択できます。

[F6] (VARMEM)を「OFF」にすると、バリアブルメモリーモードが解除され、通常モードになります。

<ノート>

システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時は、**[F6]** (VARMEM)は表示されなくなり、バリアブルメモリーモードは選択できませんのでご注意ください。

概要

本機には以下のように2つのバリアブルメモリー機能があります。これらの機能はバリアブルメモリーモードで操作できます。

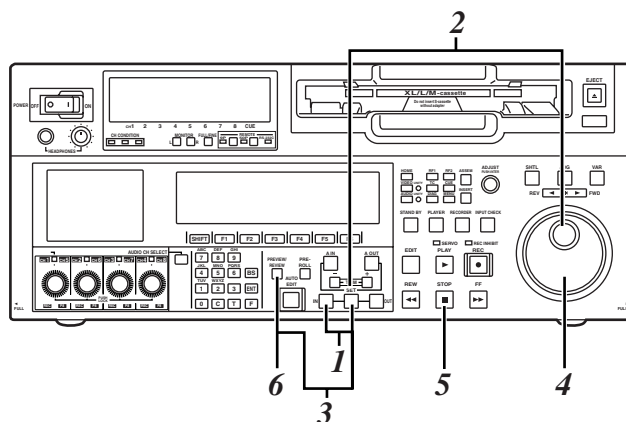
バリアブルメモリー再生：

任意の区間をVARモードで変速再生し、その速度の変化を記憶し、その記憶した速度で再生を行うことができます。

バリアブルメモリー編集：

本機をコントローラとして使用(デッキ対デッキモードのレコーダ機)し、プレーヤ機の再生速度をコントロールして、変速モードでの編集を行うことができます。

バリアブルメモリー再生操作手順



バリアブルメモリー再生を行うには、バリアブルメモリーモードにして、以下の操作を実施します。

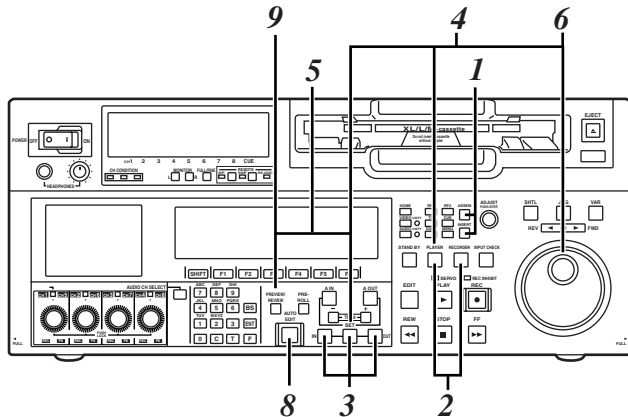
- 1 SET ボタンと IN ボタンを使って IN 点を登録します。バリアブルメモリー再生では、OUT 点の設定は不要です。
- 2 SET ボタンを押しながら、サーチダイヤルで初速 (-1.0 ~ +2.0)を設定します。
- 3 SET ボタンと PREVIEW/REVIEW ボタンを同時に押し、自動的にプリロールし、IN 点まで設定された初速で再生します。
- 4 IN 点通過後、サーチダイヤルを回して再生速度を記憶します。
- 5 STOP ボタンを押して、テープを止めます。
- 6 PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、記憶した速度でバリアブルメモリー再生を行います。

<ノート>

- IN 点通過からメモリー内容で再生し、メモリー内容の最後のスピードで STOP ボタンを押すまで走行します。
- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードでなくなると、消えます。また、POWER スイッチを「OFF」にすると、メモリーは消えます。

バリアブルメモリー機能

バリアブルメモリー編集操作手順



バリアブルメモリー編集を行うには、レコーダとして接続されている本機をバリアブルメモリーモードにして以下の操作を実施します。

- 1 <ASSEMBLE> または <INSERT> メニューで編集モードを選択します。
- 2 RECORDER または PLAYER ボタンを押して操作する VTR を選択します。
- 3 SET ボタンと IN/OUT ボタンを使って IN/OUT 点を登録します。
PLAYER の OUT 点は登録できません。
- 4 PLAYER ボタンを押し、PLAYER の VTR を選択した後、SET ボタンを押しながらサーチダイヤルで初速を設定します。
- 5 SET ボタンと PREVIEW/REVIEW ボタンを同時に押し、PLAYER/RECORDER 共に、自動的にプリロールし、PLAYER の VTR は IN 点まで設定された初速で再生します。
- 6 IN 点通過後、サーチダイヤルを回して PLAYER VTR の再生速度を記憶します。
- 7 RECORDER で設定された OUT 点を通過すると、再生速度の記憶は終了します。

8 AUTO EDIT ボタンを押すと、バリアブルメモリー編集を実行します。
一度、編集が実行されると、記憶していた速度は消されます。ただし、初速度はクリアされません。

9 PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、編集結果が確認できます。

<ノート>

- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードでなくなると、消えます。また、POWER スイッチを「OFF」にすると、メモリーは消えます。
- バリアブルメモリー編集の IN 点までの再生時は調相を行いません。従って、PLAYER 側の VTR や設定した速度によって IN 点の精度は保証されません。
- -1.0 ~ +2.0 の速度範囲でバリアブルメモリー編集を行う場合は、RECORDER, PLAYER とも、この速度を保証している VTR をご使用ください。

ファンクションメニュー

ファンクションメニューは頻繁に使用される機能を設定します。
フロントパネルのダイレクトメニューボタンでファンクションメニューをダイレクトに切り替えます。

概要

一般メニュー

<HOME>、<HOME SHIFT>

記録・再生・TC操作の最も基本的な設定を行います。

<VIDEO>、<VIDEO SHIFT>

VIDEO信号の基本的な入出力設定を行います。
HD出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

<AUDIO>、<AUDIO SHIFT 1>、<AUDIO SHIFT 2>

AUDIO信号の基本的な入出力設定を行います。

<TC>、<TC SHIFT>

TCに関する設定を行います。
TCスーパの表示設定もこの画面で行うことができます。

<PF1 FT>、<PF1 BK>、 <PF2 FT>、<PF2 BK>

使用頻度の高いメニューを24項目まで登録したものが使用できます。

<CUE>、<CUE SHIFT>

60点までキュー点を設定することができます。
PAGEモードでは6点を1ページとして、6点×10ページのキュー点をページ単位で管理することができます。

<DIAG>、<DIAG SHIFT>

ワーニング/アワーメータが確認できます。
SHIFT画面ではエラーログファイルの確認、削除、ICカードへのSAVE/LOADができます。

<MENU>、<MENU SHIFT>

SYSTEM、SETUPメニューに関する操作(調整、内部メモリおよびICカードへのSAVE/LOAD)画面へ移動できます。

<ASSEMBLE>

ASSEMBLE編集モードの選択を行います。

<INSERT>

INSERT編集モードおよび編集チャンネルの選択を行います。

特殊メニュー

<<SYSTEM MENU>>

SYSTEMメニューがオンスクリーン上に表示され、調整を行うことができます。

<<SETUP MENU>>

SETUPメニューがオンスクリーン上に表示され、調整を行うことができます。

<<FILE>>

SETUPメニュー内容を含む、現在設定情報をタイトルをつけて4通りまでバックアップメモリに保存/呼び出しができます。

<<PF1 FT ASSIGN>>、<<PF1 BK ASSIGN>>

<<PF2 FT ASSIGN>>、<<PF2 BK ASSIGN>>

登録可能なSETUPメニュー項目がオンスクリーン上に表示され、ファンクションボタンへの登録、削除ができます。

<<IC CARD/MENU>>

SETUPメニュー内容を含む、現在設定情報をタイトルをつけて8通りまでIC CARDメモリに保存/呼び出しができます。

<<IC CARD/ERR LOG>>

エラーログの内容をタイトルをつけて8通りまでIC CARDメモリに保存/呼び出しができます。

<<IC CARD/MULT CUE>>

MULTI CUEのメニューをタイトルをつけて8通りまでIC CARDメモリに保存/呼び出しができます。

<<STOP CODE>>

STOP CODEの記録/消去を行います。

<<50P IN ASSIGN>>、<<50P OUT ASSIGN>>

パラレルリモート(50PIN)端子に対して、入力端子への機能登録/出力端子へのステータス登録をフロントパネル及びオンスクリーンメニューを使用しています。

ファンクションメニュー

ファンクションキーの割り当て

メニュー名称(6種類)	階層メニュー	ファンクションキーに割り当てられている項目					
		F1	F2	F3	F4	F5	F6
HOME	第1	OUTPUT		TC/CTL	TC CLR		R INH
	第2(SHIFT)	PREROL		OUTREF	CAPSTN		VARMEM
VIDEO	第1	VID IN	INT SG	WFM		UP CON	DW CON
	第2(SHIFT)			V LV	C LV	HUE	SUP LV
	第3(F+SHIFT)	BR	CT	R-BR	B-BR	R-CT	B-CT
AUDIO	第1	A1 IN	A2 IN	DIN 12	A3 IN	A4 IN	DIN 34
	第2(SHIFT)	A5 IN	A6 IN	DIN 56	A7 IN	A8 IN	DIN 78
	第3(SHIFT)	VOLUME		RECCUE			M MIX
TC	第1	TC SRC		TCG MD	TCG RG	RUN MD	DF MOD
	第2(SHIFT)	SUPER	C HPOS	C VPOS	DISPLY	C TYPE	TIMER
PF1	第1	工場出荷時は未設定(完全フリーアサイン)					
	第2(SHIFT)						
PF2	第1						
	第2(SHIFT)						
CUE MULTICUE function	第1	PREV	NEXT	MODE	CLR	AL CLR	
	第2(SHIFT)	S CODE	CARD	PAGE	ROTATE	CU-ROL	
DIAG ERROR LOG function	第1	WARN	HOURS				
	第2(SHIFT)	STEP	CARD			AL CLR	
MENU	第1	FILE	CARD		SYSTEM	SETUP	
	第2(SHIFT)	PF1 FT	PF1 BK	PF2 FT	PF2 BK	50P IN	50P OT
ASSEM		ASSEM					
INSERT			A5	A6	A7	A8	TC
		V	A1	A2	A3	A4	CUE
SYSTEM SYSTEM MENU(ON SCREEN)				CANCEL	RESET	SET	EXIT
SETUP SETUP MENU (ON SCREEN)		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT
FILE USER FILE BACKUP function		P.LOAD	LOAD ←	SAVE →		LOCK	EXIT
PF1、PF2 MENU ASSIGN function		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT
CARD IC CARD function (MENU) IC CARD function (ERRLOG) IC CARD function (MULTI CUE)		FORMAT	SAVE ←	LOAD →	DELETE	LOCK	EXIT
S CODE STOP CODE function		DET BP	DET ST	DET AJ	REC	ERASE	EXIT
50PIN 50pin ASSIGN function		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT

警告マーク

本機にワーニングが発生すると、警告マーク(W)が点滅します。DIAG ボタンを押すと画面にワーニングメッセージが表示されます。(→ DIAG 画面参照)

ファンクションメニュー

設定値の切り替え方法

トグル：

ファンクションボタンを押すたびに、設定値の変更・確定ができます。

F+トグル*：

Fボタンを押しながら、ファンクションボタンを押すと、そのたびごとに設定値の変更・確定ができます。

トグル+ADJ：

ファンクションボタンを押すと設定値が反転表示に変わり、設定値の変更可能状態になります。設定値の変更は、ADJUSTつまみで行います。再度ファンクションボタンを押し反転表示を解除した時点で、設定値が確定されます。

Push：

ファンクションボタンを押すと、その押された期間または押された瞬間において、設定値の変更が可能です。ファンクションボタンを離すと、もとの設定値に戻ります。

F+Push*：

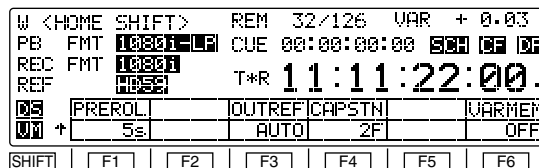
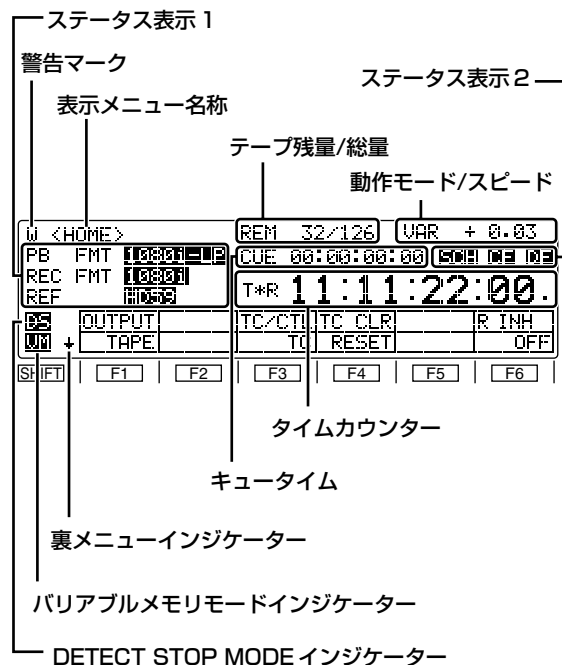
Fボタンを押しながらファンクションボタンを押すと、その押された期間または押された瞬間において、設定値の変更が可能です。ファンクションボタンを離すと、もとの設定値に戻ります。

* ファンクションボタンのみを押した場合は、「Press **F** + **F5**」などの注意メッセージが点滅表示されます。

ファンクションメニュー

<HOME>

記録・再生・TC操作の最も基本的な設定を行います。



システム周波数表示<24Hz、25Hz (HD、SD) モード時>

システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で24Hzモードまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、ファンクションボタン[F1]にはシステム周波数の選択内容が表示され、現在のシステム周波数モードを確認することができます。

SYSTEM	23/24	23/24Hzモードが選択されています。
[F1]	25 (HD)	25 (HD) Hzモードが選択されています。
	25 (SD)	25 (SD) Hzモードが選択されています。

ステータス表示 1

VTR	設定内容		
PB FMT	再生フォーマット 再生時のフォーマットを表示します。	1080i LP	DVCPRO HD-LPの記録および再生モードを示します。
		720p LP	
		1080i SP	DVCPRO HD-SPの再生モードを示します。
		720p SP	
		50M	DVCPRO (50Mbps フォーマット)の再生モードを示します。
		50Mp	
		25M	DVCPRO (25Mbps フォーマット), DV, DVCAMの再生モードを示します。
REC FMT*1	記録フォーマット 記録時のフォーマットを表示します。	1080i	1080iで記録します。
		720p	720pで記録します。
		DVCAM	
TM INFO*2	テープ管理情報 バリエーションフレームレートカメラで収録されたテープにはフレームレート (撮影速度) 情報が記録されています。この情報を表示します。	---	カセットテープが挿入されていません。
		24P	記録されているフレームレートを表示します。
		24PA	
		25P	
	INVALID	テープ管理情報が無効です。 <ノート> インサート編集やテープダビングによりテープ管理情報が誤って上書きされた可能性があり、編集が正常にできない場合もあります。	

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzモードまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、このステータスは表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で59/60Hzモードまたは50Hzモードを選択している時、このステータスは表示されません。

ファンクションメニュー

ステータス表示 1 (つづき)

VTR	設定内容		
REF	出力リファレンス 出力リファレンスの状態を表示します。	HD23	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フレーム周波数は 23.98Hz です。
		HD24	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フレーム周波数は 24Hz です。
		HD25	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フレーム周波数は 25Hz です。
		HD50	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hz です。
		HD59	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hz です。
		HD60	HD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 60Hz です。
		IN50	HD シリアル入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hz です。
		IN59	HD シリアル入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hz です。
		IN60	HD シリアル入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 60Hz です。
		INT23	内部発信機(23.98Hz)がリファレンスに選択されています。
		INT24	内部発信機(24Hz)がリファレンスに選択されています。
		INT25	内部発信機(25Hz)がリファレンスに選択されています。
		INT50	内部発信機(50Hz)がリファレンスに選択されています。
		INT59	内部発信機(59.94Hz)がリファレンスに選択されています。
		INT60	内部発信機(60Hz)がリファレンスに選択されています。
		NTSC59	SD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hz です。
		PAL50	SD_REF 入力のリファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hz です。
INT59N	OUT_REF の設定で SD_REF が選択されています。SD_REF 信号が入力されていない為、内部発信機(59.94Hz)がリファレンスに選択されています。		
INT50P	OUT_REF の設定で SD_REF が選択されています。SD_REF 信号が入力されていない為、内部発信機(50Hz)がリファレンスに選択されています。		

ファンクションメニュー

<HOME>

Tape 再生時の再生基準信号(OutRef)仕様

59.94Hz/60Hz、50Hz モード

入力信号の有無			OUTREF 設定 (Menu 031)			
HD_REF_IN	SD_REF_IN	INPUT	AUTO	EXT_HD_REF	EXT_SD_REF	INPUT
有	有	有	HD_REF_IN	HD_REF_IN	SD_REF_IN	INPUT
		無	HD_REF_IN	HD_REF_IN	SD_REF_IN	Internal HD
	無	有	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD	INPUT
		無	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD	Internal HD
無	有	有	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN	INPUT
		無	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN	Internal HD
	無	有	INPUT	Internal HD	Internal SD	INPUT
		無	Internal HD	Internal HD	Internal SD	Internal HD

23.94Hz/24Hz、25Hz (HD) モード

入力信号の有無	
HD_REF_IN	
有	HD_REF_IN
無	Internal HD

25Hz (SD) モード

入力信号の有無		OUT REF 設定 (Menu031)		
HD_REF_IN	SD_REF_IN	AUTO	HD_REF	SD_REF
有	有	HD_REF_IN	HD_REF_IN	SD_REF_IN
	無	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD
無	有	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN
	無	Internal HD	Internal HD	Internal SD

Internal HD : HD 再生の基準、74MHzCLK が FreeRun で動作

Internal SD : SD 再生の基準、4fscCLK が FreeRun で動作

Tape 再生時の 59.94Hz/60Hz 動作仕様

入力信号の有無			OUTREF 設定 (Menu 031)			
HD_REF_IN	SD_REF_IN	INPUT	AUTO	EXT_HD_REF	EXT_SD_REF	INPUT
有	有	有	HD_REF_IN の周波数に従う	HD_REF_IN の周波数に従う	59.94Hz	INPUT の周波数に従う
		無	HD_REF_IN の周波数に従う	HD_REF_IN の周波数に従う	59.94Hz	Menu030 の設定に従う
	無	有	HD_REF_IN の周波数に従う	HD_REF_IN の周波数に従う	59.94Hz	INPUT の周波数に従う
		無	HD_REF_IN の周波数に従う	HD_REF_IN の周波数に従う	59.94Hz	Menu030 の設定に従う
無	有	有	59.94Hz	Menu030 の設定に従う	59.94Hz	INPUT の周波数に従う
		無	59.94Hz	Menu030 の設定に従う	59.94Hz	Menu030 の設定に従う
	無	有	INPUT の周波数に従う	Menu030 の設定に従う	59.94Hz	INPUT の周波数に従う
		無	Menu030 の設定に従う	Menu030 の設定に従う	59.94Hz	Menu030 の設定に従う

Menu030 : HD_FREQUENCY 59.94/60 選択

<ノート>

SD テープ再生時に 60Hz モードで動作をさせることはできません。

ファンクションメニュー

<HOME>

ステータス表示 2

インジケータ	設定内容
SCH	SDREF 信号の SCH 位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。
CF	カラーフレーミングがロックしているときに点灯します。
DF	ドロップフレームモードで記録/再生する時に点灯します。 <ノート> タイムコードデータが正しく読み取れなかった場合(T*Rと表示されているとき)、表示は前の状態をホールド表示しています。

動作モード(スピード)表示

現在の動作モードを表示します。(スピード表示を含みます。)

表示	動作モード
EJECT	イジェクトモード
STANDBY OFF	スタンバイオフモード
T.RELEASE	テンションリリースモード
STOP	ストップモード
PREROLL	プリロールモード
PLAY	再生モード
PLAY +	特殊再生(再生位相の調整)モード (FWD 方向)
PLAY -	特殊再生(再生位相の調整)モード (REV 方向)
REC	記録モード
JOG	ジョグモード
REV/STILL/FWD	
VAR(速度) [-4.9 ~ +4.9]	バリエブルモード
SHTL(速度) [-32.0 ~ +32.0]	シャトルモード
FF	早送りモード
REW	巻き戻しモード
EDIT	編集モード
AUTO EDIT	自動編集モード
PREVIEW	プレビューモード
REVIEW	レビューモード

<HOME SHIFT> のファンクション F6(VARMEM) が 「ON」

DSPD(速度) [-1.0 ~ +2.0]	バリエブルメモリの初期速度設定
DSMP(速度) [-1.0 ~ +2.0]	バリエブルメモリの再生速度記憶モード
DPLY(速度) [-1.0 ~ +2.0]	バリエブルメモリの再生モード
DPRV(速度) [-1.0 ~ +2.0]	バリエブルメモリ編集のプレビューモード
DEDT(速度) [-1.0 ~ +2.0]	バリエブルメモリ編集の実行モード

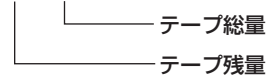
SETUP MENU No.013(DET STOP) が 「ON」

D-STOP	PLAY 再生時、STOP CODE を検出し強制停止
--------	-----------------------------

テープ残量/総量表示

挿入されたカセットのテープ残量及びテープ総量が分単位で表示されます。

例) REM 10/ 64 (64分テープに対して、残量10分)



<ノート>

多少の誤差が生じることがあります。テープ残量が3分以下になるとテープ残量値が点滅します。

キュータイム表示

現在登録されているキュータイムを表示します。(キュータイムの操作は“CUE 点登録・プリロール・キューアップ”を参照してください。)

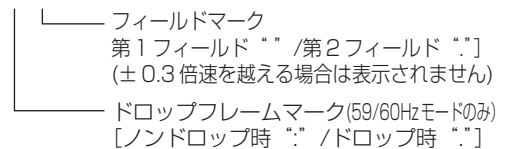
キュータイムの操作は、HOME 画面のみ可能です。

タイムカウンタ表示

表示	内容
CTL	CTL カウンタのデータ
TCG	タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレータのユーザービットデータ
tcg	タイムコードジェネレータのタイムコードデータのプリセット時
ubg	タイムコードジェネレータのユーザービットデータのプリセット時
TCR/T*R	タイムコードリーダーのタイムコードデータ
UBR/U*R	タイムコードリーダーのユーザービットデータ

タイムコードデータやユーザービットデータが正しく読み取れなかった場合は、“T*R”、“U*R”と表示されます。CTL がある場合は、CTL によりタイムコードデータは補完されます。

TCR 00:00:00.00.



バリエブルメモリモードインジケータ

<HOME SHIFT> のファンクションボタン **[F6]** (VARMEM) を 「ON」 にすると表示されます。

[VM] 点灯中は、常時バリエブルメモリ操作可能です。(詳細は“バリエブルメモリー機能”を参照してください。)

DETECT STOP MODE インジケータ

<<STOP CODE>> のファンクションボタン **[F2]** (DET ST) を 「ON」 にすると表示されます。

[DS] 点灯中、テープ再生中に STOP CODE を検出するとテープ走行が停止します。(詳細は“ファンクションメニュー<STOP CODE>”を参照してください。)

ファンクションメニュー

<HOME>

TCG 値登録

1. 選択

[F3] TC/CTL ボタンを押して TC を選択します。
[T] ボタンを押します。選択された項目(キュータイムまたは TC)が反転表示されます。
ADJUST ダイヤルを回して TC を選択します。
再度、[T] ボタンを押します。1 桁反転表示になり、数値入力モードになります。

<ノート>

- UBG 値、キュータイムも同様にして登録できます。CTL 値の登録はできません。
- TC または UB は内蔵のタイムコードジェネレータ選択時のみ登録可能です。

2. 数値、アルファベットの入力

数字キー [0] ~ [9] を押して、数値を入力します。
[F]+[7] ボタンで A,B,C を、[F]+[8] ボタンで D,E,F を入力します。
入力桁を移動するには、ADJUST ダイヤルを回します。
マイナスを入力するには、左端桁の反転時に [F]+[TRIM-] ボタンを押します。
プラスを入力するには、左端桁の反転時に [F]+[TRIM+] ボタンを押すか、[0] ボタンを押します。(表示は空白となります。)
全桁 0 にクリアするには [F]+[0] ボタンを押します。

<ノート>

- [F] ボタンを押しながら [7] ボタンを連打すると、A → B → C → A → B → ... の順に表示します。
[F]+[8] で D,E,F を入力するときも同じです。
- セットアップメニュー No.144(TC INPUT)が「REV」に設定されている場合は、アルファベット入力中に [F] ボタンを離すと、表示されている文字が確定します。
- アルファベットの入力が可能なのは、UBG 値の登録中のみです。
- マイナスの入力が可能なのは、セットアップメニュー No.002(TAPE TIMER)が「±12h」に設定された状態で、[F3] TC/CTL ボタンで CTL を選択し、キュータイムの登録中のみです。
- セットアップメニュー No.144(TC INPUT)が「REV」に設定されている場合は、上位桁からの入力(表示は右端から)となりますが、一度 ADJUST ダイヤルを回すと、「NORMAL」入力モードに戻ります。

3. 入力値の確定

[ENT] ボタンを押します。入力した値を登録し、通常表示に戻ります。

<ノート>

- 登録操作をキャンセルするには、[C] ボタンを押します。
- 入力された値が登録可能範囲外の場合は、[INVALID] アラームが点滅表示され、修正されるまで登録できません。

ファンクションメニュー

<HOME>

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 OUTPUT	トグル	TAPE EE	No. 140 OUTPUT	出力信号の選択 <STOP時> TAPE : STOP時は、テープから再生される信号を出力します。 記録・編集時*は、同時再生信号を出力します。 * : セットアップメニュー No. 302(CONFI EDIT)の設定が必要です。 EE : セットアップメニュー No. 600(VIDEO IN SEL)と No. 713(CH1 IN SEL)~ No. 724(D IN SEL 78)で選択された入力信号を出力します。
F2 _____	_____	_____	_____	_____
F3 TC/CTL* ²	トグル	TC UB CTL	_____	タイムカウンター表示の切り替え TC : タイムコード値を表示します。 UB : ユーザーズビット値を表示します。 CTL : コントロール信号(タイムデータ)を表示します。
F4 TC CLR* ¹	Push	RESET	_____	タイムカウンター表示のリセット タイムカウンターの表示が、コントロール信号(タイムデータ)を表示しているときに F4 ボタンを押すと、コントロール信号をゼロリセットします。
F5 _____	_____	_____	_____	_____
F6 R INH	F+トグル	OFF ALL PRE NORM V/CTL	No. 113 REC INH	セットアップメニューを参照してください。 <ノート> 設定値を OFF から ALL へ変更するときは、F ボタンを押さなくても、ファンクションボタンのみの操作で切り替えることができます。
F1 (SHIFT) PREROL	トグル +ADJ	0s --- 5s --- 30s	No. 000 P-ROLL TIME	セットアップメニューを参照してください。
F2 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____
F3 (SHIFT) OUTREF	F+トグル	AUTO INPUT HD_REF SD_REF	No. 031 OUT REF	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT) CAPSTN	F+トグル	2F 4F	No. 109 CAP. LOCK	セットアップメニューを参照してください。
F5 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____
F6 (SHIFT) VARMEM* ¹	トグル	OFF ON	_____	バリエابلメモリーモードの選択 OFF : バリエابلメモリーモードを使用しません。 ON : バリエابلメモリー再生/バリエابلメモリー編集が可能状態になります。

*¹ システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*² システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD) モードを選択している時、CTL は選択できません。また、電源立ち上げ時においては TC が選択されています。

_____ は、工場出荷モードです。

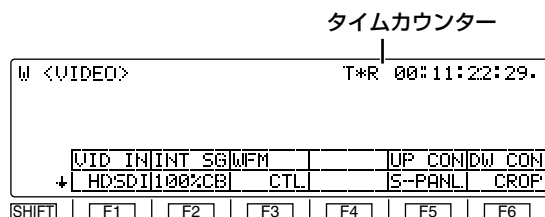
ファンクションメニュー

<VIDEO>

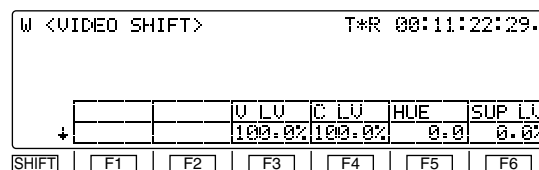
VIDEO 信号の基本的な入出力設定を行います。

HD 出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

1. VIDEO 入力切り替え/内蔵信号源の種類変更/アッ プコンのアスペクト変換

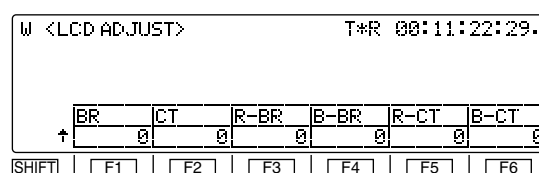


2. VIDEO 出力レベル調整



3. 液晶モニター of 明るさ・色調整

[F]+[SHIFT] で表示されます。セットアップメニューの No. 670～675 を参照してください。



ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 VID IN	トグル	INT SG HDSDI SDTI SDSDI	No. 600 VIDEO IN SEL	セットアップメニューを参照してください。 SDSDI、SDTI はオプションボードが無い場合は表示され ません。
F2 INT SG	トグル	100%CB 75%CB SMPTE ARIB MB RAMP BLACK PLL EQ	No. 601 VIDEO INT SG	セットアップメニューを参照してください。
F3 WFM	トグル	CTL TC VIDEO RF L RF R ENV L ENV R	No. 00 WFM SEL	セットアップメニューを参照してください。
F4 _____	_____	_____	_____	_____
F5 UP CON	トグル	S-PANL CROP STRECH	No. 621 UPCONV MODE	セットアップメニューを参照してください。
F6 DW CON	トグル	CROP LT-BOX SQUEEZ 14:9 13:9	No. 620 DOWNCON MODE	セットアップメニューを参照してください。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<VIDEO>

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
セットアップメニュー No. 650(STYLE)が「CMPST」の場合				
F1 (SHIFT)	-----	-----	-----	-----
F2 (SHIFT)	-----	-----	-----	-----
F3 (SHIFT) V LV	トグル +ADJ	0.0% --- <u>100.0%</u> --- 200.0%	No. 662 V LEVEL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(100.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F4 (SHIFT) C LV	トグル +ADJ	0.0% --- <u>100.0%</u> --- 141.3%	No. 663 C LEVEL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(100.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F5 (SHIFT) HUE	トグル +ADJ	-31.0 --- <u>0.0</u> --- +31.0	No. 664 HUE	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(0.0)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F6 (SHIFT) SUP LV	トグル +ADJ	- 10.0% --- <u>0.0%</u> --- + 10.0%	No. 665 SETUP LVL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(0.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
セットアップメニュー No. 650(STYLE)が「CMPNT」の場合				
F1 (SHIFT)	-----	-----	-----	-----
F2 (SHIFT)	-----	-----	-----	-----
F3 (SHIFT) Y HD	トグル +ADJ	0.0% --- <u>100.0%</u> --- 141.3%	No. 653 Y LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(100.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F4 (SHIFT) Pb HD	トグル +ADJ	0.0% --- <u>100.0%</u> --- 141.3%	No. 654 Pb LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(100.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F5 (SHIFT) Pr HD	トグル +ADJ	0.0% --- <u>100.0%</u> --- 141.3%	No. 655 Pr LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(100.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。
F6 (SHIFT) BK HD	トグル +ADJ	- 10.0% --- <u>0.0%</u> --- + 10.0%	No. 656 BK LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY(0.0%)レベルに戻すには、F+Pushで戻ります。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<AUDIO>

AUDIO 信号の基本的な入出力設定を行います。

1. オーディオ信号入力の選択(CH1 ~ CH4)

```

W <AUDIO> T*R 00:11:22:29.
+
F1 IN F2 IN DIN 12 A3 IN A4 IN DIN 34
  ANA DIGI AES ANA DIGI AES
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
  
```

2. オーディオ信号入力の選択(CH5 ~ CH8)

```

W <AUDIO SHIFT1> T*R 00:11:22:29.
+
A5 IN A6 IN DIN 56 A7 IN A8 IN DIN 78
  ANA1 DIGI AES ANA3 DIGI AES
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
  
```

3. オーディオボリュームの切り替え/CUE オーディオ記録信号の選択/オーディオモニターミックスの切り替え

```

W <AUDIO SHIFT2> T*R 00:11:22:29.
+
VOLUME RECCUE M MIX
  PB CUE OFF
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
  
```

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 A1 IN	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 713 CH1 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F2 A2 IN	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 714 CH2 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F3 DIN 12	トグル	AES SDI	No. 721 D IN SEL 12	セットアップメニューを参照してください。
F4 A3 IN	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 715 CH3 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5 A4 IN	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 716 CH4 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F6 DIN 34	トグル	AES SDI	No. 722 D IN SEL 34	セットアップメニューを参照してください。
F1(SHIFT1) A5 IN	トグル	INT SG DIGI ANA1	No. 717 CH5 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F2(SHIFT1) A6 IN	トグル	INT SG DIGI ANA2	No. 718 CH6 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F3(SHIFT1) DIN 56	トグル	AES SDI	No. 723 D IN SEL 56	セットアップメニューを参照してください。
F4(SHIFT1) A7 IN	トグル	INT SG DIGI ANA3	No. 719 CH7 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5(SHIFT1) A8 IN	トグル	INT SG DIGI ANA4	No. 720 CH8 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F6(SHIFT1) DIN 78	トグル	AES SDI	No. 724 D IN SEL 78	セットアップメニューを参照してください。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<AUDIO>

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 (SHIFT2) VOLUME	トグル	REC PB AUTO	No. 141 VOLUME	セットアップメニューを参照してください。 オーディオボリュームの制御対象を切替えます。 (CH1 ~ HC8 全てが対象)
F2 (SHIFT2) _____	_____	_____	_____	_____
F3 (SHIFT2) RECCUE	トグル	CUE CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH1+2 CH3+4 CH5+6 CH7+8 CH1-8	No. 733 REC CUE	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT2) _____	_____	_____	_____	_____
F5 (SHIFT2) _____	_____	_____	_____	_____
F6 (SHIFT2) M MIX	トグル	OFF L R L/R	No. 737 MONI MIX	セットアップメニューを参照してください。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<TC>

TCに関する設定を行います。

TCスーパーの表示設定もこの画面で行うことができます。

M <TC>		T*R 00:11:22:29.	
TC SRC	TCG MD	TCG RG	RUN MD
DF MOD			
+ INT	AUTO	TC&UB	REC DF
SHIFT	F1	F2	F3
	F4	F5	F6

M <TC SHIFT>		T*R 00:11:22:29.	
SUPER	C HPOS	C VPOS	DISPLY
C TYPE	TIMER		
+ ON	6	23	T&STA WHITE ±12h
SHIFT	F1	F2	F3
	F4	F5	F6

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 TC SRC	トグル	HDSDI,INT SG,SDTI 選択時: INT EXT_L SLTC SVITC SD SDI 選択時: INT EXT_L VITC	No. 507 TC SOURCE	セットアップメニューを参照してください。
F2	——	——	——	——
F3 TCG MD	トグル	REGEN PRE AUTO	No. 503 TCG MODE	セットアップメニューを参照してください。
F4 TCG RG	トグル	TC&UB TC UB	No. 505 TCG REGEN	セットアップメニューを参照してください。
F5 RUN MD	トグル	REC FREE	No. 504 RUN MODE	セットアップメニューを参照してください。
F6 DF MOD	F+トグル	DF NDF	No. 511 DF MODE	セットアップメニューを参照してください。
F1 (SHIFT) SUPER	トグル	OFF ON	No. 005 SUPER	セットアップメニューを参照してください。
F2 (SHIFT) C HPOS	トグル +ADJ	0 -- 6 -- 37	No. 007 CHARA H-POS	セットアップメニューを参照してください。
F3 (SHIFT) C VPOS	トグル +ADJ	0 -- 23 -- 32	No. 008 CHARA V-POS	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT) DISPLY	トグル	TIME T&STA T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY	No. 006 DISPLAY SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5 (SHIFT) C TYPE	トグル	WHITE W/OUT	No. 009 CHARA TYPE	セットアップメニューを参照してください。
F6 (SHIFT) TIMER	トグル	± 12h 24h	No. 002 TAPE TIMER	セットアップメニューを参照してください。

—— は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

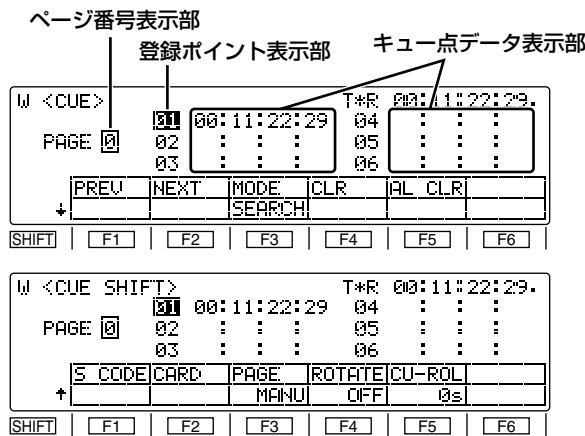
<CUE>

キュー点は60点まで設定できます。AUTO PAGEモード(<CUE SHIFT>メニューの[F3] (PAGE)が「AUTO」)では、6つのキュー点を1ページとして、10ページまでをページごとに管理できます。

ページ番号表示部と登録ポイント表示部により、60ポイントのキュー点を表示します。

<ノート>

「REMOTE」状態でセットアップメニューNo.001 (LOCAL ENA)が「ENA」以外の場合、キュー点の登録、プリロールなどは行えません。



ページ番号表示部

0から9のページ番号が表示されます。

登録ポイント表示部

各ページ毎に登録ポイント番号で管理された6つのキュー点データが表示されます。

登録ポイント番号が反転表示されているポイントが、登録およびサーチの対象です。

ページ番号と登録ポイント番号の関係は以下の通りです。

ページ番号	登録ポイント	ページ番号	登録ポイント
0	01~06	5	51~56
1	11~16	6	61~66
2	21~26	7	71~76
3	31~36	8	81~86
4	41~46	9	91~96

ページ操作

ファンクションボタン [F1] (PREV)/[F2] (NEXT) によりページの送り/戻しができます。

- ページ送りについては、<CUE SHIFT>メニューの [F4] (ROTATE)の設定によって以下ようになります。

「OFF」設定の場合：

9ページから0ページへの移動はできません。

「ON」設定の場合：

9ページから0ページへの移動ができます。

- ページ戻りについては、0ページから9ページへの移動はできません。

登録ポイント移動

ADJUSTダイヤルを回すことで登録ポイント表示部の反転表示が移動します。右回しでは昇順、左回しでは降順で移動します。<CUE SHIFT>メニューの[F3] (PAGE)が「AUTO」の場合、前後のページへも移動できます。

- 昇順での移動については、<CUE SHIFT>メニューの [F4] (ROTATE)の設定によって以下ようになります。

「OFF」設定の場合

9ページから0ページへの移動はできません。

「ON」設定の場合

9ページから0ページへの移動ができます。

- 降順での移動については、0ページから9ページへの移動はできません。

サーチ点および登録点の操作

<CUE>メニューの [F3] (MODE)ボタンを押すたびに、サーチモードとキュー点登録モードが交互に切り替わります。それぞれのモードにおいて、サーチ点/登録点を操作してください。

- POWER ON時、サーチ点/登録点は前回のPOWER OFF時のものとなります。
- <CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)や [F4] (ROTATE)設定を変更した場合、サーチ/登録ポイントは両方とも01 (0ページ/1番目)となります。

キュー点登録モード

プリロールしたいポイントを登録することができます。<CUE>メニューの [F1] (PREV)や [F2] (NEXT)ボタンにより表示ページを変更したときは、<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)の設定により、以下ようになります。

「MANU」設定の場合

サーチ/登録ポイントとも変更されたページの先頭へ移動します。

「AUTO」設定の場合

登録ポイントのみが変更されたページの前頭へ移動し、サーチポイントは移動しません。

ファンクションメニュー

<CUE>

サーチモード

希望のサーチポイントを選択し、プリロールすることができます。

<CUE>メニューの **F1** (PREV)や**F2** (NEXT)ボタンにより表示ページを変更したときは、<CUE SHIFT>メニューの **F3** (PAGE)の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

サーチ/登録ポイントとも変更されたページの先頭へ移動します。

「AUTO」設定の場合

サーチポイントのみが変更されたページの先頭へ移動し、登録ポイントは移動しません。

キュー点の登録

ADJUST ダイヤルを回し、希望の登録ポイント表示部を反転表示にします。

SET ボタンを押すと、現在のテープ位置がキュー点として登録されます。

<CUE SHIFT>メニューの **F3** (PAGE)の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

選択されたページ内での動作となります。

SET ボタンを押して、選択されたページ内で CUE*1 → CUE*2 → . . . → CUE*6 と順次登録していきます。(すでに登録されている点に対しては上書きします。)

そのページにおいて CUE*6 を登録すると、自動的に終了となります。^{*1}

次のキュー点を登録したいときは、登録ポイントを変更する必要があります。キュー点登録モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポイントを変更してください。この場合、サーチポイントも自動的に変更されたページの先頭 (CUE*1)に移動します。

^{*1}<CUE SHIFT>メニューの **F4** (ROTATE)で「ON」が設定されている場合は、同一ページ内で CUE*1 → CUE*2 → . . . → CUE*6 → CUE*1 →→ CUE*2 → . . . のローテーション動作を行います。

「AUTO」設定の場合

キュー点登録中、ページがいっぱいになったとき、自動的に次ページへ移り、登録を続けます。最終ページ CUE96 になると、自動的に終了となります。^{*2}

次のキュー点を登録したいときは、登録ポイントを変更する必要があります。キュー点登録モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポイントを変更してください。この場合、サーチポイントは変更されません。

^{*2}<CUE SHIFT>メニューの **F4** (ROTATE)で「ON」が設定されている場合は、9 ページ (CUE96)から 0 ページ (CUE01)へローテーション動作を行います。

CUE 点を数字で登録する場合

1. ADJUST ダイヤルを回し、希望の登録ポイント表示部を反転表示にします。

2. **T** ボタンを 2 回押し、選択されているキュー点の 10 時間の桁のみが反転表示になり、変更可能状態となります。

<ノート>

セットアップメニュー No.144(TC INPUT)が「REV」の場合は、上位桁からの入力(表示は右端から)となります。

3. 数値はテンキーで入力します。桁移動は数値入力後に自動で移動しますが、ADJUST ダイヤルを回して任意の桁を選択できます。

4. 確定は **ENT** ボタンを押します。

入力中に表示画面を切り替えた場合、又は **C** ボタンを押した場合は、変更可能状態が解除されて設定が無効になります。

ファンクションメニュー

<CUE>

登録点の削除

■一括削除

[F] ボタンを押しながら<CUE>メニューの [F5] (AL CLR)を押すと、現在選択中のキュー点データがすべて削除されます。削除されるポイントの範囲は、<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

現在選択されているページ内にあるすべてのポイントを削除します。

「AUTO」設定の場合

全ページ内にあるすべてのポイントを削除します。

削除後のサーチ/登録ポイントは、<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

ページ内の先頭(CUE*1)へ戻ります。

「AUTO」設定の場合

自動的に先頭ページの先頭(CUE01)へ戻ります。

※<CUE>メニューの[F3] (MODE)設定が「ENTRY」(キュー点登録モード)/「SEARCH」(サーチモード)に関係なく受け付けます。

■登録点の個別削除

<CUE>メニューの[F4] (CLR)ボタンを押すと、現在選択中のキュー点データがクリアされます。

※<CUE>メニューの[F3] (MODE)設定が「ENTRY」(キュー点登録モード)時のみ受け付けます。

サーチ動作

ADJUST ダイアルを回し、希望の登録ポイントを反転表示にします。

PREROLL ボタンを押すと、プリロール動作を行います。キュー点の登録がない場合は、プリロール動作を行いません。

また、キュー点登録モードにおいては、PREROLL ボタンを押してもプリロール動作を行いませんので、必ずサーチモードになっているかを確認してください。

(本モードにおけるプリロール時間は、通常のプリロール時間の設定とは別に<CUE SHIFT>メニューの[F5] (CU-ROL)の設定されている時間が有効となります。)

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 PREV	Push	_____	_____	マルチキューページ送り
F2 NEXT	Push	_____	_____	マルチキューページ戻り
F3 MODE	トグル	SEARCH ENTRY	_____	サーチモード/キュー点登録モードの切り替え
F4 CLR	Push	_____	_____	現在選択中のキューデータを消去します。 F3(MODE)でENTRYを選択する必要があります。
F5 AL CLR	F+Push	_____	_____	SHIFT+F3(PAGE)がMANU時：現在表示ページ中の全キューデータを消去します。 SHIFT+F3(PAGE)がAUTO時：全ページのキューデータを消去します。
F6 _____	_____	_____	_____	_____
F1 (SHIFT) S CODE*	F+Push	_____	_____	STOP CODE 操作メニュー呼び出し
F2 (SHIFT) CARD	F+Push	_____	_____	MULTI CUE ファイル操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) PAGE	トグル	MANU AUTO	No. 131 PAGE MODE	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT) ROTATE	トグル	OFF ON	No. 132 ROTA MODE	セットアップメニューを参照してください。
F5 (SHIFT) CU-ROL	トグル +ADJ	0s --- 5s --- 15s	No. 011 CU-ROLL TIME	セットアップメニューを参照してください。
F6 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____

_____ は、工場出荷モードです。

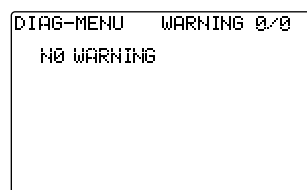
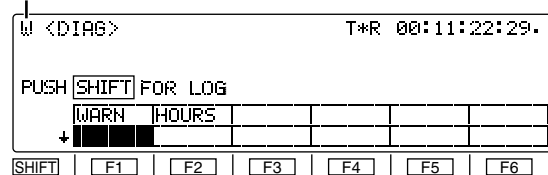
* システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

ファンクションメニュー

<DIAG>

ワーニング/アワーメータが確認できます。
SHIFT 画面ではエラーログファイルの確認、削除、
IC カードへの SAVE/LOAD ができます。

警告マーク



ワーニング表示

本機にワーニングが発生すると、画面の上左端に警告マーク(W)が点滅します。[F1] (WARN)を押すと、ワーニング内容を液晶モニターで確認することができます。

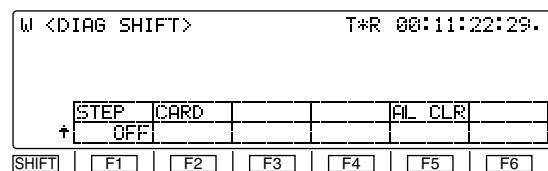
複数のワーニングが発生している場合は、ADJダイヤルを回してメッセージをスクロールできます。

アワーメータ表示

[F2] (HOURS)を押すと、アワーメータ情報を液晶モニターで確認することができます。

エラーログ機能

[SHIFT]ボタンを押し、画面を<DIAG SHIFT>に切り替えると、エラーログモードを選択することができます。



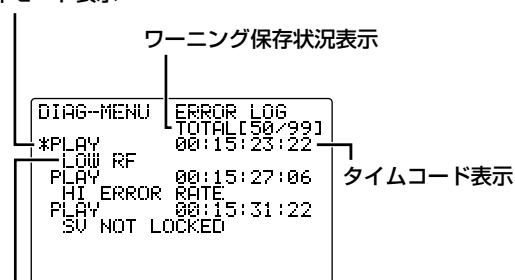
概要

テープ走行中に以下のワーニングが発生した場合、ワーニングメッセージ、タイムコード、動作モードを保存し、液晶モニター上においてリスト形式で読み出すことができます。発生したワーニングは最大99個まで保存することができます。また、99個の保存容量を超えた場合は、セットアップメニュー No.015 (AUTO STEP)の設定に従って処理されます。

保存対象ワーニングメッセージ	内容 (120ページ以降も参照してください。)
NO RF	テープのブランク部分を1秒以上検出した。 (ノーマル再生時)
SV NOT LOCKED	サーボが3秒以上外れた。 (記録/ノーマル再生/編集時)
LOW RF	エンベレベルが通常の約1/3の状態、あるいはCTLレベルが通常の約1/6の状態を1秒以上検出した。(記録/ノーマル再生/編集時)
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補正がかかった。 (ノーマル再生時)

液晶モニター表示

動作モード表示



動作モード表示

ワーニングが保存された時点の動作モードを表示します。

ワーニング表示

保存されているワーニングメッセージを表示します。

ワーニング保存状況表示

表示されているワーニングの保存番号と保存されている全てのワーニングの保存数を表示します。

タイムコード表示

ワーニングが保存された時点のタイムコードを表示します。

ワーニングポイントへのキューアップ

ADJダイヤルを回すと、液晶モニター上に表示されているワーニングリストをスクロールすることができます。確認したいワーニング発生ポイントを選択し、PREROLL ボタンを押すと保存されているタイムコードにキューアップすることができます。

ファンクションメニュー

<DIAG>

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 WARN	_____	_____	_____	液晶モニターにワーニングメッセージを表示します。
F2 HOURS	_____	_____	_____	液晶モニターにアワーメータを表示します。
F3 _____	_____	_____	_____	_____
F4 _____	_____	_____	_____	_____
F5 _____	_____	_____	_____	_____
F6 _____	_____	_____	_____	_____
F1 (SHIFT) STEP	トグル	OFF ON	No. 015 AUTO STEP	セットアップメニューを参照してください。
F2 (SHIFT) CARD	F+Push	_____	_____	エラーログファイル操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____
F4 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____
F5 (SHIFT) AL CLR	F+Push	_____	_____	エラーログファイルのクリア
F6 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____

セットアップメニュー No.015(AUTO STEP) (DEFAULT 設定は OFF)について

ERROR LOG 機能では、ワーニングメッセージは最大 99 個まで保存できますが、この容量を超えた場合の保存処理を選択します。

OFF: 99 個を上限とし、以降に発生したワーニングメッセージは保存されません。

ON: 99 個を保存し、以降に発生したワーニングメッセージは 99 番目に保存されます。すでに保存されているワーニングメッセージは下位番目方向に順次シフトされます。

ON に設定された場合の保存イメージ

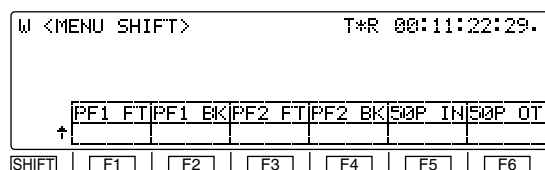
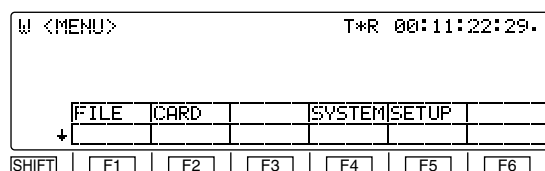
保存番号	保存ワーニング		保存番号	保存ワーニング
1/99	ワーニング 1	→	1/99	ワーニング 2
2/99	ワーニング 2		2/99	ワーニング 3
⋮	⋮		⋮	⋮
⋮	⋮		⋮	⋮
99/99	ワーニング 99		99/99	ワーニング 100

99 個まで保存され、
100 個目が発生した
場合

ファンクションメニュー

<MENU>

SYSTEM、SETUP メニューに関する操作(調整、内部メモリおよびICカードへのSAVE/LOAD)画面へ移動できます。



ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 FILE	F+Push	_____	_____	SYSTEM/SETUP 調整値の保存操作メニュー呼び出し (内部メモリ)
F2 CARD	F+Push	_____	_____	SYSTEM/SETUP 調整値の保存操作メニュー呼び出し (IC card)
F3 _____	_____	_____	_____	_____
F4 SYSTEM	F+Push	_____	_____	SYSTEM 調整の操作メニュー呼び出し
F5 SETUP	F+Push	_____	_____	SETUP 調整の操作メニュー呼び出し
F6 _____	_____	_____	_____	_____
F1 (SHIFT) PF1 FT	F+Push	_____	_____	PF1/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F2 (SHIFT) PF1 BK	F+Push	_____	_____	PF1/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) PF2 FT	F+Push	_____	_____	PF2/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F4 (SHIFT) PF2 BK	F+Push	_____	_____	PF2/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F5 (SHIFT) 50P IN	F+Push	_____	_____	50PIN (入力ピン) アサイン操作メニュー呼び出し
F6 (SHIFT) 50P OT	F+Push	_____	_____	50PIN (出力ピン) アサイン操作メニュー呼び出し

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<ASSEMBLE>

ASSEMBLE 編集モードの選択を行います。

IN点		OUT点	
W <ASSEMBLE>	PLAYER	T*R 00:	1:22:29.
IN 00:00:00:00	OUT 00:11:22:29		
ASSEM			
OFF			
SHIFT	F1	F2	F3
	F4	F5	F6

自動編集/マニュアル編集

- 編集モードが選択されている場合 (**ASSEM** ボタンが点灯)は、本 ASSEMBLE 画面を抜けた後でも、自動編集/マニュアル編集を実行できます。
(ただし、STOP CODE 操作メニュー内では不可)
- 編集 IN/OUT 点が登録された後 (**IN/OUT** ボタンが点灯)は、本 ASSEMBLE 画面を抜けた後でも、IN 点に対するプリロール・IN/OUT 点に対するキューアップができます。
(ただし、STOP CODE 操作メニュー内では不可/編集点登録も不可)

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ASSEM	トグル	OFF ON	——	編集モードの ON/OFF 表示がハイライトされると、ASSEMBLE 編集モードが ON になり、ASSEM ボタンが点灯します。
F2	——	——	——	——
F3	——	——	——	——
F4	——	——	——	——
F5	——	——	——	——
F6	——	——	——	——

—— は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<INSERT>

INSERT 編集モードおよび編集チャンネルの選択を行います。



編集点登録

編集 IN/OUT 点の登録後は、**IN/OUT** ボタンが点灯します。

自動編集/マニュアル編集

- 編集モードが選択されている場合 (**INSERT** ボタンが点灯) は、本 INSERT 画面を抜けた後でも、自動編集/マニュアル編集を実行できます。
(ただし、STOP CODE 操作メニュー内では不可。)
- 編集 IN/OUT 点が登録された後 (**IN/OUT** ボタンが点灯) は、本 INSERT 画面を抜けた後でも、IN 点に対するプリロール・IN/OUT 点に対するキューアップができます。
(ただし、STOP CODE 操作メニュー内では不可。/編集点登録も不可。)

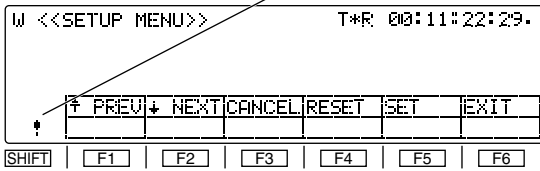
ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 V	トグル	———	———	編集モードの ON/OFF 及び編集チャンネルの選択。 ファンクションボタン(F1)以外は、2種類のチャンネルが割り当てられています。 SHIFT ボタンでマーカーを上下移動させ、チャンネルを特定しながらファンクションボタンを押して選択します。 他画面での、SHIFT ボタン(画面切替え)と意味が異なります。
F2 A5、A1				
F3 A6、A2				
F4 A7、A3				
F5 A8、A4				
F6 TC、CUE				
				編集モードの ON/OFF 何れかのチャンネル表示がハイライトされると、INSERT 編集モードが ON になり、INSERT ボタンが点灯します。

ファンクションメニュー

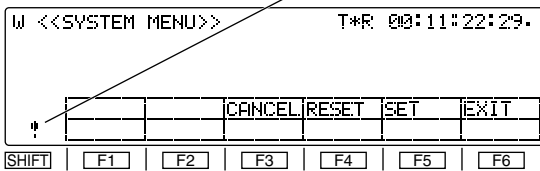
<SETUP MENU/SYSTEM MENU>

SETUP MENU/SYSTEM MENU 操作メニューを選択すると、モニタ上にメニューリストが表示され、それぞれの設定を行うことができます。

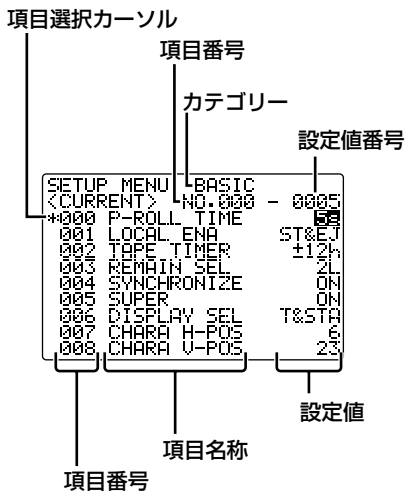
SETUP メニュー 変更マーク



SYSTEM メニュー 変更マーク



モニタ表示メニュー



設定

1. メニュー項目選択

ADJダイヤルを回してメニュー項目を選択してください。(右回し:カーソルダウン/左回し:カーソルアップ)

- ページ送り/戻し(SETUPメニューのみ)
メニューリストはカテゴリ別に管理されており、カテゴリ毎にページ送り/戻しができます。
[F1] (↑ PREV) / [F2] (↓ NEXT)

<ノート>

ADJダイヤルを回した後、しばらく画面のスクロールが続くことがあります。

2. 設定値変更

1. メニュー項目選択状態で ADJ ダイヤルを押します。
この時、モニタ上にメニュー項目選択カーソルが示すメニュー項目の設定内容が点滅します。
2. 設定内容の選択には、ADJダイヤルを回します。(右回し:設定値アップ/左回し:設定値ダウン)
もう一度、ADJダイヤルを押すとメニュー項目選択状態に戻ります。

<ノート>

- <SUB>メニューのある項目の設定
[SHIFT] ボタンを押すと、SUBメニューに入ります。その後、上記と同じ操作で設定値を変更します。
- 項目別キャンセル
[F3] (CANCEL)を押すと設定をやめ、項目選択状態に戻ります。

3. 設定値の確定

(確定後、メニュー操作は強制終了)

[F5] (SET)を押して確定します。

4. メニュー操作の終了

メニュー項目選択状態で、[F6] (EXIT)ボタンを押すと、メニュー操作を終了して元の操作画面に戻ります。

ただし、設定値を変更したあと、確認せずに[F6] (EXIT)ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

確認メッセージ

確認項目	設定内容
EXIT 確認	EXIT?
設定値の変更操作後、SAVEせずにEXITしようとしたとき	F3: CANCEL F5: SET(and EXIT) F6: EXIT(without SET)

<ノート>

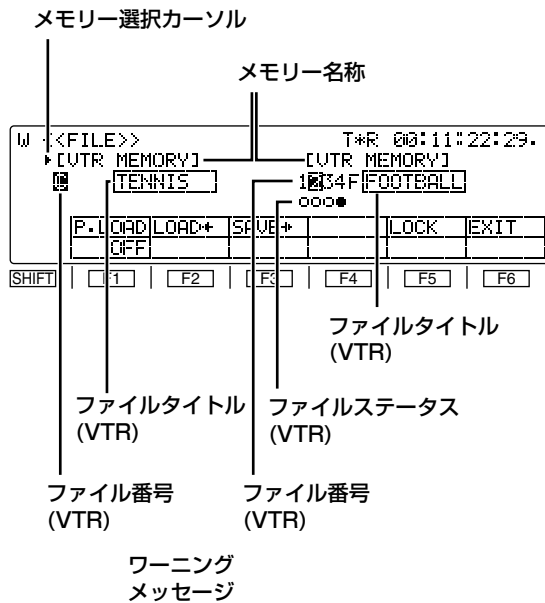
設定値を変更したときは画面左下に“!”マークが表示されます。

ファンクションメニュー

<FILE>

SETUP メニュー内容を含む現在の設定情報にタイトルを付けて4通りまでバックアップメモリへ保存/呼び出しができます。

<MENU> 画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F1]** (FILE) を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。



- 本機には現在の設定値*を保存する VTR MEMORY **[C]**と、それをバックアップ保存する VTR MEMORY **[1]~[4]**があります。
- それぞれの VTR MEMORY にはタイトルをつけることができます。
- VTR MEMORY **[C]**と VTR MEMORY **[1]~[4]**の間では、保存・呼び出し・タイトルのコピーができます。
- VTR MEMORY **[1]~[4]**には、上書きを防止するためのファイルロックができます。

* ここでの“設定値”とは、SYSTEMメニューを除くセットアップメニューの全ての設定値、PF1/PF2メニューの項目登録内容、一部のファンクションボタン内容を指します。

保存領域名称	初期タイトル(8文字)
VTR MEMORY C	CURRENT
VTR MEMORY 1	USER1
VTR MEMORY 2	USER2
VTR MEMORY 3	USER3
VTR MEMORY 4	USER4

設定

1. メモリ対象の選択

[SHIFT] ボタンを押します。

操作対象が VTR MEMORY **[C]** 側と VTR MEMORY **[1]~[4]** 側の間で交互に切り替わります。

2. 選択メモリ内での、操作ファイルの選択

現在選択されているファイルは、ファイル番号が反転表示になっています。

ADJダイヤルを回すと、反転表示が左右に移動して操作ファイルを選択できます。

3. メモリ間のファイル転送

操作ファイルを選択した後に、**[F2]**(LOAD)を押します。

VTR MEMORY **[1]~[4]** 内の選択されているファイル内容を VTR MEMORY **[C]** に転送できます。

[F] を選択して、**[F2]**(LOAD)を押すと、工場出荷モードになります。

また、**[F3]**(SAVE)を押すと、VTR MEMORY **[C]** のファイル内容を VTR MEMORY **[1]~[4]** 内の選択されているファイルに転送できます。(タイトルも同時に転送されます。)

4. 選択されたファイルのタイトル編集

操作ファイルを選択した後、ADJダイヤルを押します。

タイトル表示部の1桁目が反転表示になり、ファイルのタイトルが編集できます。

- 数字を入力するときは、数字キーを押します。
- 文字を入力するときは、**[F]** ボタンを押しながら、入力したい文字が表示されるまで数字キーを連打します。

各数字キーには複数の文字が割り当てられています。

- タイトル表示部内での桁移動は、ADJダイヤルを回します。
- タイトルを確定するために、もう一度ADJダイヤルを押してください。

<ノート>

- タイトル編集中に表示画面を切り替えたとき、または **[C]** ボタンを押したときは、編集可能状態が解除されて設定が無効になります。

- **[F]** ボタンと **[3]** ボタンを押すと、スペースが入力できます。

ファンクションメニュー

<FILE>

設定

5. ファイルの上書き禁止

VTR MEMORY **1**~**4** の個々のファイルに対して、上書き禁止のロックを行うことができます。

ロックしたいファイルを選択し、**[F5]**(LOCK)を押すとロックされます。

もう一度 **[F5]**(LOCK)を押すと、ロックが解除されます。

ロック/ロック解除の状態はファイルステータスに表示されます。

[○]:ロック解除状態 / ●:ロック状態]

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 P. LOAD	Push	OFF USER1 USER2 USER3 USER4	A02 P.ON LOAD	セットアップメニューを参照してください。
F2 LOAD ←	Push	———	———	カレントファイルへのダウンロード
F3 SAVE →	Push	———	———	バックアップファイルへのダウンロード
F4 ———	———	———	———	———
F5 LOCK	Push	———	———	バックアップファイルのロック
F6 EXIT	———	———	———	———
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) ———	———	———	———	———

——— は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー

<PF1/PF2>

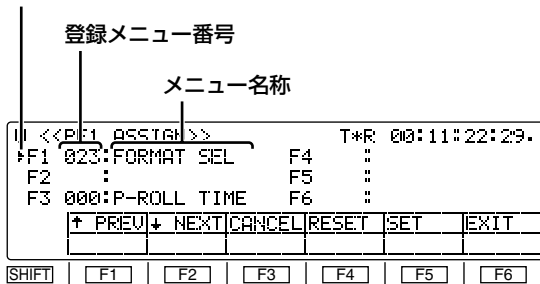
よく使うセットアップメニュー項目を最高24項目まで登録することができます。

登録は下記のファンクションメニューで行います。

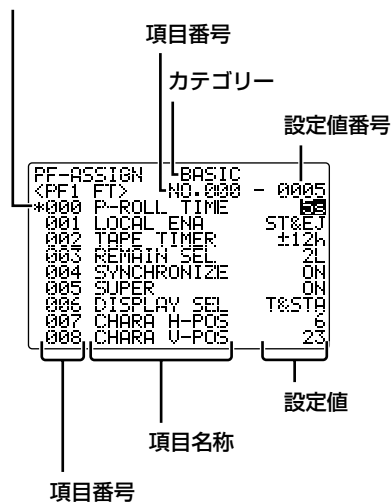
(工場出荷時は未設定です。)

ファンクションメニューを表示するには、<MENU SHIFT>画面で[F] ボタンを押しながら [F1](PF1 FT)、[F2](PF1 BK)、[F3](PF2 FT)、[F4](PF2 BK)のいずれかを押します。

選択マーカー



項目選択カーソル



登録

1. ファンクションボタンの選択

ADJダイヤルを回して選択マーカーを移動させ、登録したいファンクションボタン([F1]~[F6])を選びます。

2. ファンクションボタンの確定

ADJダイヤルを押します。
確定したファンクションボタンの表示が反転表示されます。

3. メニュー項目の選択

ADJダイヤルを回して、1.で選択したファンクションボタンに対するメニュー項目を選びます。

4. メニュー項目の確定

ADJダイヤルを押します。

ADJダイヤルの操作対象はフロントパネルに戻ります。登録メニュー番号/名称は3.で選択した内容が表示されます。

5. 他のファンクションボタンにメニュー項目を選択する場合は、操作1.2.3.4.を繰り返します。

6. PF登録ファイルに保存

ファンクションボタンに設定した内容をPF登録ファイルに保存する場合は、[F5](SET)を押します。

保存せずに[F6](EXIT)を押すと、設定内容はキャンセルされます。

登録が行われると、ダイレクトメニューボタンのPF1やPF2を押すだけで、登録したメニューを呼び出すことができます。

[PF1]を押したとき: <PF1 FT>

[PF1]を押した後に[SHIFT]を押したとき: <PF1 BK>

[PF2]を押したとき: <PF2 FT>

[PF2]を押した後に[SHIFT]を押したとき: <PF2 BK>が呼び出されます。

削除

1. ADJダイヤルを回して選択マーカーを移動させ、削除したいファンクションボタン([F1]~[F6])を選択します。

2. [F4](RESET)を押します。登録メニュー番号/名称の表示はブランク表示となります。

3. 他のファンクションボタンを削除する場合は、操作1.2.を繰り返します。

4. ファンクションボタンに設定した内容をPF登録ファイルに保存する場合は、[F5](SET)を押します。

保存せずに[F6](EXIT)を押すと、上記設定内容がキャンセルされます。

一括削除

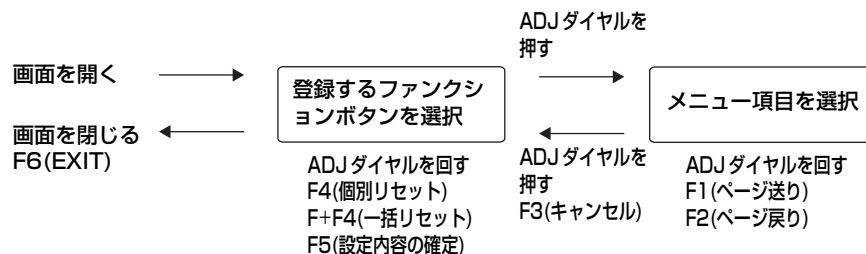
[F] ボタンを押しながら [F4](RESET)を押します。全ての登録メニュー番号/名称の表示はブランク表示となります。

PF登録ファイルの内容はすべて削除されます。(復元はできません。)

ファンクションメニュー

<PF1/PF2>

ファンクションボタン登録の流れ



PF1/PF2 ファンクションボタン

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ↑ PREV	Push	_____	_____	オンスクリーンメニューのページ送り
F2 ↓ NEXT	Push	_____	_____	オンスクリーンメニューのページ戻り
F3 CANCEL	Push	_____	_____	メニュー項目選択状態の解除
F4 RESET	Push	_____	_____	個別リセット:選択マークで選択されている端子に対する選択内容をクリアします。
	F+Push	_____	_____	一括リセット:全ての端子に対する登録内容をPF登録ファイルから削除します。
F5 SET	Push	_____	_____	設定内容の確認 (確認メッセージ無し)
F6 EXIT	Push	_____	_____	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移) (確認メッセージ有り)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) _____	_____	_____	_____	_____

ファンクションメニュー

<PF1/PF2>

PF1/PF2 ファンクションボタン名称

ファンクションボタンにSETUPメニュー項目を登録した場合、ファンクションボタン名称は下表に従って表示されます。

セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
000	P-ROLL TIME	PREROL
001	LOCAL ENA	L ENA
002	TAPE TIMER	TIMER
003	REMAIN SEL	REMAIN
004	SYNCHRONIZE	SYNCR
005	SUPER	SUPER
006	DISPLAY SEL	DISPLY
007	CHARA H-POS	C HPOS
008	CHARA V-POS	C VPOS
009	CHARA TYPE	C TYPE
010	MONI CONTROL	MONI C
011	CU-ROLL TIME	CU-ROL
012	REC ADJUST	REC AJ
013	DET STOP	DET ST
014	DET ADJUST	DET AJ
015	AUTO STOP	STEP
020	SYS FORMAT	SYS FT
022	PB FORMAT	PB FT
023	FORMAT SEL	FMT SL
030	HD FREQUENCY	HD FRQ
031	OUT REF	OUTREF
100	SEARCH ENA	SEARCH
101	SHTL MAX	STL MX
102	FF.REW MAX	F/R MX
104	REF ALARM	REF AL
105	AUTO EE SEL	AT EE
106	EJECT EE SEL	EJ EE
107	EE MODE SEL	EE MD
108	PLAY DELAY	PL DLY
109	CAP.LOCK	CAPSTN
110	AUTO REW	AT REW
111	MEMORY STOP	MEM ST
112	FRZ MODE SEL	FRZ MD
113	REC INH	R INH
114	REC INH LAMP	INH LP
115	EJECT SW INH	EJ SW
116	EJECT LAMP	INH LP
118	SP MODE INH	SP MD
119	CONFI REC	CNFI R

セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
131	PAGE MODE	PAGE
132	ROTA MODE	ROTATE
133	KEY BEEP	KEY BP
134	ALARM BEEP	AL BP
135	DET BEEP	DET BP
140	OUTPUT	OUTPUT
141	VOLUME	VOLUME
142	AUDIO UNITY	A UNI
143	CASSTT LIGHT	CAS LT
144	TC INPUT	TC IN
145	FRONT LCD	F LCD
200	PARA RUN	PR RUN
202	ID SEL	ID SEL
204	RS232C SEL	RS232C
205	BAUD RATE	BAND R
206	DATA LENGTH	DATA L
207	STOP BIT	ST BIT
208	PARITY	PARITY
209	RETURN ACK	RET AK
212	MASTER PORT	MSTR P
300	IN/OUT DEL	HD FRQ
301	NEGA FLASH	OUTREF
302	CONFI EDIT	CONFI
303	AUD EDIT IN	AUD I
304	AUD EDIT OUT	AUD O
305	AUTO ENTRY	AT ENT
306	CF ADJ SEL	CF ADJ
307	AFTER CUE-UP	AF CUP
308	VAR FWD MAX	V F MX
309	VAR REV MAX	V R MX
310	JOG FWD MAX	J F MX
311	JOG REV MAX	J R MX
312	POSTROLL TM	POSROL
320	EDIT RPLCE1	RPLCE1
321	EDIT RPLCE2	RPLCE2
322	EDIT RPLCE3	RPLCE3
323	EDIT RPLCE4	RPLCE4
324	EDIT RPLCEC	RPLCEC

ファンクションメニュー

<PF1/PF2>

セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
400	STILL TIMER	STILL
401	SRC PROTECT	SRC PT
402	DRUM STDBY	DRUM
403	STOP PROTECT	STP PT
500	VITC BLANK	VI BLK
501	VITC POS-1	VI PS1
502	VITC POS-2	VI PS2
503	TCG MODE	TCG MD
504	RUN MODE	RUN MD
505	TCG REGEN	TCG RG
506	REGEN MODE	REG MD
507	TC SOURCE	TC SRC
508	BINARY GP	BINARY
509	PHASE CORR	P CORR
510	TCG CF FLAG	TG CFF
511	DF MODE	DF MOD
512	TC OUT REF	TC REF
513	VITC OUT	VITC O
514	HD EMBD VITC	ENBD V
515	HD EMBD LTC	ENBD L
516	TC OUT ADV	TC ADV
517	TCG OUT	TCG O
600	VIDEO IN SEL	VID IN
601	VIDEO INT SG	INT SG
602	SDI IN MODE	SDI IN
603	V-MUTE SEL	V-MUTE
604	FREEZE SEL	FRZ SL
605	INTERPOLATE	INTPLT
606	SD MON O SEL	SD MOS
620	DOWNCON MODE	DW CON
621	UPCONV MODE	UP CON
622	D/C RESP H	D/C RH
623	D/C RESP V	D/C RV
624	U/C RESP H	U/C RH
625	U/C RESP V	U/C RV
626	D/C ENH H	D/C EH
627	D/C ENH V	D/C EV
628	U/C ENH H	U/C EH
629	U/C ENH V	U/C EV
630	1080i→HD_OUT	1080HO
631	1080i→SD_OUT	1080SO
632	720p→HD_OUT	720pHO
633	720p→SD_OUT	720pSO

セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
634	480p→HD_OUT	480pHO
635	480p→SD_OUT	480pSO
636	480i→HD_OUT	480iHD
637	480i→SD_OUT	480iSD
638	IN U/C MODE	IUC MD
639	I U/C RESP H	IUC RH
640	I U/C RESP V	IUC RV
641	I U/C ENH H	IUC EH
642	I U/C ENH V	IUC EV
650	STYLE	STYLE
651	HUE STYLE (SD)	HUE S
653	Y LVL (HD)	Y HD
654	Pb LVL (HD)	Pb HD
655	Pr LVL (HD)	Pr HD
656	BK LVL (HD)	BK HD
658	Y LVL (SD)	Y SD
659	Pb LVL (SD)	Pb SD
660	Pr LVL (SD)	Pr SD
661	BK LVL (SD)	BK SD
662	V LEVEL	V LV
663	C LEVEL	C LV
664	HUE	HUE
665	SETUP LVL	SUP LV
670	BRIGHT	BR
671	R-BRIGHT	R-BR
672	B-BRIGHT	B-BR
673	CONTRAST	CT
674	R-CONTRAST	R-CT
675	B-CONTRAST	B-CT
676	BLK CLIP	B LIP
680	CC (F1) BLANK	CC1 BK
681	CC (F2) BLANK	CC2 BK
684	EDH (SD)	EDH SD
685	ESR MODE (SD)	ESR SD
686	CCR MODE (SD)	CCR SD
687	SDI INDEX O	SDI IX
688	CC REC	CC REC
695	BLANK LINE	BK L

ファンクションメニュー

<PF1/PF2>

セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
700	CH1 IN LV	A1 ILV
701	CH2 IN LV	A2 ILV
702	CH3 IN LV	A3 ILV
703	CH4 IN LV	A4 ILV
704	CUE IN LV	AC ILV
705	CH1 OUT LV	A1 OLV
706	CH2 OUT LV	A2 OLV
707	CH3 OUT LV	A3 OLV
708	CH4 OUT LV	A4 OLV
709	CUE OUT LV	AC OLV
710	MONIL OUT LV	ML OLV
711	MONIR OUT LV	MR OLV
712	MONI OUT	MONI O
713	CH1 IN SEL	A1 IN
714	CH2 IN SEL	A2 IN
715	CH3 IN SEL	A3 IN
716	CH4 IN SEL	A4 IN
717	CH5 IN SEL	A5 IN
718	CH6 IN SEL	A6 IN
719	CH7 IN SEL	A7 IN
720	CH8 IN SEL	A8 IN
721	D IN SEL12	DIN 12
722	D IN SEL34	DIN 34
723	D IN SEL56	DIN 56
724	D IN SEL78	DIN 78
725	REC CH1	REC A1
726	REC CH2	REC A2
727	REC CH3	REC A3
728	REC CH4	REC A4
729	REC CH5	REC A5
730	REC CH6	REC A6
731	REC CH7	REC A7
732	REC CH8	REC A8
733	REC CUE	RECCUE
734	PB FADE	PB FD
735	HD EMBD AUD	HDEM A
736	SD EMBD AUD	SDEM A
737	MONI MIX	M MIX
738	CH1 CUE SEL	A1 CSL
739	CH2 CUE SEL	A2 CSL
740	CH3 CUE SEL	A3 CSL
741	CH4 CUE SEL	A4 CSL

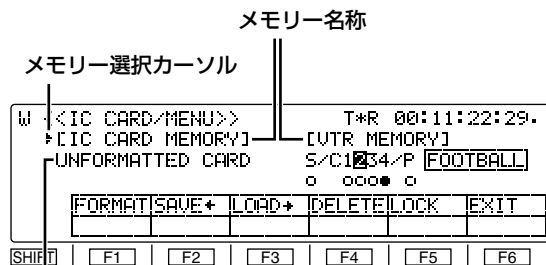
セットアップメニューNo.	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
742	CH5 CUE SEL	A5 CSL
743	CH6 CUE SEL	A6 CSL
744	CH7 CUE SEL	A7 CSL
745	CH8 CUE SEL	A8 CSL
746	MONI CH SEL	MON CH
747	MON AUTO SEL	MON AT
748	MONI SEL INH	MS INH
749	AUDIO PB VR	APB VR
750	ANA CH1 SEL	AA1 SL
751	ANA CH2 SEL	AA2 SL
752	ANA CH3 SEL	AA3 SL
753	ANA CH4 SEL	AA4 SL
754	SD SDI CH1 SL	SSA1 SL
755	SD SDI CH2 SL	SSA2SL
756	SD SDI CH3 SL	SSA3SL
757	SD SDI CH4 SL	SSA4SL
758	JOG PROC	JOG P
759	DV PB ATT	DV ATT
760	REC PT MUTE	R PTMT
761	AUDIO INT SG	A INSG
762	AUD RATE CON	A RC
763	METER SCALE	M SCL
790	CUE REC VOL	CR VOL
791	CUE PB VOL	CP VOL
A02	P.ON LOAD	P.LOAD

ファンクションメニュー

<CARD>

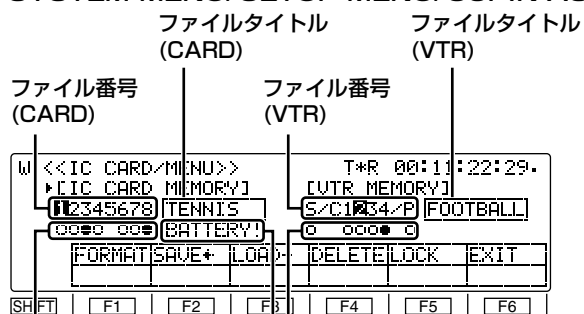
各種設定や情報をICカードに保存/呼び出しができます。
 <MENU>画面で、**[F]** ボタンを押しながら **[F2]** (CARD)を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。

[MENU/ERROR LOG/MULTI CUE]



ワーニングメッセージ 1

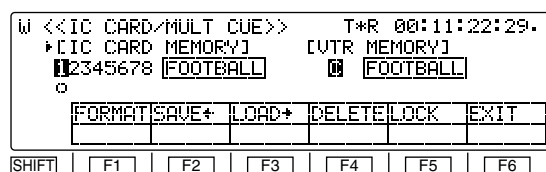
SYSTEM MENU/SETUP MENU/50PIN ASSIGN



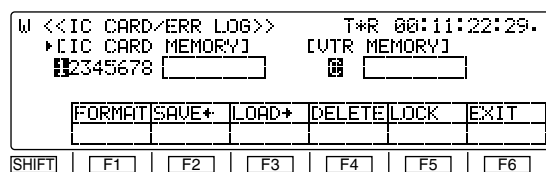
ファイルステータス (CARD) ファイルステータス (VTR)

ワーニングメッセージ 2

MULTI CUE



ERROR LOG



<ノート>

- ICカードは他の機種との互換性はありません。
- 使用できるICカードは68ピンツーピース方式の電池交換型SRAMカード(64KB以上)です。品番BN-064HSRを推奨します。

ワーニングメッセージ 1

ICカードについての警告が表示されます。

NO CARD

ICカードが挿入されていません。

UNFORMATTED CARD

ICカードがフォーマットされていません。

HD150 FORMAT!

AJ-HD150でフォーマットされたカードです。

HD1500 FORMAT!

AJ-HD1500でフォーマットされたカードです。

ワーニングメッセージ 2

BATTERY!

ICカード内蔵の電池が消耗している場合に 표시됩니다。電池の交換が必要です。

PROTECT!

ICカードのプロテクトがONになっています。

ファイルステータス

	ファイルステータス(CARD)	ファイルステータス(VTR)
ブランク	保存ファイルが存在しません。	-----
○	保存ファイルが存在します。(ロック解除状態)	対象ファイルはロック解除状態です。
●	保存ファイルが存在します。(ロック状態)	対象ファイルはロック状態です。

ファンクションメニュー

<CARD>

[MENU/ERROR LOG/MULTI CUE]

ICカードデータ配置	ロック		VTRメモリデータ配置	ロック	
SETUP MENU	1	○ ↔	SETUP MENU (PF1/PF2メニュー項目登録内容、一部のファンクションボタン内容)	カレント	×
	2			USER1	○
	3			USER2	○
	4			USER3	○
	5			USER4	○
	6				
	7				
	8				
50 PIN ASSIGN	1	○ ↔	50 PIN ASSIGN	カレント	○
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
SYSTEM MENU	1	○ ↔	SYSTEM MENU	カレント	○
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				

ICカードデータ配置	ロック		VTRメモリデータ配置	ロック	
MULTI CUE	1	○ ↔	MULTI CUE	カレント	×
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
ERROR LOG	1	○ ↔	ERROR LOG	カレント	×
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				

- ICカードは本機のVTR MEMORYにあるSETUP MENU(カレント、USER1～USER4)/SYSTEM MENUの設定値、50PIN ASSIGNの登録内容、MULTI CUEの登録ポイント、ERROR LOGの内容を保存・呼び出しが可能です。
- 全てのデータファイルに対してタイトルをつけることができ、保存・呼び出しの際には同時にタイトルのコピーも行います。
- ICカード上に保存されたデータファイルに対しては、上書きを防止する為にファイルロックが可能です。

設定

1. メモリ対象の選択

[SHIFT]ボタンを押します。

操作対象がIC CARD MEMORY側とVTR MEMORY側の間で交互に切り替わります。

2. 選択メモリ内での、操作ファイルの選択

現在選択されているファイルは、ファイル番号が反転表示になっています。

ADJダイヤルを回して、操作するファイルを選びます。

- SETUP MENU/SYSTEM MENU/50PIN ASSIGNの場合
IC CARD MEMORY側の登録状況表示は、VTR MEMORY側でS(SYSTEM MENU)、C1234(SETUP MENU)、P(50PIN ASSIGN)のどれを選択するかで内容が自動的に切り替わります。

3. メモリ間のファイル転送

- VTR MEMORY側→IC CARD MEMORY側
操作ファイルを選択した後に、[F2](SAVE)を押します。
- IC CARD MEMORY側→VTR MEMORY側
操作ファイルを選択した後に、[F3](LOAD)を押します。

<ノート>

タイトルも同時に転送されます。

ファンクションメニュー

<CARD>

4. 選択されたファイルのタイトル編集

操作ファイルを選択した後、ADJダイヤルを押します。

タイトル表示部の1桁目が反転表示になり、ファイルのタイトルが編集できます。

- 数字を入力するときは、数字キーを押します。
- 文字を入力するときは、**[F]** ボタンを押しながら、入力したい文字が表示されるまで数字キーを連打します。

各数字キーには複数の文字が割り当てられています。

- タイトル表示部内での桁移動は、ADJダイヤルを回します。
- タイトルを確定するために、もう一度ADJダイヤルを押してください。

<ノート>

- タイトル編集集中に表示画面を切り替えたとき、または **[C]** ボタンを押したときは、編集可能状態が解除されて設定が無効になります。
- **[F]** ボタンと **[3]** ボタンを押すと、スペースが入力できます。

5. ファイルの上書き禁止

IC CARD MEMORYの個々のファイルに対して、上書き禁止のファイルロックができます。

● ファイルをロック

ロックしたいファイルを選択し、**[F5]**(LOCK)を押します。

● ファイルロックを解除

もう一度 **[F5]**(LOCK)を押します。

<ノート>

ロック/ロック解除の状態はファイルステータスに表示されます。

[○:ロック解除状態 / ●:ロック状態]

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 FORMAT	F+Push	———	———	IC カードのフォーマット
F2 SAVE ←	Push	———	———	IC カードファイルへの転送
F3 LOAD →	Push	———	———	IC カードファイルからの転送
F4 DELETE	F+Push	———	———	ICカードファイルの削除
F5 LOCK	Push	———	———	IC カードファイル/VTR MEMORY ファイルのロック
F6 EXIT	———	———	———	———
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) ———	———	———	———	———

ファンクションメニュー

<STOP CODE>

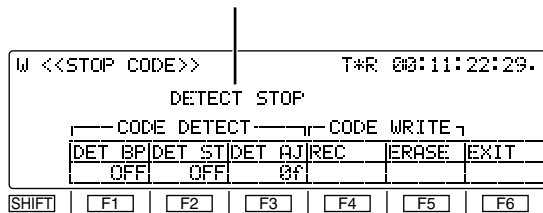
STOP CODE の記録/消去を行います。

<CUE SHIFT> 画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F1]** (S CODE) を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。

<ノート>

- 「REMOTE」状態でセットアップメニュー No.001 (LOCAL ENA) が「ENA」以外の場合、<STOP CODE> 画面へ移行できません。また、「REMOTE」状態で、<STOP CODE> 画面にすでに入っているときは、ストップコードの記録/消去はできません。
- システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD) モードを選択している時、**[F1]** (S CODE) は表示されなくなり、<STOP CODE> 画面へ移行できません

動作モードステータス



動作モードステータス

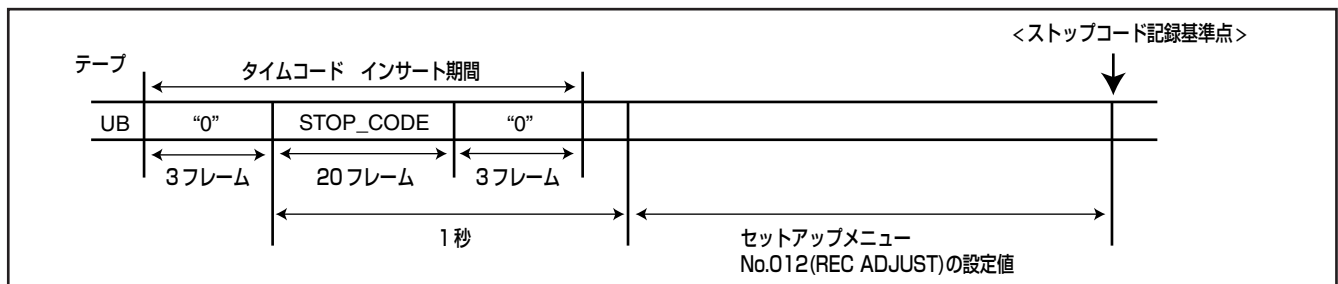
表示	内容
RECORDING	ストップコード記録中
ERASING	ストップコード消去中
DETECTING	ストップコード記録部分を再生中
DETECT STOP	ストップコード検出停止中

ストップコードの設定

ストップコードの検出動作、ストップコード検出時の停止位置の設定はファンクションボタン **[F1]** ~ **[F3]** で行います。

ストップコードの記録 (下図参照)

1. ファンクションボタン **[F4]** (REC) を押して ON 状態にします。
2. PLAY、JOG モードなどで <ストップコード記録基準点> の頭出しをします。
3. AUTO EDIT ボタンを押します。
AUTO EDIT ボタンを押したところが <ストップコード記録基準点> となります。



8 秒前にプリロールしてから記録動作を始め、ストップコードを記録した後に自動停止します。

<ノート>

- REC INH 状態では本動作は実行されません。
- 動作を途中で止めるには STOP ボタンを押します。

記録開始位置の指定

セットアップメニュー No.012 (REC ADJUST) で <ストップコード記録基準点> の何秒前からストップコードを記録するかを設定してください。

記録の確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。

ストップコード記録開始位置の 5 秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが正常に検出された場合はファンクションボタン **[F3]** (DET AJ) の設定に従って停止します。

<ノート>

ストップコード記録後に <STOP CODE> 画面を抜けるまで PREVIEW/REVIEW ボタンでの記録確認ができます。

ストップコードの消去

1. 「ストップコード検出による停止」モードで消去したいストップコードで停止します。
2. ファンクションボタン **[F5]** (ERASE) を押して ON 状態にします。
3. AUTO EDIT ボタンを押します。
ストップコード記録点の 5 秒前にプリロールしてから消去動作を始め、ストップコードを消去した後に自動停止します。

消去の確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。ストップコード記録開始位置の 5 秒前にプリロールし、再生を開始します。

ファンクションメニュー

<STOP CODE>

ストップコードの検出

ストップコードが書き込んだテープを再生するとき、<STOP CODE>メニューの **F1**(DET BP)、**F2**(DET ST)の設定によって下記の動作になります。

<ノート>

STOP CODE 画面以外でも下記の動作になります。

DET BP	DET ST	ストップコード検出時のVTRの動作
OFF	OFF	現状の動作を継続する
OFF	ON	停止する(NORMAL PLAY 走行中)
ON	OFF	停止しない 設定された音量の検出音を鳴らす
ON	ON	設定された音量の検出音を鳴らし、停止 (NORMAL PLAY 走行中)する

ストップコードが検出できるテープ走行モードと速度範囲は次のようになります。

走行モード/速度	検出	50ピン出力タイミング	停止するタイミング
NORMAL PLAY	する	5回読みとったとき*	<STOP CODE>メニューの F3 (DET AJ)で設定
VAR, SHUTTLE (0~±1倍速)	する	4回読みとったとき	動作しない
VAR, SHUTTLE (1倍速超~±8倍速)	する	2回読みとったとき	動作しない
REC, EDIT, JOG, CUE UP, PREROLL, SHUTTLE (±8倍速超)	しない	動作しない	動作しない

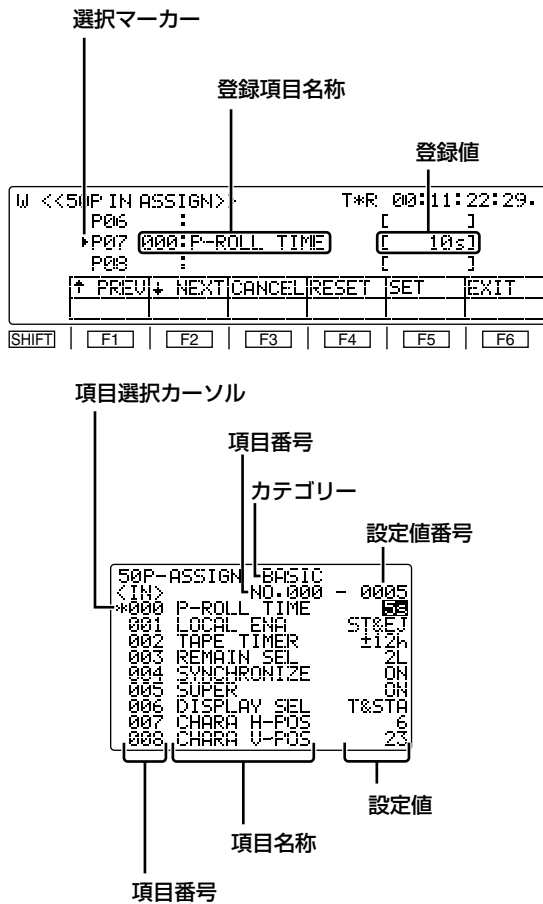
*1 ストップコードにより停止した後は、停止またはスタンバイOFF以外の状態になるまで「ストップコードにより停止」状態を保持します。

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 DET BP	トグル	OFF LOW HI	No.135 DET BEEP	ストップコード検出音の大きさを設定します。
F2 DET ST	トグル	OFF ON	No.013 DET STOP	ストップコード検出時の動作を設定します。 0:PLAY動作を継続します 1:強制STOPします。
F3 DET AJ	トグル+ADJ	-8f ~0f ~3s10f	No.014 DET ADJUST	ストップコードを検出した場合、テープ走行を停止する位置を通常の停止位置からストップコード記録基準点に近づく方向に-8フレーム~3秒10フレームの範囲でフレーム単位で調整します。
F4 REC	トグル	-----	-----	STOP CODEをREC/ERASEする場合にONします。(ON選択は排他となっています。)
F5 ERASE	トグル	-----	-----	ERASEはストップコード検出により停止した場合のみONにできます。
F6 EXIT	-----	-----	-----	
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT)	-----	-----	-----	-----

ファンクションメニュー

<50P IN/OUT ASSIGN>

パラレルリモート(50PIN)端子に対して、入力端子への機能登録/出力端子へのステータス登録をフロントパネル及びオンスクリーンメニューを使用して行います。<MENU SHIFT>画面で[F] ボタンを押しながら [F5] (50P IN)または [F6] (50P OT)を押すと、下記のファンクションメニューが表示され、登録や削除を行います。



登録項目名称

各端子にはセットアップメニュー項目及び 50PIN 端子専用メニュー項目を登録することができ、そのメニュー名称が表示されています。

登録値

各端子に登録されたメニュー項目における一つの設定値が表示されています。上記内容が登録されている IN 端子にアクティブ信号が入力されると、登録メニューに対する設定値が VTR 内部で有効となります。また、登録メニューに対する設定値が登録値と一致したときに、登録されている OUT 端子からアクティブ信号を出力します。

機能登録できる端子

IN 端子: PIN6 ~ 20, 22, 23, 25

OUT 端子: PIN21, 24, 32 ~ 46, 48

上記以外の端子は予約端子で変更はできません。

IN 端子		OUT 端子	
		21	フリーアサイン領域
		24	
		26	
1	REC	27	REC
2	PLAY	28	PLAY
3	FF	29	FF
4	REW	30	REW
5	STOP	31	STOP
6	フリーアサイン領域	32	フリーアサイン領域
↑		↑	
↓		↓	
20		46	
22		48	
23			
25			
		47	<GND>
		49	<GND>
		50	<GND>

入力/出力端子へ登録できる項目

入力/出力端子には共にセットアップメニューと同様の項目を登録することができ、入力/出力端子に対してそれぞれ別途指定する専用項目が登録できます。

<ノート>

システムメニュー及びサブメニュー内容は登録できません。

項目番号	入力端子登録	出力端子登録
000	セットアップメニューリスト	<未表示>
100		
200		
300		
400		
500		
600		
700		
B00	IN 専用メニューリスト	<未表示>
C00	<未表示>	OUT 専用メニューリスト

ファンクションメニュー

<50P IN/OUT ASSIGN>

入力端子への機能登録/アクティブ入力 出力端子への機能登録/ステータス出力

1. 50pin 端子の選択

ADJ ダイアルを回して選択マーカを移動させ、登録したい50pin 端子を選びます。

2. 50pin 端子の確定

ADJ ダイアルを押します。
確定した50pin 端子の表示が反転表示されます。

3. メニュー項目の選択

ADJ ダイアルを回して、1.で選択した50pin 端子に対するメニュー項目を選びます。

4. メニュー項目の確定

ADJ ダイアルを押します。
オンスクリーンの設定値表示が点滅します。

5. 設定値の選択

ADJ ダイアルを回して、3.で選択したメニュー項目に対する設定値を選びます。

6. 設定値の確定

ADJ ダイアルを押します。
ADJ ダイアルの操作対象はフロントパネルに戻ります。登録項目名称には3.で選択した内容が、登録値には5.で選択した内容が表示されます。

7. 他の50pin 端子にメニュー項目および設定値を選択する場合は、操作 1.～6.を繰り返します。

8. 50pin 登録ファイルに保存

50pin 端子に設定した内容を50pin 登録ファイルに保存する場合は[F5](SET)を押します。
保存せずに[F6](EXIT)を押すと、上記設定内容はキャンセルされます。

削除

- ADJ ダイアルを回して選択マーカを移動させ、削除したい50pin 端子を選択します。
- [F4](RESET)を押します。登録項目名称/登録値の表示はブランク表示となります。
- 他の50pin 端子を削除する場合は、操作 1.2.を繰り返します。
- 50pin 端子に設定した内容を50pin 登録ファイルに保存する場合は、[F5](SET)を押します。
保存せずに[F6](EXIT)を押すと、上記設定内容はキャンセルされます。

一括リセット

[F]ボタンを押しながら[F4](RESET)を押します。全ての登録項目名称/登録値は工場出荷設定になります。(復元はできません。)

IN 専用メニューリスト

No. SUPER DISPLAY	設定内容
セットアップメニューには存在しない機能	
B00 STBY ON	STANDBY ON モードへ移行します。
B01 STBY OFF	STANDBY OFF モードへ移行します。
B02 STBY ONOFF	STANDBY ON/OFF モードを交互に移行します。
B03 EJECT	EJECT モードへ移行します。
B04 CUE	IN 点が登録されている場合は、IN 点に対して PREROLL を実行します。 IN 点が登録されていない場合は、現在点に対して PREROLL を実行します。
B05 IN SET	編集 IN 点を登録します。
B06 STILL	静止画(STILL)モードへ移行します。
B07 422 REM ON	9 pin 端子が機能します。
B08 422 REM OFF	9 pin 端子が機能しません。
B09 TC EXT	TC SOURCE を以前の EXT モードに戻します。 (現在が EXT モードの場合は切り替えは発生しません。)
B10 TC INT AUTO	TC SOURCE を INT に、TCG MODE を AUTO に切り替えます。
B11 TC EXT_L REG	TC SOURCE を EXT_L に切り替え、TCG MODE を REGEN に切り替えます。
SRC PROTECT/STOP PROTECT の設定を同時に切り替え	
B20 PROTECT HALF	STOP 状態、またはサーチモード (JOG/VAR/SHTL) の STILL 状態で放置されたときのテープ保護モードの動作をハーフローディングに切り替えます。
B21 PROTECT T-REL	STOP 状態、またはサーチモード (JOG/VAR/SHTL) の STILL 状態で放置されたときのテープ保護モードの動作をテンションリリースに切り替えます。

ファンクションメニュー

<50P IN/OUT ASSIGN>

IN 専用メニューリスト(つづき)

No. SUPER DISPLAY	設定内容
UPCON MODE/DOWNCON MODE の設定を同時に切り替え	
B22 UD LT-BOX	ダウンコンバート時の画角をレターボックスに、アップコンバート時の画角を垂直方向に対して上下部カット状態に切り替えます。
B23 UD S-CROP	ダウンコンバート時の画角をサイドカットモードに、アップコンバート時の画角をサイドパネルモードに切り替えます。
B24 UD SQUEEZE	ダウンコンバート時の画角をスクイーズモードに、アップコンバート時の画角をストレッチモードに切り替えます。

OUT 専用メニューリスト

No. SUPER DISPLAY	設定内容
C00 EJECT	EJECT ステータス
C01 STBY ON	STANDBY ON ステータス
C02 CUE	CUE-UP完了ステータス
C03 STILL	STILL ステータス
C04 PANEL STOP	フロントパネルのSTOP ボタン押し下げステータス
C05 PRE CTL	ノーマル記録時、上書き禁止かどうかのステータス
C06 422 REM ON	9 pin 端子の機能ステータス
C07 REMOTE	50 pin 端子の機能ステータス
C08 REC INH1	記録禁止ステータス 1
C09 REC INH2	記録禁止ステータス 2
C10 CAS INH1	テープの記録禁止ステータス 1
C11 CAS INH2	テープの記録禁止ステータス 2
C12 TC SRC 1	TC 入カステータス 1
C13 TC SRC 2	TC 入カステータス 2
C14 DC1	ダウンコンステータス 1
C15 DC2	ダウンコンステータス 2

No. SUPER DISPLAY	設定内容
C16 DC3	ダウンコンステータス 3
C17 UC1	アップコンステータス 1
C18 UC2	アップコンステータス 2
C19 UD1	アップコン/ダウンコンステータス 1
C20 UD2	アップコン/ダウンコンステータス 2
C21 UD3	アップコン/ダウンコンステータス 3
C22 ERRO	エラーステータス 0
C23 ERR1	エラーステータス 1
C24 ERR2	エラーステータス 2
C25 STOP CODE	ストップコード検出による停止ステータス
C26 CH GREEN	チャンネルコンディション GREEN LED
C27 CH AMBER	チャンネルコンディション AMBER LED
C28 CH RED	チャンネルコンディション RED LED
C29 SERVO LOCK	サーボロック LED
C30 V UNITY	VIDEO UNITY LED
C31 A UNITY	AUDIO UNITY LED

ファンクションメニュー

<50P IN/OUT ASSIGN>

OUT 専用メニューリスト中の複数ピンによるステータス状態を示します。ただし、端子状態の「1」は Active_L、0は OPEN を示します。

エラーステータス

C22 ERRO	C23 ERR1	C24 ERR2	エラー状態
0	0	0	SERVO NOT LOCKED (優先順位 1)
0	0	1	SERVO LOCKED (優先順位 4)
0	1	0	HIGH ERROR (アンバー) (優先順位 3)
0	1	1	HIGH ERROR (赤) (優先順位 2)

TC 入力ステータス

C12 TC SRC1	C13 TC SRC2	TC 入力ステータス
0	0	外部 SLTC
0	1	外部 LTC
1	0	外部 SVITC (SD 入力時は外部 VITC)
1	1	INT

テープの記録禁止ステータス

C10 CAS INH1	C11 CAS INH2	テープの記録禁止ステータス
0	0	カセット記録許可
0	1	カセット誤消去防止

記録禁止ステータス

C08 REC INH1	C09 REC INH2	記録禁止ステータス
0	0	ノーマル記録時の上書き禁止
0	1	カセットへの全面記録禁止
1	0	上記 2 つ以外の記録禁止モード
1	1	カセットへの記録可能

ダウンコンバートステータス

C14 DC1	C15 DC2	C16 DC3	ダウンコンバートステータス
0	0	0	スクウィーズモード
0	1	0	サイドカットモード
1	0	0	レターボックスモード
1	1	0	14:9
1	1	1	13:9

アップコンバートステータス

C17 UC1	C18 UC2	アップコンバートステータス
0	0	ストレッチモード
0	1	サイドパネルモード
1	0	垂直方向の上部と下部のカット

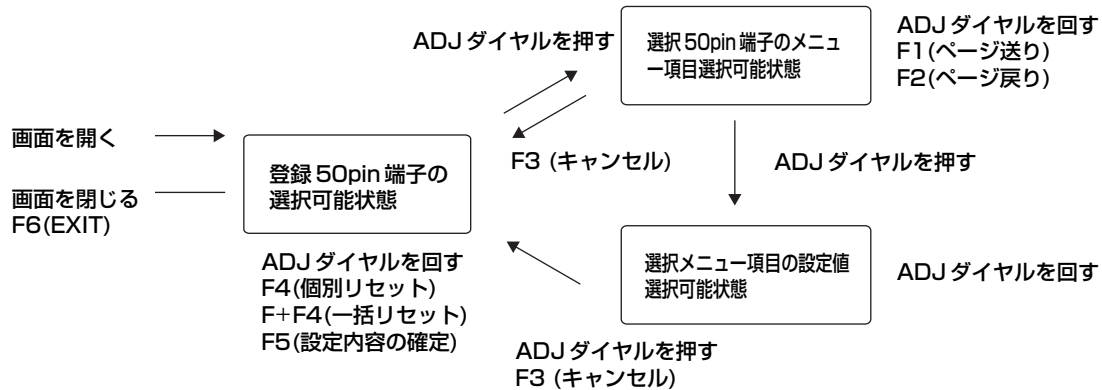
アップコン/ダウンコンステータス

C19 UD1	C20 UD2	C21 UD3	ダウンコンバート ステータス	アップコンバート ステータス
0	0	0	スクウィーズモード	ストレッチモード
0	1	0	サイドカットモード	サイドパネルモード
1	0	0	レターボックスモード	垂直方向の上部と下部の カット
1	1	1	上記の組み合わせ以外	

ファンクションメニュー

<50P IN/OUT ASSIGN>

登録の流れ



50P IN/OUT ASSIGN ファンクションボタン

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ↑ PREV	Push	———	———	オンスクリーンメニューのページ送り
F2 ↓ NEXT	Push	———	———	オンスクリーンメニューのページ戻り
F3 CANCEL	Push	———	———	メニュー項目選択状態の解除
F4 RESET	Push	———	———	個別リセット:選択マークで選択されている端子に対する選択内容をクリアします。
	F+Push	———	———	一括リセット:全ての端子に対する登録内容を工場出荷設定にし、50ピン登録ファイルに設定します。
F5 SET	Push	———	———	ファイル登録：すべてのファンクションボタンの設定を50ピン登録ファイルに保存します。
F6 EXIT	Push	———	———	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT)	———	———	———	———

<50P IN/OUT ASSIGN>

50ピン アサインの工場出荷設定

PIN 番号	I/O	設定項目
1	I	REC
2	I	PLAY
3	I	FF
4	I	REW
5	I	STOP
6	I	——
7	I	——
8	I	422 REMOTE ON
9	I	422 REMOTE OFF
10	I	LOCAL ENABLE
11	I	EJECT
12	I	IN SET
13	I	REC INH ALL
14	I	REC INH PRE
15	I	LOCAL DISABLE
16	I	TC EXT
17	I	TC INT&TCG MODE AUTO
18	I	——
19	I	——
20	I	STNDBY ON/OFF
21	O	ERRO STATUS
22	I	DET STOP ON
23	I	CUE
24	O	ERR1 STATUS
25	I	DET STOP OFF
26	電源	
27	O	REC STATUS
28	O	PLAY STATUS
29	O	FF STATUS
30	O	REW STATUS
31	O	STOP STATUS
32	O	422 REMOTE STATUS
33	O	EJECT STATUS
34	O	ERR2 STATUS
35	O	TC SRC1 STATUS
36	O	TC SRC2 STATUS
37	O	——
38	O	——
39	O	REC INH1 STATUS
40	O	REC INH2 STATUS

PIN 番号	I/O	設定項目
41	O	CUE STATUS
42	O	REMOTE STATUS
43	O	DET STOP STATUS
44	O	PRE CTL DETECTED STATUS
45	O	LOCAL ENABLE STATUS
46	O	STANDBY ON STATUS
47	GND	
48	O	——
49	GND	
50	GND	

——は制御/ステータス対象が無いことを示します。

<ノート>

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOWエッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax. 6mAで出力されます。

システムメニュー

No./項目	設定内容
00 WFM SEL	<p>VIDEO OUT 2出力端子から各種信号を出力することができます。</p> <p>0000 CTL : CTL信号を出力します。 0001 TC : TIME CODE信号を出力します。 0002 VIDEO : VIDEO OUT信号を出力します。 0003 RF_L : PB L RF信号を出力します。 0004 RF_R : PB R RF信号を出力します。 0005 ENV_L : PB L ENV信号を出力します。 0006 ENV_R : PB R ENV信号を出力します。</p> <p><ノート> ●システムメニューNo.30(MENU LOCK)の設定に影響されず、常に設定を変更することができます。 ●通常再生時における各出力信号は、ほぼ下記のレベルになります。 CTL : 0.1~0.3Vp-p TC : 0.6Vp-p VIDEO : 1.0Vp-p</p>
05 ENCODER SEL	<p>ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかを設定します。</p> <p>0000 REMOTE : 外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 0001 LOCAL : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。 0002 BOTH : 本機及び外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。</p>
06 V LEVEL CTRL	<p>外部のエンコーダリモートコントローラからビデオ出力レベルを調整する場合、制御する対象を選択します。</p> <p>0000 HD : HD のビデオ出力レベルが調整できます。 0001 SD : SD のビデオ出力レベルが調整できます。 0002 BOTH : HD/SD 共に、ビデオ出力レベルが調整できます。</p>

ビデオ出力信号の各調整について
各調整の制御マトリクスを下表に示します。

セットアップメニューNo.650(STYLE)でCMPNTを選択した場合

設定		調整項目	
05: ENCODER SEL	06: V LEVEL CTRL	653: Y LVL (HD) 654: Pb LVL (HD) 655: Pr LVL (HD) 656: BK LVL (HD)	658: Y LVL (SD) 659: Pb LVL (SD) 660: Pr LVL (SD) 661: BK LVL (SD)
REMOTE	HD	外部エンコーダ リモート	調整不可
	SD	調整不可	外部エンコーダ リモート
	BOTH	外部エンコーダ リモート	外部エンコーダ リモート
LOCAL	HD	本機	本機
	SD		
	BOTH		
BOTH	HD	外部エンコーダ リモート/本機	本機
	SD	本機	外部エンコーダ リモート/本機
	BOTH	外部エンコーダ リモート/本機	外部エンコーダ リモート/本機

外部エンコーダリモート :

外部エンコーダリモートのみの調整となります。

本機 :

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機 :

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

外部のエンコーダリモートコントローラは、AJ-ER50(別売品)をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」および「SYNC PHASE」は動作しません。

セットアップメニューNo.650(STYLE)でCMPSTを選択した場合

設定		調整項目	
05: ENCODER SEL	06: V LEVEL CTRL	662: V LEVEL 663: C LEVEL 664: HUE 665: SETUP LVL	
REMOTE	HD	外部エンコーダ リモート	
	SD		
	BOTH		
LOCAL	HD	本機	
	SD		
	BOTH		
BOTH	HD	外部エンコーダ リモート/本機	
	SD		
	BOTH		

外部エンコーダリモート :

外部エンコーダリモートのみの調整となります。

本機 :

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機 :

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

外部のエンコーダリモートコントローラは、MT-200(MUSASHI 製/推奨品)をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」、「SYNC PHASE」、「SC PHASE」は動作しません。

_____ は、工場出荷モードです。

システムメニュー

No./項目	設定内容
12 SYS H (HD)*UP	HD SDI出力のシステム位相の調整を行います。 [SHIFT]ボタンを押すとサブメニュー画面に移り、サブメニュー画面から戻るには、再度[SHIFT]ボタンを押します。
サブメニュー画面	
00 COARSE	HD SDI出力のシステム位相調整：1Hステップ -：進む、+：遅れる 0000 -5H <ノート> ： 工場出荷時設定操作を行って 0005 0H も、設定値は変化しません。 ： 0010 5H
01 FINE	HD SDI出力のシステム位相調整： 13.5nsステップ -：進む、+：遅れる <59/60Hz> <23/24Hz> <50Hz, 25Hz(HD,SD)> 0000 -1100 0000 -1375 0000 -1320 ： 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化 1100 0 1375 0 1320 0 しません。 ： 2200 1100 2700 1375 2640 1320 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化 しません。
14 SYS SC (SD)*DW	システム位相調整： 可変範囲±180°以上 -：進む、+：遅れる <59/60Hz, 23/24Hz> <50Hz, 25Hz(HD, SD)> 0000 -108 0000 -115 ： 0108 0 0115 0 ： 0216 108 0230 115 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化 しません。

No./項目	設定内容
15 VO SYS H (SD)*DW	VIDEO OUTのシステム位相の調整を行います。 [SHIFT]ボタンを押すとサブメニュー画面に移り、サブメニュー画面から戻るには、再度[SHIFT]ボタンを押します。
サブメニュー画面	
00 COARSE	VIDEO OUTのシステム位相調整：1Hステップ -：進む、+：遅れる 0000 -5H <ノート> ： 工場出荷時設定操作を行って 0005 0H も、設定値は変化しません。 ： 0010 5H
01 FINE	VIDEO OUTのシステム位相調整： 37nsステップ -：進む、+：遅れる <59/60Hz, 23/24Hz> <50Hz, 25Hz(HD, SD)> 0000 -858 0000 -864 ： 0858 0 0864 0 ： 1716 858 1728 864 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化 しません。
16 SD SYS H (SD)*DW	SD SDIのシステム位相の調整を行います。 [SHIFT]ボタンを押すとサブメニュー画面に移り、サブメニュー画面から戻るには、再度[SHIFT]ボタンを押します。
サブメニュー画面	
00 COARSE	SD SDIのシステム位相調整：1Hステップ -：進む、+：遅れる 0000 -5H <ノート> ： 工場出荷時設定操作を行って 0005 0H も、設定値は変化しません。 ： 0010 5H
01 FINE	SD SDIのシステム位相調整： 480i出力時37nsステップ 480p出力時54nsステップ -：進む、+：遅れる <59/60Hz, 23/24Hz> <50Hz, 25Hz(HD, SD)> 0000 -858 0000 -864 ： 0858 0 0864 0 ： 1716 858 1728 864 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化 しません。

_____ は、工場出荷モードです。

*UPはHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

システムメニュー

No./項目	設定内容
18 SCH (SD)*DW	SCH位相の調整を行います。 [SHIFT] ボタンを押すとサブメニュー画面に移り、サブメニュー画面から戻るには、再度[SHIFT] ボタンを押します。
サブメニュー画面	
00 COARSE	SCH位相調整：90° ステップ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) 0000 0 0001: 90 0002: 180 0003: 270
01 FINE	SCH位相調整：可変範囲±45° 以上 -：進む、+：遅れる (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) 0000 -32 ： 0032 0 ： 0064 32
20 AV PHASE	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。：20.8 μsステップ -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。 0000 -100 ： 0100 0 ： 0200 100
25 SYSTEM FREQ*	システム周波数の選択を行います。 0：59.94Hzまたは60Hzのシステム周波数を選択します。 1：50Hzのシステム周波数を選択します。 2：23.98Hzまたは24Hzのシステム周波数を選択します。 3：25Hzのシステム周波数を選択します。 ただし、SD SDIおよびVIDEO出力はHD SDI出力に対して約1フィールド遅延します。 4：25Hzのシステム周波数を選択します。 ただし、HD SDI出力はミュートされます。 0000 59/60 0001 50 0002 23/24 0003 25(HD) 0004 25(SD) 59/60Hzモード：0(59/60)を選択している状態 50Hzモード：1(50)を選択している状態 23/24Hzモード：2(23/24)を選択している状態 25Hz(HD)モード：3(25(HD))を選択している状態 25Hz(SD)モード：4(25(SD))を選択している状態 <ノート> ●工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 ●システム周波数の切り替えに手順については、107ページを参照してください。

No./項目	設定内容
26 HD SYS H ADV	HD出力をSD出力に対して90H、位相を進ませる出力を選択します。 0000 0H： HD/SD出力とも、HD/SD REF出力と同位相で出力します。 0001 90H： HD出力はSD出力より90H進んだ位相で出力します。 なお、SD REF入力時はREF入力とSD出力が同位相になり、HD REF入力時はREF入力とHD出力が同位相になります。 <ノート> ●オーディオ出力およびTC出力は、HD出力と同位相で出力します。 ●720p時は、120Hの位相差となります。
30 MENU LOCK	システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。 0000 OFF：ロック解除(変更可能) 0001 ON：ロック設定(変更禁止) <ノート> 「ON」を選択してもICカードからシステムファイルをLOADに設定したときは上書きされます。

*システムの切り替えについて

- システムメニューおよびセットアップメニュー項目の中で、それぞれの動作モード [59/60Hz、50Hz、23/24Hz、25Hz(HD、SD)] で設定値の内容が異なる項目に対しては、別々に保存されます。
(システムメニューおよびセットアップメニュー一覧で、動作モードごとに設定値の説明がなされているものが対象です。)
- 詳しくは、108ページの「システム周波数の切り替えに伴うメニュー管理」をご覧ください。
- 23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択した場合、本機は再生専用機となりますので、EEや記録、編集に関する機能は全て禁止状態となります。また、CTLを選択することはできません。
(関連メニューおよびファンクションボタンは非表示となり、操作が禁止されます。)
STOP→PLAY等テープ走行が1倍速になる瞬間のみ、REF入力とテープの同期をとるため、数フレーム間映像が乱れ、音声ミュートとなります。

_____ は、工場出荷モードです。

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

セットアップメニュー

<BASIC>

No./項目	設定内容
000 P-ROLL TIME	<p>プリロール時間を設定します。 0秒～30秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s : : 0005 5s : : 0030 30s</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT] 時は、プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。 ●セットアップメニューNo.004(SYNCHRONIZE)の設定で、2台のデッキ間で調相して編集する場合は、プリロール時間を2秒以上に設定してください。
001 LOCAL ENA	<p>「REMOTE」状態のとき、フロントパネルで操作可能な走行系のボタンを選択します。</p> <p>0000 DIS : すべて不可 0001 ST&EJ : STOP、EJECTボタンのみ可能 0002 ENA : RECORDER、PLAYERボタン以外すべて可能</p> <p><ノート></p> <p>以下のボタン、ダイヤルはこの設定に関わらず常に動作します。 オーディオ出力レベルの調整ダイヤル、オーディオチャンネル切替ボタン、数字キー、ファンクションボタン、ダイレクトメニューボタン、ASSEMボタン、INSERTボタン、ADJダイヤル、ヘッドホン音量調整ダイヤル、MONITOR SELECTボタン、METER(FULL/FINE)切替スイッチ、REMOTEボタン</p>
002*1 TAPE TIMER	<p>CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。</p> <p>0000 ±12h : 12時間表示 0001 24h : 24時間表示</p>
003 REMAIN SEL	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3端子のスーパー表示にREMAIN(テープ残量時間)を表示するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 表示しません。 0001 2L : 2行目にテープ残量時間を表示します。 0002 1L : 1行目にテープ残量時間を表示します。 0003 R/TTL : 1行目にテープ残量時間を表示し、2行目にテープ総量を表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「1(2L)」選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)が「O(TIME)」に設定されている場合は表示しません。 ●「3(R/TTL)」選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)が「O(TIME)」に設定されている場合は表示しません。
004*1 SYNCHRONIZE	<p>2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。</p> <p>0000 OFF : 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編集に素早く入れます。 0001 ON : 調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。</p>

No./項目	設定内容
005 SUPER	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3端子にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 表示しません。 0001 ON : 表示します。</p>
006 DISPLAY SEL	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示内容を選択します。</p> <p>0000 TIME : 時間のみを表示します。 0001 T&STA : 時間および動作モードを表示します。 0002 T&S&M : 時間、動作モードおよびモードを表示します。 0003 T&RT : 時間およびREC TIMEを表示します。 0004 T&YMD : 時間およびREC DATE(年月日)を表示します。 0005 T&MDY : 時間およびREC DATE(月日年)を表示します。 0006 T&DMY : 時間およびREC DATE(日月年)を表示します。 0007 T&UB : データおよびユーザーズビットを表示します。ただし、HOMEメニューの [F3] (TC/CTL)でUBを選択している時は、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示されます。 0008 T&CTL : データおよびCTLを表示します。ただし、HOMEメニューの [F3] (TC/CTL)でCTLを選択している時は、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 0009 T&T : データおよびタイムコードを表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●モード表示は、各フォーマットに従って以下のように表示します。 <フォーマット> <表示> DVCPRO HD-LP → DVCPRO_HD-LP DVCPRO HD → DVCPRO_HD DVCPRO50 → DVCPRO_50 DVCPRO → DVCPRO DV → DV DVCAM → DVCAM ●2(T&S&M)設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示します。 ●REC TIMEおよびREC DATEはDV/DVCAMフォーマット再生時のみ表示します。DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROフォーマット時は動作モードを表示します。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<BASIC> (つづき)

No./項目	設定内容
007 CHARA H-POS	HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/ VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー 表示の水平方向文字位置を設定します。 0000 0 : : 0006 6 : : 0037 37 <ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、 DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT3端子へ出 力します。ただし、MENUを抜けた場合は、 SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で VIDEO OUT3端子へ出力します。
008 CHARA V-POS	HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/ VIDEO OUT3端子のタイムコード等のスーパー 表示の垂直方向文字位置を設定します。 0000 0 : : 0023 23 : : 0032 32 <ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、 DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT3端子へ出 力します。ただし、MENUを抜けた場合は、 SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で VIDEO OUT3端子へ出力します。
009 CHARA TYPE	HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/ VIDEO OUT3端子のスーパーおよび、SETUP- MENU等の表示タイプを選択します。 0000 WHITE : 白文字で、背景は黒 0001 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり
010*1 MONI CONTROL	デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダ側だ けに接続されている場合、レコーダ側の PLAYERボタンを押すことにより、強制的にレ コーダをEEモードにし、プレーヤの再生信号を モニタに出力するかどうかを設定します。 0000 MANU : 強制的にEEモードにはなりません。 0001 AUTO : 強制的にEEモードになり、プレーヤの再生信 号が出力されます。

No./項目	設定内容
011 CU-ROLL TIME	MULTI CUEモードにおける、プリロール時間 を設定します。 0~15秒の間で1秒単位で設定できます。 0000 0s : : : 0005 5s : : : 0015 15s :
012*1 REC ADJUST	ストップコード記録基準点の何秒前からストッ プコードを記録するかを選択します。 0~5秒の間で1秒単位で設定できます。 0000 0s : : : 0003 3s : : : 0005 5s : <ノート> ファンクションメニューの<STOP CODE> (72 ページ)を参照してください。
013*1 DET STOP	ストップコード検出時の動作を設定します。 0000 OFF : PLAY動作を継続します。 0001 ON : 強制STOPします。
014*1 DET ADJUST	ストップコードを検出した場合、テープ走行を停 止する位置を通常の停止位置からストップコード 記録基準点に近づく方向に-8フレーム~3秒10 フレームの範囲でフレーム単位で調整します。 0000 -8f : : 0008 0f : : 0108 3s10f
015 AUTO STEP	エラーログ機能において、ワーニングメッセー ジは最大99個まで保存できますが、この容量を 越えた場合の保存処理を選択します。 0000 OFF : 99個を上限とし、以降に発生したワーニング メッセージは保存されません。 0001 ON : 99個を保存し、以降に発生したワーニングメ ッセージは99番目に保存されます。既に保存 されているワーニングメッセージは下位番号 方向に順次シフトされます。
020*2 SYS FORMAT	本機の記録フォーマットを選択します。 0000 1080i : 1080iを選択します。 0001 720p : 720pを選択します。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzま
たは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表
示されません。

*2 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hz、
25Hz (HD、SD) または50Hzモードを選択している時、この
項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<BASIC> (つづき)

No./項目	設定内容
022 PB FORMAT	<p>テープ再生時のフォーマットを選択します。</p> <p>0000 MANU : セットアップメニューNo.023(FORMAT SEL)の設定に従います。</p> <p>0001 AUTO : テープに記録されているフォーマットに従います。</p>
023 FORMAT SEL	<p>セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)が「MANUAL」に設定されている場合のフォーマットを選択します。</p> <p>また、「AUTO」に設定されている場合は再生開始のフォーマットとなり、再生されるとフォーマットを自動検出して再生テープのフォーマットに合わせます。</p> <p>0000 HD-LP : DVCPRO HD-LPフォーマットを選択し、セットアップメニューNo.020(SYS FORMAT)の設定に従います。</p> <p>0001 HD-SP : DVCPRO HDフォーマットを選択し、セットアップメニューNo.020(SYS FORMAT)の設定に従います。</p> <p>0002 50M : DVCPRO50(422)フォーマットを選択します。</p> <p>0003 25M : DVCPRO(411)フォーマットを選択します。</p> <p>0004 50Mp : DVCPROP(420p)フォーマットを選択します。</p> <p>0005 DV : DVフォーマットを選択します。</p> <p>0006 DVCAM : DVCAMフォーマットを選択します。</p>
030*3 HD FREQUENCY	<p>0000 59/23 : 59.94/23.98Hzになります。</p> <p>0001 60/24 : 60/24Hzになります。</p> <p>ただし、ここで設定したFLD周波数は、OUT_REF設定に対応した入力がないときのみ使用されます。</p> <p>対応する入力がある場合は、FLD周波数は入力のFLD周波数と一致します。</p>
031*4 OUT REF	<p>ビデオ出力のリファレンス</p> <p>0000 AUTO : HD_REF入力があるときは、その信号がリファレンスになります。</p> <p>HD_REF入力がなくSD_REF入力があるときは、そのSD_REF信号がリファレンスになります。</p> <p>HD_REF、SD_REF入力が無いときは、HDシリアル信号がリファレンスになります。</p> <p>HD_REFもSD_REFもHDシリアル入力信号も無いときは、内部同期信号がリファレンスになります。</p> <p>0001 INPUT : シリアル入力信号があるときは、その信号がリファレンスになります。</p> <p>0002 HD_REF : HD_REF IN端子に入力された信号がリファレンスになります。</p> <p>0003 SD_REF : SD_REF IN端子に入力された信号がリファレンスになります。</p> <p><ノート> システムメニュー項目25(SYSTEM FREQ)で25Hz(HD)モードを選択している場合、1(INPUT)を選択すると0(AUTO)が選択されているものとみなします。</p>

テープ再生時のフォーマットについて

022: PB FORMAT	020: SYS FORMAT	023: FORMAT SEL	再生フォーマット
MANUAL	1080i	HD_LP	DVCPRO HD-LP(1080i)
		HD_SP	DVCPRO HD(1080i)
		50M	DVCPRO50(422)
		25M	DVCPRO(411)
		50Mp	DVCPROP(420p)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
		720p	HD_LP
	HD_SP		DVCPRO HD(720p)
	50M		DVCPRO50(422)
	25M		DVCPRO(411)
	50Mp		DVCPROP(420p)
	DV		DV
	AUTO	---	---

<ノート>

- EJECT時はセットアップメニューNo.020(SYS FORMAT)により選択されたフォーマットとなります。
 - セットアップメニューNo.022(PB FORMAT)が「AUTO」に設定されている場合、フォーマット未検出時(テープ挿入時)のフォーマットはセットアップメニューNo.023(FORMAT SEL)に従います。
- ただし、「DV」「DVCAM」が選択されている場合は、「HD-LP」が選択されているものとして動作します。

*3 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で50Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*4 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<OPERATION>

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0000 DIAL : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 0001 KEY : SHTL, JOG, VARボタンのいずれかを押さないとサーチモードに移行しません。
101 SHTL MAX	シャトル動作の最大速度を設定します。 0000 ×9.8 : ×9.8倍速 0001 ×16 : ×16倍速 0002 ×32 : ×32倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスパー表示と少し異なります。
102 FF. REW MAX	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0000 ×16 : ×16倍速 0001 ×32 : ×32倍速 0002 ×50 : ×50倍速 0003 ×60 : ×60倍速 0004 ×100 : ×100倍速 <ノート> DVCPRO HD/DVCPRO50は最大50倍速、DV/DVCAMは最大32倍速に自動的にリミットされます。
104 REF ALARM	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0000 OFF : 表示しません。 0001 ON : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105*1 AUTO EE SEL	セットアップメニューNo.140(OUTPUT)が0000(EE)のとき、EE状態になるVTRのモードを選択します。 0000 S/F/R : STOP、FF、REWのときに、EE状態になります。 0001 STOP : STOPのときのみ、EE状態になります。

No./項目	設定内容
106 EJECT EE SEL	EJECT時における、映像および音声の出力状態を選択します。 0000 EE : セットアップメニューNo.140(OUTPUT)の設定に関係なく常にEE状態になります。 0001 BLACK : セットアップメニューNo.140(OUTPUT)の設定によりEE時 : EE状態になります。 TAPE時 : 映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。 0002 GRAY : セットアップメニューNo.140(OUTPUT)の設定によりEE時 : EE状態になります。 TAPE時 : 映像はGRAY状態になります。 音声は、ミュート状態になります。 <ノート> システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している場合、0(EE)を選択すると、1(BLACK)が選択されているものとみなします。
107*1 EE MODE SEL	EEモード時の出力信号を選択します。 0000 NORMAL : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 0001 THRU : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 <ノート> 編集モード選択時、ビデオの入力信号選択においてSDTIを選択した時、内部動作は強制的に「NORMAL」になります。
108 PLAY DELAY	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。 0000 0 : : 0015 15
109*1 CAP. LOCK	再生フレーミングのロックを4フィールド単位で行うか、2フィールド単位で行うかを選択します。 <59/60Hz> <50Hz> 0000 2F 0000 2F 0001 4F 0001 4F 0002 8F
110 AUTO REW	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0000 OFF : テープ終端で停止します。 0001 ON : テープ始端まで巻き戻します。
111*1 MEMORY STOP	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0000 OFF : VTRは停止しません。 0001 ON : VTRは自動的に停止します。 <ノート> ●停止モードは、セットアップメニューNo.307(AFTER CUE-UP)の設定により停止または静止画(SHTL STILL, VAR STILL)モードとなります。 ●AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

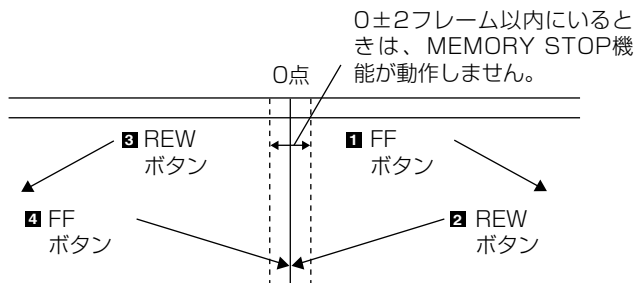
_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<OPERATION> (つづき)

No./項目	設定内容
112 FRZ MODE SEL	再生画像からのSTAND BY OFFモードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。 0000 DIS : 映像出力をミュートします。 0001 STB OFF : スタンバイOFFモード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 0002 SOF&EJ : スタンバイOFFモードおよびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。 <ノート> ●フリーズ時の状態は、セットアップメニューNo.604(FREEZE SEL)の設定に従います。 ●EJECTモードはセットアップメニューNo.106(EJECT EE SEL)が1(BLACK)、2(GRAY)の設定時のみフリーズ画を出力します。 ●EJECTモードへ遷移した時、HDシリアル出力の出力フォーマットに変化が生じた場合は強制的にフリーズは解除されます。

MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は、動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合は、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は、動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合は、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

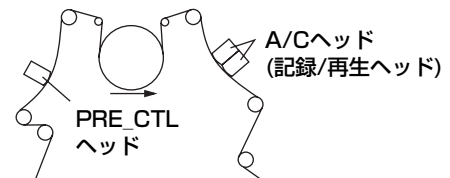
_____ は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
113*1 REC INH	カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。 0000 OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能状態の時にカセットテープへの記録が可能です。 0001 ALL : カセットテープへの記録をすべて禁止します。 0002 PRE : 通常記録時において上書きを禁止します。 誤消去防止機能として動作します。CTLを検出中は記録が禁止され、検出できない時は記録を実行します。 0003 NORM : 通常記録を禁止します。 編集以外の通常記録を使いたくないときに設定します。 0004 V/CTL : 映像、CTL信号の記録を禁止します。 オーディオ以外の編集をしたくないときに設定します。 <ノート> PRE・NORM・V/CTL設定の場合、REC INHIBIT ランプは点滅します。 (約0.5秒/点滅周期)
114 REC INH LAMP	カセットが誤消去防止状態になっているときに、REC INHIBITランプを点滅または点灯させるかを選択します。 0000 LIGHT : ランプが点灯します。 0001 FLASH : ランプが点滅します。 <ノート> セットアップメニューNo.113(REC INH)が1(ALL)に設定されている場合は、本設定に関係なくREC INHIBIT LAMPは常時点灯します。
115*1 EJECT SW INH	フロントパネルのEJECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 REC : 記録モード中は禁止されます。 0001 OFF : すべてのモードにおいて、操作が可能になります。
116 EJECT LAMP	カセットアウト状態でEJECTランプを点灯させたまとするか、消灯させるかを選択します。 0000 MODE1 : EJECTランプは点灯したままとなります。 0001 MODE2 : EJECTランプは消灯します。

誤消去防止機能について

テープ上に既に記録されている部分に対して再記録を禁止する機能です。

CTL信号の記録/再生ヘッド(下図)のように配置し、CTL信号の有無により記録の判断を行い、記録済みのテープの誤消去を防止します。記録済みテープでREC/PLAYボタンを押すと、テープ走行はしますが、RECボタンは点滅し、アラーム音を鳴らし、記録はされません。



CTLヘッド配置図(概略)

セットアップメニュー

<OPERATION> (つづき)

No./項目	設定内容
118*1 SP MODE INH	DVCPRO HD-LP以外のフォーマットで書かれたテープに対して、記録の禁止/許可を選択します。 0000 OFF : カセットテープへの記録が可能です。 0001 ON : カセットテープへの記録を禁止します。 <ノート> ●O(OFF)を選択した場合、カセットテープへの記録の禁止/許可状態はセットアップメニューNo.113(REC INH)に従います。 ●記録フォーマットはセットアップメニュー020(SYS FORMAT)に従います。
119*1 CONFI REC	ノーマル記録中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0000 OFF : <HOME>メニューのF1キー [OUTPUT] の設定により、ノーマル記録中の同時再生動作が切り替わります。 EE : EE 出力 TAPE : 同時再生出力 0001 ON : <HOME>メニューのF1キー [OUTPUT] の設定にかかわらず、ノーマル記録中は常に同時再生になります。
131 PAGE MODE	マルチキュー機能ON設定時、キュー点の動作を選択します。 0000 MANU : 選択されたページ内での動作となり、6ポイントのキュー点が登録できます。 0001 AUTO : キュー点登録中ページが一杯になったときは、自動的に次ページへ移り、登録を続けます。最大10ページまで、合計60ポイントのキュー点が登録できます。
132 ROTA MODE	マルチキュー機能ON設定時、すべてのキュー点がすでに登録されている場合の登録動作を選択します。 0000 OFF : 登録動作は行いません。 0001 ON : 登録動作を続けます。セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)がMANUに設定されている場合は、そのページ内のCUE*1へ、AUTOに設定されている場合は、CUE01へ登録します。
133 KEY BEEP	キータッチ時の音の大きさを設定します。 0000 OFF : 0001 LOW : 0002 HIGH :
134 ALARM BEEP	アラーム音の大きさを設定します。 0000 OFF : 0001 LOW : 0002 HIGH : <ノート> ファンモータが停止した場合は、この設定にかかわらずHIGHレベルの音量でアラーム音が鳴ります。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD, SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
135*1 DET BEEP	ストップコード検出音の大きさを設定します。 0000 OFF : 0001 LOW : 0002 HIGH :
140*1 OUTPUT	出力信号を選択します。 0000 EE : <STOP時> セットアップメニューNo.600(VIDEO IN SEL)とNo.713(CH1 IN SEL)~No.724(D IN SEL 78)で選択された入力信号を出力します。 <記録・編集時> セットアップメニューNo.600(VIDEO IN SEL)とNo.713(CH1 IN SEL)~No.724(D IN SEL 78)で選択された入力信号を出力します。 0001 TAPE : <STOP時> テープから再生される信号を出力します。 <記録・編集時> 同時再生信号を出力します。 <ノート> 記録・編集時に出力信号を選択するためには、セットアップメニューNo.302(CONFI EDIT)を設定してください。
141*1 VOLUME	フロントパネルのオーディオボリュームに対して、制御する対象を設定します。 0000 REC : RECボリュームとして動作します。 0001 PB : PBボリュームとして動作します。 0002 AUTO : 通常、PBボリュームとして動作します。ただし、REC時またはEE/INPUT CHECK時には自動的にRECボリュームとして動作します。
142*1 AUDIO UNITY	フロントパネルのAUDIO UNITYランプの点灯方法を選択します。 0000 IN : オーディオ入力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。 0001 OUT : オーディオ出力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。 0002 IN/OUT : オーディオ入力/出力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。
143 CASST LIGHT	メカ部の照明をON/OFFします。 0000 OFF : カセットが挿入されても点灯しません。 0001 ON : カセットが挿入されると点灯します。
144 TC INPUT	タイムコードのプリセット登録方法を切り替えます。 0000 NORMAL : 左端の桁から入力されます。 0001 REV : 上位の桁から入力されますが、右端から表示します。
145 FRONT LCD	フロントパネルの液晶モニター表示をON/OFFします。 0000 OFF : 表示をOFFします。 0001 ON : タイムコード表示部のスクリーンセーバー動作に同期して、表示がON/OFFします。

セットアップメニュー

<INTERFACE>

No./項目	設定内容
200 PARA RUN	2台以上のVTRを同期運転させるかを選択します。 0000 DIS : 同期運転させません。 0001 ENA : 同期運転させます。 <ノート> 同期運転させる場合は、すべてのVTRを1 (ENA) に設定します。(14、19ページ参照)
202 ID SEL	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0000 OTHER 0001 DVCPRO 0002 ORIG <ノート> ●「0(OTHER)」には、DVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 ●「2(ORIG)」はパナソニック製のコントローラー(AJ-A900など、別売品)との接続時のみ設定してください。 ●システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz モードを選択している場合、1 (DVCPRO) または2 (ORIG) を設定してください。
204 RS232C SEL	RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
205 BAUD RATE	RS-232Cの通信速度(ボーレート)を設定します。 0000 300 0001 600 0002 1200 0003 2400 0004 4800 0005 9600
206 DATA LENGTH	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位: BIT) 0000 7 0001 8
207 STOP BIT	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位: BIT) 0000 1 0001 2
208 PARITY	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0000 NON : パリティビットを使用しません。 0001 ODD : パリティビットを奇数パリティで使用します。 0002 EVEN : パリティビットを偶数パリティで使用します。

No./項目	設定内容
209 RETURN ACK	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0000 OFF : ACKコードを返信しません。 0001 ON : ACKコードを返信します。
212 MASTER PORT	本機をデッキ対デッキ操作時において、マスター機として使用する場合、スレーブ機を制御するリモートコントロール端子を選択します。 0000 IN/OUT : IN/OUT端子を使用します。 0001 OUT : OUT端子を使用します。 <ノート> 本設定は、9Pボタンが「LOCAL」状態(LEDが消灯)のときのみ有効です。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<EDIT>

No./項目	設定内容
300 IN/OUT DEL	編集点を誤って設定したとき (OUT点がIN点より前にあるとき)の動作を選択します。 0000 MANU : 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 0001 AUTO : あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
301 NEGA FLASH	IN点がOUT点より大きいとき、ネガティブ表示 (タイムコード表示部)するかを選択します。 0000 OFF : ネガティブ表示をしません。 0001 ON : ネガティブ表示をします。
302*1 CONFI EDIT	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0000 OFF : 同時再生を行いません。 0001 ON : 同時再生を行います。 <ノート> <HOME>メニューのF1キー [OUTPUT] が [TAPE] の場合に同時再生が有効になります。 セットアップメニューNo.140も参照してください。
303*1 AUD EDIT IN	デジタルオーディオ編集IN点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理
304*1 AUD EDIT OUT	デジタルオーディオ編集OUT点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理
305 AUTO ENTRY	IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。 0000 DIS : 登録しません。 0001 ENA : 登録します。
306*1 CF ADJ SEL	デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。 0000 PLAYER : プレーヤーのIN/OUT点を補正します。(レコーダー基準) 0001 RECORD : レコーダーのIN/OUT点を補正します。(プレーヤー基準)
307 AFTER CUE-UP	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0000 STOP : STOPモードになります。 0001 STILL : 静止画(SHTL STILL)モードになります。 0002 STILL2 : 静止画(VAR STILL)モードになります。

No./項目	設定内容
308 VAR FWD MAX	VAR FWDの最大速度を設定します。 0000 +4.9 : +4.9倍速 0001 +2 : +2倍速 (DVCPRO HD-LP以外は+1.85倍速) 0002 +1 : +1倍速 <ノート> ● 0(+4.9)以外の設定では編集コントローラからの調相はできません。 ● 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
309 VAR REV MAX	VAR REVの最大速度を設定します。 0000 -4.9 : -4.9倍速 0001 -2 : -2倍速 (DVCPRO HD-LP以外は-1.85倍速) 0002 -1 : -1倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
310 JOG FWD MAX	JOG FWDの最大速度を設定します。 0000 +4.9 : +4.9倍速 0001 +2 : +2倍速 (DVCPRO HD-LP以外は+1.85倍速) 0002 +1 : +1倍速 <ノート> 0(+4.9)以外の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相はできません。
311 JOG REV MAX	JOG REVの最大速度を設定します。 0000 -4.9 : -4.9倍速 0001 -2 : -2倍速 (DVCPRO HD-LP以外は-1.85倍速) 0002 -1 : -1倍速
312 POSTROLL TM	ポストロール時間を設定します。 0秒~5秒の間で1秒単位で設定できます。 0000 0s 0001 1s 0002 2s 0003 3s 0004 4s 0005 5s

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<EDIT> (つづき)

No./項目	設定内容
320* ¹ EDIT RPLCE1	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。 VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
321* ¹ EDIT RPLCE2	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH2のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
322* ¹ EDIT RPLCE3	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH3のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

No./項目	設定内容
323* ¹ EDIT RPLCE4	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCH4のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
324* ¹ EDIT RPLCEC	セットアップメニューNo.320と同様に、本機のCUEのエディットプリセットを、エディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

*¹ システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<TAPE PROTECT>

No./項目	設定内容
400 STILL TIMER	<p>STOP、サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態 で放置されたとき、テープ保護モードになる までの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分)</p> <p>0000 0.5s <ノート> 0001 5s DV/DVCAMテープを使用して 0002 10s いる時は2(10s)以上に選択し 0003 20s ても10秒となります。 0004 30s 0005 40s 0006 50s 0007 1min 0008 2min</p>
401 SRC PROTECT	<p>サーチモード(JOG/VAR/SHTL)のSTILLの状態 で放置された時のテープ保護モード時の動作 を選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : ハーフローディング 0002 T-REL : テンションリリース <ノート> ●STEP FWDが選択されている時に、STILLの 状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、 自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング) モードへ移行します。 ●テンションリリースが選択され、テンション リリースモードへ移行後、その状態で放置さ れた合計時間が2時間になると、自動的にス タンバイOFF(ハーフローディング)モードへ 移行します。ただし、DV/DVCAMテープの 場合は、テンションリリースモードへの移行 は禁止され、STEP FWDが選択されているも のとして動作します。</p>
402 DRUM STDBY	<p>スタンバイOFF(ハーフローディング)モード時の ドラムの動作を選択します。</p> <p>0000 OFF : ドラムの回転は停止します。 0001 ON : ドラムは回転を続けます。</p>

No./項目	設定内容
403 STOP PROTECT	<p>STOP状態で放置されたときのテープ保護モー ドの動作を選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : ハーフローディング 0002 T-REL : テンションリリース <ノート> ●STEP FWDが選択されている時に、STOPの 状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、 自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング) モードへ移行します。 ●テンションリリースが選択され、テンション リリースモードへ移行後、その状態で放置さ れた合計時間が2時間になると、自動的にス タンバイOFF(ハーフローディング)モードへ 移行します。ただし、DV/DVCAMテープの 場合は、テンションリリースモードへの移行 は禁止され、STEP FWDが選択されているも のとして動作します。</p>

<STILL TIMER設定のご注意>

番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での
累計待機時間が長くなります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<TIME CODE>

No./項目	設定内容																		
500*4 VITC BLANK	<p>セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。</p> <p>0000 BLANK : 出力しません。 0001 THRU : 出力します。 <ノート> 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>																		
501*4 VITC POS-1	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td><59/60Hz></td> <td></td> <td><50Hz, 25Hz(SD)></td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td></td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0006 16L</td> <td></td> <td>0004 11L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td></td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p><ノート> ● セットアップメニューNo.502 (VITC POS-2) と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>	<59/60Hz>		<50Hz, 25Hz(SD)>	0000 10L		0000 7L	:	:	:	0006 16L		0004 11L	:	:	:	0010 20L		0015 22L
<59/60Hz>		<50Hz, 25Hz(SD)>																	
0000 10L		0000 7L																	
:	:	:																	
0006 16L		0004 11L																	
:	:	:																	
0010 20L		0015 22L																	
502*4 VITC POS-2	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td><59/60Hz></td> <td></td> <td><50Hz, 25Hz(SD)></td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td></td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0008 18L</td> <td></td> <td>0006 13L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td></td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p><ノート> ● セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>	<59/60Hz>		<50Hz, 25Hz(SD)>	0000 10L		0000 7L	:	:	:	0008 18L		0006 13L	:	:	:	0010 20L		0015 22L
<59/60Hz>		<50Hz, 25Hz(SD)>																	
0000 10L		0000 7L																	
:	:	:																	
0008 18L		0006 13L																	
:	:	:																	
0010 20L		0015 22L																	
503*1 TCG MODE	<p>内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。</p> <p>0000 REGEN タイムコードリーダーがテープから読み込んだタイムコードに同期します。</p> <p>0001 PRE 操作パネルまたはリモートコントローラでプリセットが可能になります。</p> <p>0002 AUTO 動作モードによりREGEN/PREが自動で切り替わります。 編集時 : REGENが選択されます。 上記以外 : PREが選択されます。</p>																		
504*1 RUN MODE	<p>動作モードによる内蔵タイムコードジェネレータの歩進を設定します。</p> <p>0000 REC : 記録中のときに歩進させます。</p> <p>0001 FREE : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。</p>																		

No./項目	設定内容															
505*1 TCG REGEN	<p>TCG(タイムコードジェネレータ)がREGENモードのとき、リジェネする信号を選択します。</p> <p>0000 TC&UB : タイムコード、ユーザービット共にREGENします。</p> <p>0001 TC : タイムコードのみREGENします。</p> <p>0002 UB : ユーザービットのみREGENします。</p>															
506*1 REGEN MODE	<p>セットアップメニューNo.503 (TCG MODE) が「AUTO」に設定されている場合の編集実行において、本機がREGENモードで動作する場合の編集モードの範囲を選択します。</p> <p>0000 AS&IN : アセンブルまたはインサート編集でREGENします。</p> <p>0001 ASSEM : アセンブル編集でREGENします。</p> <p>0002 INSRT : インサート編集でREGENします。</p>															
507*1 TC SOURCE	<p>外部タイムコードを用いるとき、セットアップメニューNo.600 (VIDEO IN SEL) でHD SDI またはSD SDIを選択した場合に使用するタイムコードを選択します。</p> <p>[HD SDIを選択した場合] 0000 INT : 内蔵のタイムコードジェネレータを使用します。</p> <p>0001 EXT L : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。</p> <p>0002 SLTC : HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報を使用します。</p> <p>0003 SVITC : HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報を使用します。</p> <p>[SD SDIを選択した場合] 0000 INT : 内蔵のタイムコードジェネレータを使用します。</p> <p>0001 EXT L : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。</p> <p>0002 VITC : SD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報を使用します。</p> <p><ノート> VIDEO IN SELの入力選択が変化した場合、下記のようにタイムコードが変換されます。</p> <table border="0"> <tr> <td>[HD SDI]</td> <td></td> <td>[SD SDI]</td> </tr> <tr> <td>INT</td> <td>↔</td> <td>INT</td> </tr> <tr> <td>EXT_L</td> <td>↔</td> <td>EXT_L</td> </tr> <tr> <td>SLTC</td> <td>↔</td> <td>EXT_L</td> </tr> <tr> <td>SVITC</td> <td>↔</td> <td>VITC</td> </tr> </table>	[HD SDI]		[SD SDI]	INT	↔	INT	EXT_L	↔	EXT_L	SLTC	↔	EXT_L	SVITC	↔	VITC
[HD SDI]		[SD SDI]														
INT	↔	INT														
EXT_L	↔	EXT_L														
SLTC	↔	EXT_L														
SVITC	↔	VITC														

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*4 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<TIME CODE> (つづき)

No./項目	設定内容
508*1 BINARY GP	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0000 000 : NOT SPECIFIED(キャラクタセットを指定しない) 0001 001 : ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 0002 010 : UNASSIGNED 1(未定義) 0003 011 : UNASSIGNED 2(未定義) 0004 100 : UNASSIGNED 3(未定義) 0005 101 : PAGE/LINE 0006 110 : UNASSIGNED 4(未定義) 0007 111 : UNASSIGNED 5(未定義)
509 PHASE CORR	TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0000 OFF : 位相補正コントロールは行いません。 0001 ON : 位相補正コントロールを行います。
510*1 TCG CF FLAG	TCGのCFフラグをONにするかどうかを選択します。 0000 OFF : CFフラグをOFFにします。 0001 ON : CFフラグをONにします。
511*2 DF MODE	CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0000 DF : ドロップフレームモード 0001 NDF : ノンドロップフレームモード <ノート> DF MODEはLOCALまたはセットアップメニューNo.001(LOCAL ENA)が、「ENA」の時のみ有効です。
512*1 TC OUT REF	セットアップメニューNo.507(TC SOURCE)が「INT」以外の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。(EEモード時のみ) 0000 V OUT : 出力映像に合わせます。 0001 TC IN : 外部タイムコード入力に合わせます。

SBC(Sub Code Data)領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコード、記録日時などのテープ管理情報が格納されます。従来のLTC(Linear Time Code)と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

VAUX(Video Auxiliary Data)領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hz、25Hz(HD、SD)または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

No./項目	設定内容
513 VITC OUT	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0000 SBC : 再生モード時、SBC領域に記録されているタイムコードを出力します。 0001 VAUX : 再生モード時、VAUX領域に記録されているタイムコードを出力します。 <ノート> HDシリアル入力により検出されたVITC情報は映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録します。
514 HD EMBD VITC	HDシリアル出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF : VITCを重畳しません。 0001 ON : VITCを重畳します。
515 HD EMBD LTC	HDシリアル出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF : LTCを重畳しません。 0001 ON : LTCを重畳します。
516*1 TC OUT ADV	TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相合わせ処理を選択します。 通常、TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは出力映像・音声に合わせています。外部機器との接続などで必要な場合に、入力へ位相を合わせるモードを設定することができます。 0000 OFF : 位相合わせ処理を行いません。TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは出力映像・音声に合わせてます。 0001 EDIT : 編集モードが選択された場合の再生、および編集時はTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは入力映像・音声に合わせてます。それ以外のモードは、出力映像・音声に合わせてます。
517*1 TCG OUT	INPUT CHECKでTCG表示とLTC出力をラッチするかどうかを選択します。 0000 MOMENT : INPUT CHECKキーを押している間のみINPUT CHECKモードになります。 0001 LATCH : INPUT CHECKキーを押すとINPUT CHECKモードになり、キーを離してもモードはそのままです。映像出力がEEモード以外になると、選択が解除されます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<VIDEO>

No./項目	設定内容
600*1 VIDEO IN SEL	<p>入力する映像信号を選択します。</p> <p>0000 INT SG : VIDEO INT SGで選択された内蔵信号を発生します。</p> <p>0001 HDSDI : HD SDI IN端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。</p> <p>0002 SDTI : (59/60Hzモード時) SDTI IN端子に入力された圧縮IF信号を選択します。[オプションボード(AJ-YAC150P)が挿入されていない場合は表示されません。]</p> <p>0002 SD SDI : SD SDI IN端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。[オプションボード(AJ-UC1700G)が挿入されていない場合は表示されません。]</p>
601*1 VIDEO INT SG	<p>内蔵信号の種類を選択します。</p> <p>0000 100%CB : 100%カラーバーを選択します。</p> <p>0001 75%CB : 75%カラーバーを選択します。</p> <p>0002 SMPTE : SMPTEカラーバーを選択します。</p> <p>0003 ARIB : ARIBカラーバーを選択します。</p> <p>0004 MB : マルチバーストを選択します。</p> <p>0005 RAMP : ランプを選択します。</p> <p>0006 BLACK : ブラックを選択します。</p> <p>0007 PLL : PLLを選択します。</p> <p>0008 EQ : EQを選択します。</p>
602*1 SDI IN MODE	<p>シリアル入力の処理方法を選択します。</p> <p>0000 DR OFF : 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録します。</p> <p>0001 DR ON : ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号を記録します。</p>
603 V-MUTE SEL	<p>再生中にLOW RFが検出された場合、映像出力信号をミュートするかどうかを選択します。</p> <p>0000 N MUTE : ミュートしません。(フリーズします。)</p> <p>0001 GRAY : グレイでミュート。</p> <p>0002 BLACK : ブラックでミュート</p> <p>0003 NOISE : ノイズでミュート</p>

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*4 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*5 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で25Hz(HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
604*1 FREEZE SEL	<p>静止画面のフリーズ状態およびスロー再生の状態を選択します。</p> <p>0000 FIELD : フィールドフリーズ、フィールドスロー</p> <p>0001 FRAME : フレームフリーズ、フレームスロー</p>
605*1 INTERPOLATE	<p>フィールドスロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。</p> <p>0000 OFF : 強制的にOFFします。</p> <p>0001 AUTO : スロー再生時、自動的にONします。</p>
606 SD MONI O SEL	<p>SD SDIのMONITOR出力の信号を切り替えます。</p> <p>0000 MONI : MONITOR出力</p> <p>0001 SDI : SD SDI OUT1端子と同じ映像信号を出力します。</p> <p><ノート> 「1(SDI)」選択時、タイムコード等のスーパーは表示されません。</p>
619 V_FILTER	<p>ダウンコンバート時に、垂直フィルターで行う映像の処理方法を選択します。</p> <p>0000 FLD : フィールド単位で処理します。</p> <p>0001 FRM : フレーム単位で処理します。</p> <p><ノート> この項目で「FRM」を選択した場合、解像度はよくなりますが、映像にちらつきが目立つことがあります。</p>
620*4 DOWNCON MODE	<p>ダウンコンバート時の画額を選択します。</p> <p>0000 CROP : サイドカットモード</p> <p>0001 LT-BOX : レターボックスモード</p> <p>0002 SQUEEZ : スクウィーズモード</p> <p>0003 14:9 : セミレターボックス14:9</p> <p>0004 13:9 : セミレターボックス13:9</p>
621*5 UPCON MODE	<p>アップコンバート時の画額を選択します。</p> <p>0000 S-PANL : サイドパネルモード</p> <p>0001 CROP : 垂直方向の上部と下部のカット</p> <p>0002 STRETCH : ストレッチモード</p>
622 D/C RESP H	<p>ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i ↔720p)時の水平方向の周波数帯域を選択します。</p> <p>0000 WIDE :</p> <p>0001 STD :</p>
623 D/C RESP V	<p>ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i ↔720p)時の垂直方向の周波数帯域を選択します。</p> <p>0000 WIDE :</p> <p>0001 STD :</p>

セットアップメニュー

<VIDEO> (つづき)

No./項目	設定内容
624* ⁵ U/C RESP H	アップコンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。 0000 STD : 0001 NARROW :
625* ⁵ U/C RESP V	アップコンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。 0000 STD : 0001 NARROW :
626 D/C ENH H	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i ↔ 720p)時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0004 +1.5dB 0001 +0.7dB 0005 +2dB 0002 +1dB <ノート> 0003 +1.2dB スーパー表示の数値は目安です。
627 D/C ENH V	ダウンコンバート時とラインコンバート(1080i ↔ 720p)時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0004 +1.5dB 0001 +0.7dB 0005 +2dB 0002 +1dB <ノート> 0003 +1.2dB スーパー表示の数値は目安です。
628* ⁵ U/C ENH H	アップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0004 +1.5dB 0001 +0.7dB 0005 +2dB 0002 +1dB <ノート> 0003 +1.2dB スーパー表示の数値は目安です。
629* ⁵ U/C ENH V	アップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0004 +1.5dB 0001 +0.7dB 0005 +2dB 0002 +1dB <ノート> 0003 +1.2dB スーパー表示の数値は目安です。

*² システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz (HD、SD) または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

*⁵ システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で25Hz(HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

* セットアップメニューNo.107およびINPUT_CHECKは動作せずに本線系と同等の信号が出ます。

No./項目	設定内容
630* ² 1080i→HD_ OUT	1080iテープ再生時、または1080iのEEモード時のHD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照) 0000 1080i 0001 720p 0002 1080i
631* ² 1080i→SD_ OUT	1080iテープ再生時、または1080iのEEモード時のSD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照) 0000 480i 0001 ----- <ノート> 0002 480p 60Hzモード時は出力しません。
	出力端子
	HD SDI OUT SD SDI OUT VIDEO OUT
0000	1080i (変換なし) 480i (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)
0001	720p (ラインコン出力) 480i (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)
0002	1080i (変換なし) 480p* (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)
632* ² 720p→HD_ OUT	720pテープ再生時、または720pのEEモード時のHD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照) 0000 1080i 0001 720p 0002 720p
633* ² 720p→SD_ OUT	720pテープ再生時、または720pのEEモード時のSD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照) 0000 ----- <ノート> 0001 480i 60Hzモード時は出力しません。 0002 480p
	出力端子
	HD SDI OUT SD SDI OUT VIDEO OUT
0000	1080i (ラインコン出力) 480i (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)
0001	720p (変換なし) 480i (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)
0002	720p (変換なし) 480p* (ダウンコン出力) 480i (ダウンコン出力)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<VIDEO> (つづき)

No./項目	設定内容		
634*2 480p→HD OUT	480pテープ(DVCPR050P)再生時のHD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照)		
	0000	1080i	
	0001	720p	
	0002	-----	
635*2 480p→SD OUT	480pテープ(DVCPR050P)再生時のSD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照)		
	0000	480p	
	0001	480p	
	0002	480i	
	出力端子		
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT
0000	1080i (アップコン出力)	480p* (変換なし)	480i (ダウンコン出力)
0001	720p (アップコン出力)	480p* (変換なし)	480i (ダウンコン出力)
0002	ミュート	480i (ダウンコン出力)	480i (ダウンコン出力)
<ノート> SDテープ再生時に60Hzモードで動作をさせることはできません。			
636*2 480i→HD OUT	480iテープ(DVCPR050/DVCPR0/DV/DVCAM)再生時のHD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照)		
	0000	1080i	
	0001	720p	
	0002	-----	
637*2 480i→SD OUT	480iテープ(DVCPR050/DVCPR0/DV/DVCAM)再生時のSD出力信号フォーマットを選択します。(下表参照)		
	0000	480i	
	0001	480i	
	0002	480p	
	出力端子		
	HD SDI OUT	SD SDI OUT	VIDEO OUT
0000	1080i (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)
0001	720p (アップコン出力)	480i (変換なし)	480i (変換なし)
0002	ミュート	480p* (アップコン出力)	480i (変換なし)
<ノート> SDテープ再生時に60Hzモードで動作をさせることはできません。			

<ノート>

オプションボードAJ-UC1700Gがセットされていない場合は、セットアップメニューNo.638, 639, 640, 641, 642は動作しません。

No./項目	設定内容		
638*1 IN U/C MODE	SD SDI入力時のアップコンバートの画額を選択します。		
	0000	S-PANL	: サイドパネルモード
	0001	CROP	: 垂直方向の上部と下部のカット
	0002	STRETCH	: ストレッチモード
639*1 I U/C RESP H	SD SDI入力のアップコンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。		
	0000	STD	:
	0001	NARROW	:
640*1 I U/C RESP V	SD SDI入力のアップコンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。		
	0000	STD	:
	0001	NARROW	:
641*1 I U/C ENH H	SD SDI入力のアップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。		
	0000	0dB	0004 +1.5dB
	0001	+0.7dB	0005 +2dB
	0002	+1dB	<ノート>
	0003	+1.2dB	スーパー表示の数値は目安です。
642*1 I U/C ENH V	SD SDI入力のアップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。		
	0000	0dB	0004 +1.5dB
	0001	+0.7dB	0005 +2dB
	0002	+1dB	<ノート>
	0003	+1.2dB	スーパー表示の数値は目安です。
650 STYLE	0000 CMPNT : コンポーネントスタイルのレベル調整モード		
	0001 CMPST : コンポジットスタイルのレベル調整モード		
651*3 HUE STYLE (SD)*DW	クロマ位相調整の回転軸を選択します。		
	0000	Pb-Pr	: SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。
	0001	U-V	: アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。
653 Y LVL (HD)*UP	HD SDI 出力のYレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB)		
	0000	0.0%	<ノート>
	:	:	セットアップメニューNo.650
	1000	100.0%	がCMPNTに設定されていると
	:	:	きに有効となります。
	1413	141.3%	

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz (HD、SD) または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません

*3 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で50Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

* セットアップメニューNo.107およびINPUT_CHECKは動作せず本線系と同等の信号が出ます。

*UPはHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<VIDEO> (つづき)

No./項目	設定内容
654 Pb LVL (HD)*UP	HD SDI 出力のPBレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
655 Pr LVL (HD)*UP	HD SDI 出力のPRレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
656 BK LVL (HD)*UP	HD SDI 出力のブラックレベルの調整を行います。 50 -10.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 150 0.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 250 +10.0%
658 Y LVL (SD)*DW	SD SDI 出力およびVIDEO 出力のYレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
659 Pb LVL (SD)*DW	SD SDI 出力およびVIDEO 出力のPBレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
660 Pr LVL (SD)*DW	SD SDI 出力およびVIDEO 出力のPRレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
661 BK LVL (SD)*DW	SD SDI 出力およびVIDEO 出力のブラックレベルの調整を行います。 50 -10.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 150 0.0% がCMPNTに設定されていると : : きに有効となります。 250 +10.0%

No./項目	設定内容
662 V LEVEL	HD SDI、SD SDI、およびVIDEO出力のビデオレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+6 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPSTに設定されていると : : きに有効となります。 2000 200.0%
663 C LEVEL	HD SDI、SD SDI、およびVIDEO出力のクロマレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 1000 100.0% がCMPSTに設定されていると : : きに有効となります。 1413 141.3%
664 HUE	HD SDI、SD SDI、およびVIDEO出力のクロマ位相の調整を行います。(約-30° ~+30°) 0000 -31.0 <ノート> : : セットアップメニューNo.650 0062 0.0 がCMPSTに設定されていると : : きに有効となります。 0124 31.0 <ノート> システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ)で0 (50) または3[25(HD)]または4[25(SD)]を選択している場合 ● HD SDI出力の調整はできません。 ● SD SDIおよびVIDEO出力の調整はSDフォーマットのテープを生成している時のみ可能です。
665 SETUP LVL	HD SDI、SD SDI、およびVIDEO出力のセットアップレベルの調整を行います。 (-10%~+10%) 50 -10.0% <ノート> : : セットアップメニューNo.650 150 0.0% がCMPSTに設定されていると : : きに有効となります。 250 +10.0%
670 BRIGHT	フロントパネル上の液晶モニターの明るさを調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127
671 R-BRIGHT	フロントパネル上の液晶モニターの明るさ(赤)を調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127
672 B-BRIGHT	フロントパネル上の液晶モニターの明るさ(青)を調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127

*UPはHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<VIDEO> (つづき)

No./項目	設定内容
673 CONTRAST	フロントパネル上の液晶モニターのコントラストを調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127
674 R- CONTRAST	フロントパネル上の液晶モニターのコントラスト(赤)を調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127
675 B- CONTRAST	フロントパネル上の液晶モニターのコントラスト(青)を調整します。 0 -127 : : 127 0 : : 254 127
676*3 BLK CLIP	SD SDI OUTおよびコンポジットOUTのY(輝度)信号に対し、ペDESTAL以下の信号をクリップする機能です。 0000 OFF : クリップしません。 0001 ON : クリップします。
680*2 CC (F1) BLANK *DW	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
681*2 CC (F2) BLANK *DW	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
684 EDH (SD)*DW	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
685*2 ESR MODE (SD)*DW	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを選択します。 0000 OFF : 強制的にOFFします。 0001 AUTO : VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
686*2 CCR MODE (SD)*DW	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0000 OFF : そのまま出力します。 0001 ON : クロスカラーを軽減することができます。
687*4 SDI INDEX 0 *DW	VIDEO INDEX信号をSD SDI出力に重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳しません。 0001 ON : VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳します。

No./項目	設定内容
688*2 CC REC	SD入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : テープへ記録しません。 0001 ON : SD入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合にテープへ記録します。この時、クローズドキャプション信号をブランキング後、アップコンパートして記録します。 <ノート> ● 入力信号としてSDTIが選択されている場合は、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたクローズドキャプションデータがそのままテープに記録されます。 ● オプションボードAJ-UC1700Gがセットされていない場合は、セットアップメニューNo.688は動作しません。
695*1 BLANK LINE	SDテープ再生時、ビデオ信号の垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 全ライン強制ブランキングします。 0001 THRU : 全ラインブランキングしません。 0002 MANU : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 <ノート> 「2(MANU)」設定時、[SHIFT]ボタンを押すとサブ画面に移り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度[SHIFT]ボタンを押します。
サブメニュー画面 <59/60Hz>	
01 LINE 11&274 : : : : 12 LINE 22&285	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
サブメニュー画面 <50Hz>	
00 LINE 7&320 : : : : 15 LINE 22&335	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hz、25Hz(HD、SD)または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

*3 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で50Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*4 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

セットアップメニュー

<AUDIO>

No./項目	設定内容
700* ¹	オーディオ入力(CH1)の基準レベルを選択します。
CH1 IN LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
701* ¹	オーディオ入力(CH2)の基準レベルを選択します。
CH2 IN LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
702* ¹	オーディオ入力(CH3)の基準レベルを選択します。
CH3 IN LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
703* ¹	オーディオ入力(CH4)の基準レベルを選択します。
CH4 IN LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
704* ¹	CUE入力の基準レベルを選択します。
CUE IN LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB 0003 -60dB
705	オーディオ出力(CH1)の基準レベルを選択します。
CH1 OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
706	オーディオ出力(CH2)の基準レベルを選択します。
CH2 OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
707	オーディオ出力(CH3)の基準レベルを選択します。
CH3 OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
708	オーディオ出力(CH4)の基準レベルを選択します。
CH4 OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB

No./項目	設定内容
709	CUE出力の基準レベルを選択します。
CUE OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
710	オーディオモニター出力(Lch)の基準レベルを選択します。
MONIL OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
711	オーディオモニター出力(Rch)の基準レベルを選択します。
MONIR OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
712	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLEを選択します。
MONI OUT	0000 UNITY : 既定値にて出力します。 0001 VAR : ヘッドフォンボリュームに連動します。
713* ¹	CH1の入力信号を選択します。
CH1 IN SEL	0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA : アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.721(D IN SEL12)の設定に従います。
714* ¹	CH2の入力信号を選択します。
CH2 IN SEL	0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA : アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.721(D IN SEL12)の設定に従います。
715* ¹	CH3の入力信号を選択します。
CH3 IN SEL	0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA : アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.722(D IN SEL34)の設定に従います。
716* ¹	CH4の入力信号を選択します。
CH4 IN SEL	0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA : アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.722(D IN SEL34)の設定に従います。

*¹ システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<AUDIO> (つづき)

No./項目	設定内容
717* ¹ CH5 IN SEL	CH5の入力信号を選択します。 0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA1 : アナログ入力を選択します。 (CH1入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.723(D IN SEL56)の設定に従います。
718* ¹ CH6 IN SEL	CH6の入力信号を選択します。 0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA2 : アナログ入力を選択します。 (CH2入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.723(D IN SEL56)の設定に従います。
719* ¹ CH7 IN SEL	CH7の入力信号を選択します。 0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA3 : アナログ入力を選択します。 (CH3入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.724(D IN SEL78)の設定に従います。
720* ¹ CH8 IN SEL	CH8の入力信号を選択します。 0000 INT SG : 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI : デジタル入力を選択します。 0002 ANA4 : アナログ入力を選択します。 (CH4入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニューNo.724(D IN SEL78)の設定に従います。
721* ¹ D IN SEL12	CH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU 0001 SDI : シリアル
722* ¹ D IN SEL34	CH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU 0001 SDI : シリアル
723* ¹ D IN SEL56	CH5およびCH6のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU 0001 SDI : シリアル
724* ¹ D IN SEL78	CH7およびCH8のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU 0001 SDI : シリアル

No./項目	設定内容
725* ¹ REC CH1	オーディオのCH1トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH3 : オーディオ入力のCH3 0003 CH4 : オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
726* ¹ REC CH2	オーディオのCH2トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH3 : オーディオ入力のCH3 0003 CH4 : オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
727* ¹ REC CH3	オーディオのCH3トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH3 : オーディオ入力のCH3 0003 CH4 : オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
728* ¹ REC CH4	オーディオのCH4トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH3 : オーディオ入力のCH3 0003 CH4 : オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
729* ¹ REC CH5	オーディオのCH5トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 : オーディオ入力のCH5 0001 CH6 : オーディオ入力のCH6 0002 CH7 : オーディオ入力のCH7 0003 CH8 : オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号

*¹ システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<AUDIO> (つづき)

No./項目	設定内容
730*1 REC CH6	オーディオのCH6トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 : オーディオ入力のCH5 0001 CH6 : オーディオ入力のCH6 0002 CH7 : オーディオ入力のCH7 0003 CH8 : オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
731*1 REC CH7	オーディオのCH7トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 : オーディオ入力のCH5 0001 CH6 : オーディオ入力のCH6 0002 CH7 : オーディオ入力のCH7 0003 CH8 : オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
732*1 REC CH8	オーディオのCH8トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 : オーディオ入力のCH5 0001 CH6 : オーディオ入力のCH6 0002 CH7 : オーディオ入力のCH7 0003 CH8 : オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
733*1 REC CUE	CUEに記録する入力信号を選択します。 0000 CUE : CUE IN 0001 CH1 : オーディオ入力のCH1 0002 CH2 : オーディオ入力のCH2 0003 CH3 : オーディオ入力のCH3 0004 CH4 : オーディオ入力のCH4 0005 CH5 : オーディオ入力のCH5 0006 CH6 : オーディオ入力のCH6 0007 CH7 : オーディオ入力のCH7 0008 CH8 : オーディオ入力のCH8 0009 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0010 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号 0011 CH5+6 : オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0012 CH7+8 : オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号 0013 CH1-8 : オーディオ入力のCH1~CH8のミックス信号

No./項目	設定内容
734*1 PB FADE	再生時に、音声編集点(IN点、OUT点)の処理をどのように行うかを選択します。 0000 AUTO : 記録時の状態に従います。 0001 CUT : 強制CUT 0002 FADE : 強制FADE
735 HD EMBD AUD	HDシリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
736 SD EMBD AUD	SDシリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
737 MONI MIX	ヘッドフォンモニター(Lch/Rch)にミックス信号を選択します。 0000 OFF : Lch/Rchともにミックスしません。 0001 L : Lchのみミックスします。 0002 R : Rchのみミックスします。 0003 L/R : Lch/Rchともにミックスします。 <ノート> ●OFFのとき、「L」(または「R」)ボタンを押すたびに、モニターL(またはモニターR)に出力する信号がCH1、CH2、CH3・・・と切り替わります。選択された信号はオーディオレベルメーター下に表示されます。 ●L、R、L/Rのとき、複数のチャンネルの信号をミックスして出力することができます。「L」(または「R」)ボタンを押しながら、数字キーでモニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャンネルが選択されます。選択されたチャンネルはオーディオレベルメーター下に表示されます。(また、同様の操作ですでに選択されているチャンネルを非選択にします。)ただし、CH1~CH4のうち最大2チャンネル、CH5~CH8のうち最大2チャンネルまで選択できます。
738 CH1 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH1出力状態を選択します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード時のオーディオ出力について」(105ページ)を参照してください。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<AUDIO> (つづき)

No./項目	設定内容
739 CH2 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH2出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
740 CH3 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH3出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
741 CH4 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH4出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
742 CH5 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH5出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
743 CH6 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH6出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。

No./項目	設定内容
744 CH7 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH7出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
745 CH8 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH8出力状態を選択 します。 0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、「サーチモード 時のオーディオ出力について」(105ページ) を参照してください。
746 MONI CH SEL	モニター出力の選択を行います。 0000 MANU : MONITOR SELECTボタンで選択されている 信号を出力します。 0001 AUTO : -1.0~+2.0倍速の範囲はPCM AUDIO出力 し、それ以外の速度では自動的にCUEを出力 します。 0002 PCM : -32~+32倍速の範囲はPCM AUDIOを出力 します。 <ノート> ●「AUTO」を選択し、DVCPRO HD_LP以外 のテープを再生した場合のPCM AUDIO出力 は-1.0~+1.1倍速の範囲となります。 ●本機フロントパネルのMONITOR SELECTス イッチのL/RがCH1~CH8を選択している場 合に有効です。 (CUEを選択している場合は、上記メニュー設 定に関係なく、すべてのスピードにおいて CUEが出力されます。)
747 MON AUTO SEL	モニター出力がCUEに切り替わるチャンネルを 選択します。 セットアップメニューNo.746(MONI CH SEL) でMANU以外を選択した場合、動作モードに応 じて自動でモニター出力にCUEが出力されま すが、自動でCUEに切り替わるモニターチャ ネルを選択します。 0000 L/R : Lch/Rch両方にCUEを出力し ます。 0001 L : LchのみにCUEを出力します。 0002 R : RchのみにCUEを出力します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<AUDIO> (つづき)

No./項目	設定内容
748 MONI SEL INH	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 OFF : 操作が可能になります。 0001 ON : 操作が禁止されます。 0002 ON1 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。 <ノート> セットアップメニューNo.737(MONI MIX)の設定でミックスされていないチャンネルに対して操作の許可/禁止が選択できます。
749*1 AUDIO PB VR	<AUDIO>ファンクションメニューでINT SGを選択した場合、EEモードで再生レベルの調整用ボリュームが機能するかどうかを選択します。 0000 DIS : INT SGの出力レベルはUNITY固定です。 0001 ENA : INT SGの出力レベルを再生レベルの調整用ボリュームで変更することができます。
750 ANA CH1 SEL	アナログ出力CH1への出力信号を選択します。 0000 CH1 : CH1を出力します。 0001 CH5 : CH5を出力します。
751 ANA CH2 SEL	アナログ出力CH2への出力信号を選択します。 0000 CH2 : CH2を出力します。 0001 CH6 : CH6を出力します。
752 ANA CH3 SEL	アナログ出力CH3への出力信号を選択します。 0000 CH3 : CH3を出力します。 0001 CH7 : CH7を出力します。
753 ANA CH4 SEL	アナログ出力CH4への出力信号を選択します。 0000 CH4 : CH4を出力します。 0001 CH8 : CH8を出力します。
754 SD SDI CH1 SL	SD SDI出力に重畳するオーディオCH1信号を選択します。 0000 CH1 : CH1を出力します。 0001 CH2 : CH2を出力します。 0002 CH3 : CH3を出力します。 0003 CH4 : CH4を出力します。 0004 CH5 : CH5を出力します。 0005 CH6 : CH6を出力します。 0006 CH7 : CH7を出力します。 0007 CH8 : CH8を出力します。
755 SD SDI CH2 SL	SD SDI出力に重畳するオーディオCH2信号を選択します。 0000 CH1 : CH1を出力します。 0001 CH2 : CH2を出力します。 0002 CH3 : CH3を出力します。 0003 CH4 : CH4を出力します。 0004 CH5 : CH5を出力します。 0005 CH6 : CH6を出力します。 0006 CH7 : CH7を出力します。 0007 CH8 : CH8を出力します。

No./項目	設定内容
756 SD SDI CH3 SL	SD SDI出力に重畳するオーディオCH3信号を選択します。 0000 CH1 : CH1を出力します。 0001 CH2 : CH2を出力します。 0002 CH3 : CH3を出力します。 0003 CH4 : CH4を出力します。 0004 CH5 : CH5を出力します。 0005 CH6 : CH6を出力します。 0006 CH7 : CH7を出力します。 0007 CH8 : CH8を出力します。
757 SD SDI CH4 SL	SD SDI出力に重畳するオーディオCH4信号を選択します。 0000 CH1 : CH1を出力します。 0001 CH2 : CH2を出力します。 0002 CH3 : CH3を出力します。 0003 CH4 : CH4を出力します。 0004 CH5 : CH5を出力します。 0005 CH6 : CH6を出力します。 0006 CH7 : CH7を出力します。 0007 CH8 : CH8を出力します。
758 JOG PROC	JOG/VAR/SHTLモード時のデジタルオーディオ出力のスロー信号処理を選択します。 0000 OFF : デジタルオーディオのスロー信号処理をしない音がSTILL時も含めて出力されます。 0001 ON : デジタルオーディオのスロー信号処理をした音が出力されます。
759 DV PB ATT	DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0000 OFF : オーディオ出力レベルを減衰しません。 0001 ON : オーディオ出力レベルを減衰します。
760*1 REC PT MUTE	DV/DVCAMフォーマット再生時、記録のつなぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0000 OFF : ミュートしません。 0001 ON : ミュートします。
761*1 AUDIO INT SG	内蔵信号の種類を選択します。 0000 TONE : 正弦波を選択します。 0001 SILNCE : 無音信号を選択します。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz(HD、SD)モードを選択している時、この項目一は表示されません。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<AUDIO> (つづき)

No./項目	設定内容
762 AUD RATE CON	オーディオ入出力部のレートコンバータを通さずに(デジタルフィルターをかけない)記録・再生を行うことができます。 0000 OFF : レートコンバータを通さず記録・再生します。 0001 ON : レートコンバータを通して記録・再生します。 <ノート> ●記録と再生が同時にON/OFF制御されます。記録や再生は単独で設定できません。 ●CH1~CH8が同時にON/OFF制御されます。各CHごとの設定はできません。 ●レートコンバータOFF時は、ビデオ入力とAES/EBU入力が必要があります。また、ビデオ入力とOUT REFで選択されたリファレンス信号も同期している必要があります。(非同期の場合、ノイズが出ることがあります。) ●60Hzモード時、レートコンバータOFF設定をすると、ノイズが出ることがあります。

No./項目	設定内容
763 METER SCALE	オーディオレベルメーターのスケール表示を選択します。 0000 PEAK 0 : 最大レベルを0dBとしてオーディオレベルを表示します。 0001 REF 0 : 基準レベルを0dBとしてオーディオレベルを表示します。
790*5 CUE REC VOL	CUEオーディオの記録レベルを調整します。 (-∞~0 dB~+12 dB) 0032 16 <注> : : システムメニュー項目 0016 0 No.25(SYSTEM FREQ) で : : 23/24Hzモードを選択している時、 0000 -16 この項目は表示されません。
791 CUE PB VOL	CUEオーディオの再生レベルを調整します。 (-∞~0 dB~+12 dB) 0032 16 : : 0016 0 : : 0000 -16

_____ は、工場出荷モードです。

<サーチモード時のオーディオ出力について>

メニュー設定(No.738~No.745、No.746、No.747)の組み合わせにより、モニターおよび本線系への出力は下表のようになります。

738 CH1 CUE SEL : 745 CH8 CUE SEL	746 MONI CH SEL	747 MON AUTO SEL	モニター出力		本線系出力		
			Lch	Rch	CH1/CH3/CH5/CH7	CH2/CH4/CH6/CH8	
OFF	MANU	L/R	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	
		L					
		R					
	AUTO	L/R	CUE*2	CUE*2			
		L	CUE*2	PCM*1			
		R	PCM*1	CUE*2			
PCM	L/R	PCM*3	PCM*3	PCM*4	PCM*4		
	L						
	R						
ON	MANU	L/R	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	
		L					
		R					
	AUTO	L/R	CUE*2	CUE*2	CUE*2	CUE*2	
		L	CUE*2	PCM*1	CUE*2	PCM*1	
		R	PCM*1	CUE*2	PCM*1	CUE*2	
	PCM	L/R	PCM*3	PCM*3	PCM*3	PCM*3	PCM*3
		L					PCM*4
		R					PCM*3

<ノート>

*1 : PCMオーディオ出力は、-1.0~+2.0倍速(DVCPRO HD_LP 以外は-1.0~+1.1倍速)の範囲外で再生した場合はミュートされます。

*2 : CUEオーディオ出力は、-1.0~+2.0倍速(DVCPRO HD_LP 以外は-1.0~+1.1倍速)の範囲で再生した場合はPCMが出力されます。

*3 : FF/REW時は、自動的にCUEを出力します。

*4 : FF/REW時は、ミュートされます。

*5 : システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー

<MENU>

No./項目	設定内容
A02 P. ON LOAD	本機には現在の設定値*1を保存するVTR MEMORY ㊦とそれをバックアップ保有するVTR MEMORY ㊧～㊨があります。電源投入時に、選択したVTR MEMORY ㊧～㊨の内容をVTR MEMORY ㊦にロードして起動することができます。 0000 OFF : 前回の設定値で起動します。 0001 USER1 : VTR MEMORY ㊧をロードして起動します。 0002 USER2 : VTR MEMORY ㊨をロードして起動します。 0003 USER3 : VTR MEMORY ㊩をロードして起動します。 0004 USER4 : VTR MEMORY ㊪をロードして起動します。

*1 ここでの“設定値”とは、セットアップメニューの全ての設定値、PF1/PF2メニューの項目登録内容、一部のファンクションボタン内容を指します。

<Dolby-E*2機器との接続について>

Dolby-Eエンコーダー/デコーダーと接続してDolby-Eデータを記録・再生する場合は、オーディオ入出力レベルをUNITYに設定し、セットアップメニューを下記のように設定してください。

No.303 AUD EDIT IN = CUT
No.304 AUD EDIT OUT = CUT
No.725 REC CH1 = CH1
No.726 REC CH2 = CH2
No.727 REC CH3 = CH3
No.728 REC CH4 = CH4
No.729 REC CH5 = CH5
No.730 REC CH6 = CH6
No.731 REC CH7 = CH7
No.732 REC CH8 = CH8
No.734 PB FADE = CUT
No.758 JOG PROC = OFF
No.762 AUD RATE CON = OFF

<ノート>

- 60HzモードでのDolby-Eデータの記録・再生はできません。
- Dolby-E機器のエンコード/デコード処理時間分のビデオとのタイミング合わせはVTR外部で行ってください。
- Dolby-Eエンコーダー/デコーダーのBit Depthは16bitに設定してください。
- Dolby-Eデータが通っているチャンネルのANALOG AUDIO OUTからはノイズが出力されます。
- Dolby-Eデータが通っているチャンネルはオーディオレベルメーターが振り切れます。
- Dolby-Eデータが記録されたテープをJOG、VAR再生するとノイズが出力されます。

*2 ドルビー、DolbyおよびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

_____ は、工場出荷モードです。

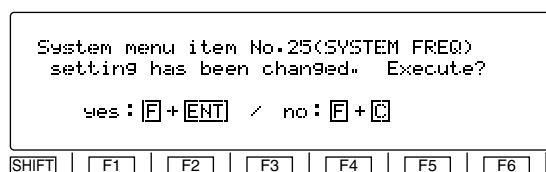
セットアップメニュー

<システム周波数の切り替え手順>

システム周波数[59/60Hz、50Hz、23/24Hz、25Hz (HD)、25Hz (SD)]を切り替えるには、以下の操作を行います。

1 <SETUP MEU/SYSTEM MENU> (60ページ) の操作手順に従って、システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) の設定を変更します。

2 **[F5]**(SET) を押して設定値を確定し、タイムコード表示部⑭に表示されていたファンクションメニューが消えた後、以下のメッセージが表示されます。



3 2で確定した設定値を有効にするには、**[F]**ボタンを押しながら**[ENT]**ボタンを押します。システムが再起動され、選択したモードで動作するようになります。

4 2で確定した設定値を無効にするには、**[F]**ボタンを押しながら**[C]**ボタンを押します。上記のメッセージが消え、システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) の変更した設定値を復元した後、SYSTEM MENUの操作画面に戻ります。

<ノート>

カセットが挿入されている状態で、システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) の設定値を変更した場合は、カセットは自動でイジェクトされます。

<CARD> (69ページ) の操作手順に従って、ICカードの呼び出しを行い、システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) の設定値が変更された場合も同様に、上記手順に従います。

ただし、SYSTEM FREQ変更がキャンセルされた場合でも、その他のシステムメニューは更新され、ファイル名も更新されます。

<動作モードに応じた記録・再生フォーマットおよび同期信号の選択について>

No.25 SYSTEM FREQ	記録可能フォーマット	再生可能フォーマット	同期信号
50/60	1080/59.94i (HD_LP) 1080/60.00i (HD_LP) 720/59.94p (HD_LP) 720/60.00p (HD_LP)	1080/59.94i (HD_LP, HD_SP) 1080/60i (HD_LP, HD_SP) 720/59.94p (HD_LP, HD_SP) 720/60.00p (HD_LP, HD_SP) 480/59.94p (50Mp) 480/59.94i (50M, 25M, DV, DVCAM)	HD_REF (59.94Hz、60Hz) SD_REF (59.94Hz) セットアップメニューNo.031 (OUT REF)の設定に従います。
50	1080/50i (HD_LP)	1080/50i (HD_LP, HD_SP) 576/50i (50M, 25M, DV, DVCAM) 576/25p over 50i (50M, 25M, DV)	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) セットアップメニューNo.031 (OUT REF)の設定に従います。
23/24	なし	720/23.98p over 59.94p (HD_LP/HD_SP) 720/24p over 60.00p (HD_LP/HD_SP) 480/23.98p over 59.94i [2:3 mode] 480/23.98p over 59.94i [2:3:3:2 advance mode]	HD_REF (47.96Hz、48Hz)
25 (HD)	なし	720/25p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) セットアップメニューNo.031 (OUT REF)の設定に従います。
25 (SD)	なし	720/25p over 60p	SD_REF (50Hz)

セットアップメニュー

<システム周波数の切り替えに伴うメニュー管理>

システムメニューおよびセットアップメニューには、システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) のシステム周波数の選択による動作モードの切り替えによって、設定値の内容が異なる項目と、選択メニューが非表示となり設定値が固定 (下表のアミ部分) される項目があります。(以下の一覧表をご参照ください。)

システムメニューおよびセットアップメニューの設定値について

- 設定値の内容が異なる項目は、VTR MEMORY (カレントファイル、バックアップファイル1~4) 内で別々に保存されています。それぞれの動作モードに対応した設定値が表示されますので、動作モードごとに設定値の操作を行うことができます。

<PF1/PF2>ファンクションボタンの登録について

- 設定値の内容が異なる項目を<PF1/PF2>のファンクションボタンに登録した場合、それぞれの動作モードに対応した設定値が表示されますので、動作モードごとの設定値の操作を行うことができます。
- 動作モードによって選択メニューが非表示となる項目を<PF1/PF2>のファンクションボタンに登録している場合、非表示となる動作モードを選択すると、登録内容は保存されていますが、ファンクションボタンはブランク状態となり、操作はできません。ただし、再登録を行うと上書き保存され、以前の登録内容は消えますのでご注意ください。

<50P IN/OUT>50pin端子の登録について

- 設定値の内容が異なる項目を<50P IN/OUT>の50pin端子に登録した場合、設定値No.を元にしてそれぞれの動作モードに対応した設定値がIN/OUT端子に割り当てられます。ただし、上限値を超える場合は上限値に制限されます。登録内容は保存されていますが、再登録を行うと上書き保存され、以前の登録内容は消えますのでご注意ください。
- 動作モードによって選択メニューが非表示となる項目を<50P IN/OUT>の50pin端子に登録している場合、非表示となる動作モードを選択すると、登録内容は保存されていますが、操作はできません。ただし、再登録を行うと上書き保存され、以前の登録内容は消えますのでご注意ください。

システムメニュー

No.	名称		システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ)				
			59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)
12	SYS H (HD)	COARSE	-5H~0H~5H	-5H~0H~5H		-5H~0H~5H	
		FINE	-1100~0~1100	-1375~0~1375		-1320~0~1320	
14	SYS SC (SD)		-108~0~108			-115~0~115	
15	VO SYS H (SD)	COARSE	-5H~0H~5H		-5H~0H~5H		
		FINE	-858~0~858		-864~0~864		
16	SD SYS D (SD)	COARSE	-5H~0H~5H		-5H~0H~5H		
		FINE	-858~0~858		-864~0~864		
26	HD SYS H ADV		0H/90H				

セットアップメニュー

No.	名称		システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ)				
			59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)
109	CAP.LOCK		2F/4F	2F	2F/4F/8F	2F	2F
501	VITC POS-1		10L~16L~20L		7L~11L~22L		7L~11L~22L
502	VITC POS-2		10L~18L~20L		7L~13L~22L		7L~13L~22L
600	VIDEO IN SEL		INTSG HDSDI SDTI SDSDI		INTSG HDSDI SDSDI		

_____ は、工場出荷モードです。
(次ページに続きます)

セットアップメニュー

セットアップメニュー

No.	名称	システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ)					
		59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)	
002	TAPE TIMER	<u>±12h</u> 24h		59/60と同じ			
004	SYNCHRONIZE	OFF ON					
010	MONI CONTROL	MANU AUTO					
012	REC ADJUST	0s~ <u>3s</u> ~5s					
013	DET STOP	OFF ON					
014	DET ADJUST	-8f~ <u>0f</u> ~3s10f					
020	SYS FORMAT	<u>1080i</u> 720p	720p	1080i	720p	720p	
030	HD FREQUENCY	<u>59/23</u> 60/24	59/60と同じ		60/24	60/24	
031	OUT REF	AUTO INPUT HD_REF SD_REF	HD_REF	59/60と同じ	59/60と同じ	SD_REF	
105	AUTO EE SEL	<u>S/F/R</u> STOP					
107	EE MODE SEL	<u>NORMAL</u> THRU					
111	MEMORY STOP	OFF ON					
113	REC INH	OFF ALL PRE NORMAL V/CTL	ALL			ALL	ALL
115	EJECT SW INH	<u>REC</u> OFF					
118	SP MODE INH	OFF ON					
119	CONFI REC	OFF ON					
135	DET BEEP	OFF LOW HIGH					
140	OUTPUT	<u>EE</u> TAPE	TAPE			TAPE	TAPE
141	VOLUME	REC PB <u>AUTO</u>	PB			PB	PB
142	AUDIO UNITY	IN OUT <u>IN/OUT</u>	OUT			OUT	OUT
302	CONFI EDIT	OFF ON					
303	AUD EDIT IN	CUT <u>FADE</u>					

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

No.	名称	システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ)					
		59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)	
304	AUD EDIT OUT	CUT FADE					
306	CF ADJ SEL	PLAYER RECORDER					
320	EDIT RPLCE1	N-DEF CH1 CH2 CH1+3					
321	EDIT RPLCE2						
322	EDIT RPLCE3						
323	EDIT RPLCE4						
324	EDIT RPLCEC						
500	VITC BLANK	BLANK THRU	BLANK		BLANK	59/60と同じ	
503	TCG MODE	REGEN PRE AUTO	PRE	59/60と同じ	PRE	PRE	
504	RUN MODE	REC FREE					
505	TCG REGEN	TC&UB TC UB					
506	REGEN MODE	AS&IN ASSEM INSRT					
507	TC SOURCE	INT EXT_L SLTC SVITC					
508	BINARY GP	000~111					
510	TCG CF FLAG	OFF ON					
511	DF MODE	DF NDF	NDF			NDF	NDF
512	TC OUT REF	V OUT TC IN					
516	TC OUT ADV	OFF EDIT					
517	TCG OUT	MOMENT LATCH					
601	VIDEO INT SG	100%CB~EQ		59/60と同じ			
602	SDI IN MODE	DR OFF DR ON					
604	FREEZE SEL	FIELD FRAME					
605	INTERPOLATE	OFF AUTO	OFF			OFF	OFF
619	V_FILTER					FLD/FRM	
620	DOWNCON MODE	CROP LT-BOX SQUEEZ 14:9 13:9		59/60と同じ		59/60と同じ	

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

No.	名称	システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ)				
		59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)
621	UPCON MODE	S-PANL CROP STRECH	59/60と同じ	59/60と同じ		
624	U/C RESP H	STD NARROW				
625	U/C RESP V	STD NARROW				
628	U/C ENH H	0dB~+1dB~2dB				
629	U/C ENH V	0dB~+1dB~2dB				
630	1080i → HD OUT	1080i 720p 1080i				
631	1080i → SD OUT	480i --- 480p				
632	720p → HD OUT	1080i 720p 720p				
633	720p → SD OUT	--- 480i 480p				
634	480p → HD OUT	1080i 720p ---				
635	480p → SD OUT	480p 480p 480i				
636	480i → HD OUT	1080i 720p ---				
637	480i → SD OUT	480i 480i 480p				
638	IN U/C MODE	S-PANL CORP STRETCH		59/60と同じ		
639	I U/C RESP H	STD NARROW				
640	I U/C RESP V	STD NARROW				
641	I U/C ENH H	0dB~+1dB~2dB				
642	I U/C ENH V	0dB~+1dB~2dB				
651	HUE STYLE	Pb-Pr U-V	59/60と同じ			
676	BLK CLIP	OFF ON				
680	CC (F1) BLANK	BLANK THRU	BLANK		BLANK	BLANK
681	CC (F2) BLANK	BLANK THRU	BLANK		BLANK	BLANK
685	ESR MODE	OFF AUTO				

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

No.	名称	システムメニュー-No.25 (SYSTEM FREQ)				
		59/60	23/24	50	25 (HD)	25 (SD)
686	CCR MODE	OFF ON				
687	SDI INDEX 0	OFF ON		59/60と同じ		59/60と同じ
688	CC REC	OFF ON				
695	BLANK LINE	BLANK THRU MANU				
700	CH1 IN LV	4dB 0dB -20dB				
701	CH2 IN LV					
702	CH3 IN LV					
703	CH4 IN LV					
704	CUE IN LV	4dB 0dB -20dB -60dB				
713	CH1 IN SEL	INT SG DIGI ANA				
714	CH2 IN SEL					
715	CH3 IN SEL					
716	CH4 IN SEL					
717	CH5 IN SEL					
718	CH6 IN SEL					
719	CH7 IN SEL					
720	CH8 IN SEL					
721	D IN SEL 12	AES SDI		59/60と同じ		
722	D IN SEL 34					
723	D IN SEL 56					
724	D IN SEL 78					
725	REC CH1	CH1~CH3+4				
726	REC CH2					
727	REC CH3					
728	REC CH4					
729	REC CH5	CH5~CH7+8				
730	REC CH6					
731	REC CH7					
732	REC CH8					
733	REC CUE	CUE~CH1-8				
734	PB FADE	AUTO CUT FADE	CUT		CUT	
749	AUDIO PB VR	DIS ENA				
760	REC PT MUTE	OFF ON				
761	AUDIO INT SG	TONE SILNCE	SILNCE		SILNCE	
790	CUE REC VOL	16~0~-16				

_____ は、工場出荷モードです。

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を、時:分:秒:フレーム単位で表示するとき使用します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)に書き込まれます。

このために、タイムコードだけを独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード ▶ スロー再生 ▶ 高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 23
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことで、オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

1 VTRを停止モードにします。

2 <HOME>メニューの **[F3]** TC/CTL = TCにします。

3 <TC>メニューの **[F1]** SOURCE = INTにします。
(内部タイムコードの選択)

4 <TC>メニューの **[F5]** RUN MDの設定

REC :
記録と同時に歩進します。

FREE :
VTR動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。

5 <TC>メニューの **[F3]** TCG MDの設定

REGEN :
編集前の下地のTCの連続性を保ちます。

PRE :
操作パネル、または、リモートコントローラでプリセットが可能になります。

AUTO :
VTRの動作モードにより、REGEN/PREが自動で切り替わります。
編集時は、REGENが選択され、編集時以外は、PREが選択されます。

6 TCプリセット値の登録

<HOME>メニューにします。

<TC/UB>

● **プリセット** (プリセット可能状態において)

- ① 数字キーの **[T]** を押すと、TC表示がTCG(UBG)に替わり、TCG値(全桁)が文字反転します。
- ② 再度 **[T]** を押すと、1桁のみが反転し変更可能状態となります。
- ③ 値入力は数字キーで入力します。
[F] を押しながら **[0]** を押すと、入力値をすべてクリアできます。
- ④ UBでのアルファベットは **[F]** を押しながら同一数字キー(**[7]** または **[8]** の連打でトグル)を押して入力します。
桁移動はADJダイヤルを回します。
- ⑤ 確定は **[ENT]** ボタンを押します。
- ⑥ 入力中に表示画面を切替えた場合、又は **[C]** ボタンを押した場合は、変更可能状態を解除し、設定が無効となります。

<CTL>

● **リセット**

[F4] (TC CLR)を押します。

タイムコード/ユーザーズビットについて

外部タイムコードの設定

- 1 VTR を停止モードにします。
- 2 <HOME>メニューの [F3] TC/CTL = TC にします。
- 3 ビデオ入力をHD SDI入力、又はINT_SGに設定している場合は、<TC>メニューの [F1] TC SRC = EXT-L/SLTC/SVITC にします。
- 4 ビデオ入力をSD SDI入力に設定している場合は(オプション装着時)、<TC>メニューの [F1] TC SRC = EXT-L/VITC にします。

キュータイム登録・プリロール・キューアップ

(HOME, PF1, PF2 画面でのみ機能)

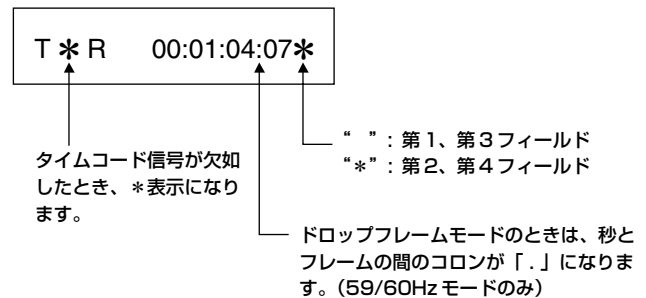
- **登録**
[F] ボタンを押しながら [SET] ボタンを押して登録します。
- **プリセット**
[T] ボタンを押すと、キュータイムまたはTC/UB表示が文字反転します。
ADJUSTダイヤルを回して、キュータイム表示を文字反転させます。
以降の登録方法は、TCGと同じ操作です。
- **プリロール**
PREROLL ボタン押しで現在登録されているCUE点へプリロールします。
- **キューアップ**
[E] ボタンを押しながら PREROLL ボタン押しで現在登録されているCUE点へキューアップします。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

- 1 VTR を停止モードにします。
- 2 <HOME>メニューの [F3] TC/CTL を「TC」または「UB」にします。
TC : タイムコードが表示されます。
UB : ユーザービットが表示されます。
 - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 3 PLAY ボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
<TC SHIFT>メニューの [F1] SUPER = ONの場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

<ノート>

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときには、CTL信号で自動的に補います。
ディスプレイは、以下のようになります。



スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。



省略文字

CTL : コントロール信号のカウント値

TCR : SBC 領域に記録されたタイムコードデータ

TCR. : VAUX 領域に記録されたタイムコードデータ

UBR : SBC 領域に記録されたユーザズビットデータ

UBR. : VAUX 領域に記録されたユーザズビットデータ

TCG : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ

UBG : タイムコードジェネレータのユーザズビットデータ

<ノート>

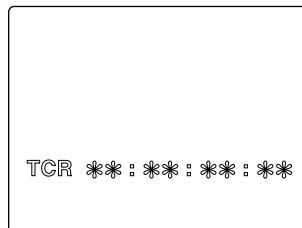
「T*R」 「T*R.」 「U*R」 「U*R.」 は、データがテープから正しく読み取れなかった時に表示します。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、<TC SHIFT> メニューの **F5** (C TYPE)で文字の背影を変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

<ノート>

システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz モードを選択している時、SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のタイムコード等のスーパーインポーズは表示されません。

表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、<TC SHIFT> メニューの **F2** (C HPOS)と **F3** (C VPOS)、ADJダイヤルで変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

<TC SHIFT> メニューの **F4** (DISPLY) で VTR の動作モードも表示されます。



モニターテレビ

VTR 動作モード

音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

音声の記録チャンネル

AUDIO のセットアップメニューにより、以下のよう
に音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1 入力/CH2 入力/CH3 入力/CH4 入力/ CH1 + CH2 入力/CH3+CH4 入力
CH2	CH1 入力/CH2 入力/CH3 入力/CH4 入力/ CH1 + CH2 入力/CH3+CH4 入力
CH3	CH1 入力/CH2 入力/CH3 入力/CH4 入力/ CH1 + CH2 入力/CH3+CH4 入力
CH4	CH1 入力/CH2 入力/CH3 入力/CH4 入力/ CH1 + CH2 入力/CH3+CH4 入力
CH5	CH5 入力/CH6 入力/CH7 入力/CH8 入力/ CH5 + CH6 入力/CH7 + CH8 入力
CH6	CH5 入力/CH6 入力/CH7 入力/CH8 入力/ CH5 + CH6 入力/CH7 + CH8 入力
CH7	CH5 入力/CH6 入力/CH7 入力/CH8 入力/ CH5 + CH6 入力/CH7 + CH8 入力
CH8	CH5 入力/CH6 入力/CH7 入力/CH8 入力/ CH5 + CH6 入力/CH7 + CH8 入力
CUE	CUE 入力/CH1 入力/CH2 入力/CH3 入力/ CH4 入力/CH5 入力/CH6 入力/CH7 入力/ CH8 入力/CH1 + CH2 入力/CH3 + CH4 入力/ CH5 + CH6 入力/CH7 + CH8 入力/CH1 ~ CH8 入力

モニター出力チャンネル

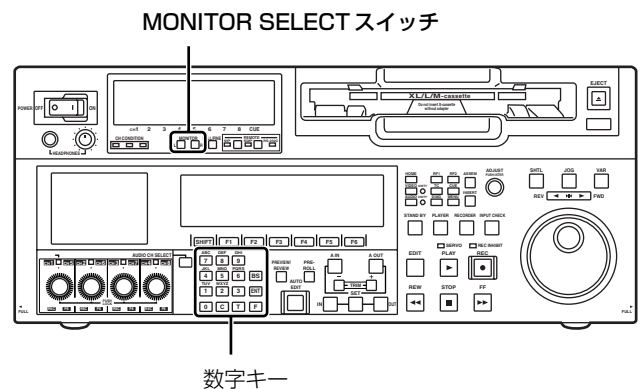
<AUDIO SHIFT2>メニューの [F6] M MIX = L, R,
L/R にすると、複数のチャンネルの信号をミックスし
て出力することができます。

[L] (または [R]) ボタンを押しながら、数字キーで
モニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャ
ンネルが選択され、オーディオレベルメーターに表示
されます。

(また、同様の操作ですでに選択されているチャン
ネルを非選択にします。)

ただし、CH1 ~ CH4 のうち最大 2 チャンネル、
CH5 ~ CH8 のうち最大 2 チャンネルの選択となり
ます。

(例えば、CH1 + CH3 + CH5 + CH8 は可。
CH1 + CH2 + CH4 は不可などとなります。)



表示部のセービングファンクション

この機能は、液晶モニターのサービス寿命を延ばすために設けてあります。フロント操作を全くしない場合、あるいはカセットテープが全く走行しない場合に約5分後、この機能がスタートします。

セービングファンクションが作動している間は、液晶モニターは無表示になり、タイムコード表示部にEXのロゴが点滅表示されます。

セービングファンクションを解除するには、フロントのボタン、ダイヤル操作をするか、コントローラからテープ走行を指示してください。なお、セービングファンクションを解除するために行った操作はそのまま実行されます。

ラックマウント

ラックマウントアダプタ AJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと、本機を 19 インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。

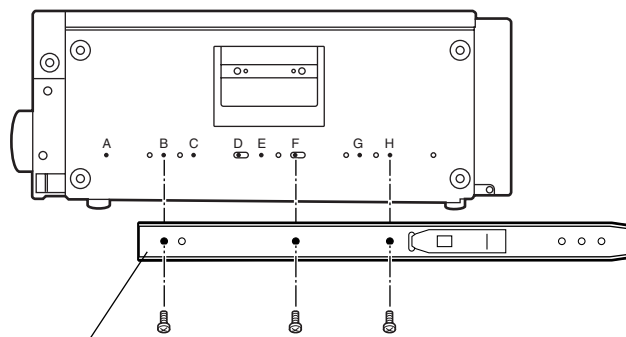
取り付けレールは、摂津金属工業株式会社製 18 インチレール(品番 C-305-18)とブラケット(品番 RBA2-35)を使用することをお勧めします。

VTR 本体を引き出したときの VTR とラックのすきまをより確保したい場合は、摂津金属工業(株)製 20 インチレール(品番 C-305-20)とブラケット(品番 RBA2-35)を使用することもできます。

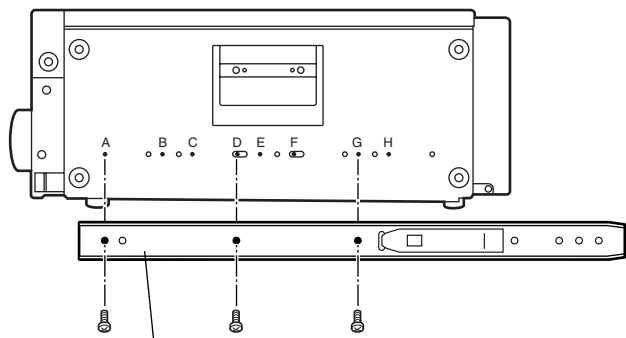
詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。ネジ止め位置は、下図を参照してください。

インナーメンバー-右(R)側のネジ止め位置



インナーメンバー(18インチレール)



インナーメンバー(20インチレール)

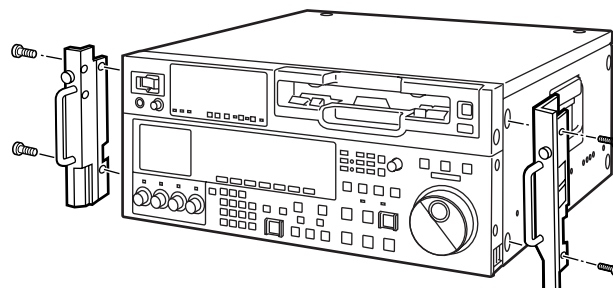
<ノート>

- 使用するネジは、長さ制限があります。長さ 10 ミリ以下のものをご使用ください。
- 左(L)側も対称の位置で取り付けてください。
- インナーメンバーは、片側 3 個ずつ(計 6 個)のネジで止めてください。
- サイドパネルには、アルファベットの刻印はありません。

- 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。左右の高さが同じであるかを確認してください。

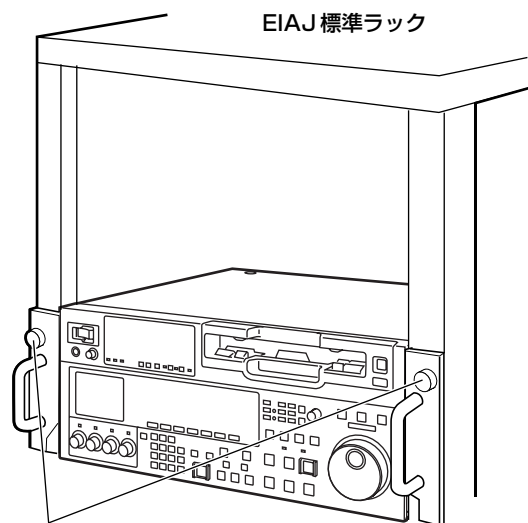
- 3 左右のサイドパネルを取り付けている、フロント側のネジ 4 本を外します。

- 4 ラックマウントアダプター AJ-MA75P を同じネジで取り付けます。



ラックマウントアダプター

- 5 本機底面のゴム足(4 か所)を外し、本機をラックに取り付けます。取り付け完了後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



固定ネジでラックに固定してください。

<ノート>

- ラック内の温度は 5℃～40℃に保ってください。
- VTR を引き出したときにラックが倒れないように、ラックをしっかりと床にボルトで固定してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。

なお、具体的なクリーニング方法については、サービス会社または、販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。そのまま、電源を入れた状態でAUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

なお、AUTO OFFランプが消えた後、ビデオヘッドクリーニングすることをお勧めいたします。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。

ダイアグメニューを開くとフロント液晶部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、タイムコード表示部にメッセージを表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ(使用時間)情報があります。フロント液晶部、または、モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

■ダイアグメニューの表示

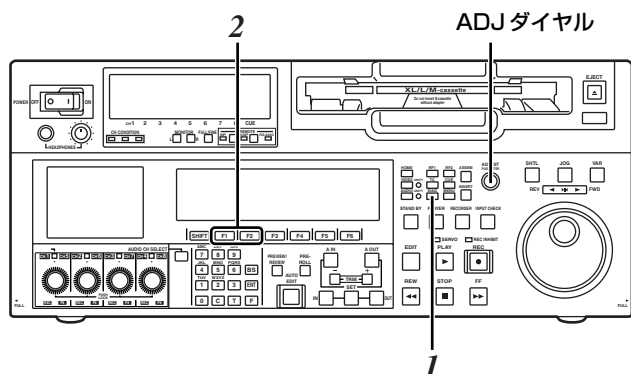
1 DIAG ボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示されます。

2 タイムコード表示部の **F1** (WARN)を押すとワーニング情報を表示し、**F2** (HOURS)を押すとアワーメータ情報を表示します。
アワーメータ情報は、ADJダイヤルでスクロールして表示を行います。

3 ダイアグメニューを抜けるには、他のダイレクトメニューボタンを押してください。

■ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(ワーニングランプ点灯)時は、ワーニングメッセージを表示します。
ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、ADJダイヤルを回すと各内容を確認することができます。



エラーメッセージ

■ アワーメータ情報の表示

ADJダイヤルを回すと、カーソル（*）が移動し、カーソルのある項目の内容をスーパーインポーズで表示します。

No./項目	設定内容
H00 OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01 DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02 TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、VAR、SHTL)REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03 THREADING	スレッディング(ローディング)/アンスレッディング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。
H04 F LOADING	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。
H05 LCD ON	液晶モニターの点灯時間を1時間単位で表示します。
H11 DRUM RUNr	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。 (リセット可能)
H12 TAPE RUNr	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、VAR、SHTL)REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。 (リセット可能)
H13 THREADINGr	スレッディング(ローディング)/アンスレッディング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H14 F LOADINGr	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。 (リセット可能)
H15 LCD ON r	液晶モニターの点灯時間を1時間単位で表示します。 (リセット可能)
H30 POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

<ノート>

アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。

セットアップメニュー No.006 (DISPLAY SEL) で T&S&M が選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示と内容
高い	エラーメッセージ(エラーメッセージ表参照) 本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG <VIDEO>メニューの [F1] (VID IN) または <AUDIO>、<AUDIO SHIFT1>メニューのオーディオ入力選択で「INT SG」が選択されている時にEDITボタンを押すと、開始2秒間表示されます。記録の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT アナログオーディオを除き、<VIDEO>メニューの [F1] (VID IN) または <AUDIO>、<AUDIO SHIFT1>メニューのオーディオ入力選択で選択されている入力端子に入力信号がない場合に、EDITボタンを押すと、開始2秒間表示されます。記録の開始時2秒間も同様に表示されます。
低い	ワーニングメッセージ(ワーニングメッセージ表参照) 本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

エラーメッセージ

ワーニングメッセージ

優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ●表示 ●内容 ●VTRの動作と対処方法
高い ↑ ↓ 低い	FAN STOP ファンモーターが停止した場合には表示します。 VTR ：動作継続(メニューの設定に関わらず、ビープ音が鳴ります。) <ul style="list-style-type: none"> ●ファンに異物が入っていないか確認してください。
	NO RF 再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合には表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 <ul style="list-style-type: none"> ●全てのヘッド出力がない。 ●再生データが読み取れない。 ●CTLがない。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。 記録されていないテープが挿入されている可能性があります。
	SERVO NOT LOCKED 再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。 再生不可能な方式で記録されたテープが挿入されている可能性があります。
	INVALID TC MODE [23/24Hz, 25Hz(HD,SD)モード時] 再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。
	TC SEQUENCE UNMATCH[23/24Hz, 25Hz(HD,SD)モード時] 再生時、アクティブフレーム情報とタイムコードの関係が不正規の場合に表示されます。映像出力が不均一(滑らかでない動き)になる場合があります。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープにはアクティブフレーム(フレーム映像が切替った先頭フレーム)情報が記録されています。本機で再生する場合は、タイムコードの0フレームがアクティブフレーム位置で検出される必要があります。
	LOW RF 再生、記録、編集時にビデオヘッドのエンベレベルが通常の約1/3以下の状態を1秒以上検出した場合、あるいはA/CヘッドのCTLレベルが通常の約1/6以下の状態を1秒以上検出した場合には表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ●DV/DVCAM再生時はCTLレベルは検出しません。 ●記録、編集時はビデオの同時再生ヘッドのみのエンベレベルを検出します。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●ビデオヘッドおよびA/Cヘッドのクリーニングを行ってください。
HIGH ERROR RATE エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修整/補間がかかった場合には表示します。 VTR ：動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●ビデオヘッドクリーニングを行ってください。 	

エラーメッセージ

表示	<ul style="list-style-type: none"> ●内容 ●VTRの動作と対処方法
CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモーターの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅してEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプとメッセージ表示が消え、VTRは使用可能となります。 <ul style="list-style-type: none"> ●EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ●カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。 VTR ：EJECT <ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れた状態でお待ちください。
DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモーターの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモーターの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
FRONT LOAD ERROR	ローディング途中(ハーフポジション)の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR ：停止 <ul style="list-style-type: none"> ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

表示	● 内容 ● VTRの動作と対処方法
FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード(アンローディングモード)へ移行します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
REEL DIR UNMATCH	巻取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
SERVO CONTROL ERROR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

表示	● 内容 ● VTRの動作と対処方法
S-FF/REW TIMEOVER	終始端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
S REEL ROTA TOO FAST	Sリールモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
T REEL ROTA TOO FAST	Tリールモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

本機を再起動してもエラーメッセージが表示する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RS-232C インターフェース

RS-232C インターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。
(127、128ページのコマンド一覧をご参照ください。)

■RS-232C インターフェースからのコマンド受け付け条件

セットアップメニュー No. 204
(RS232C SEL) : **ON**

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ERO01 [ETX]の返答を行います。[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目 No.209「RETURN ACK」の設定に従います。

ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

●端子仕様

コネクタ :

D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地(フレームグランド)
2	RXD	受信データ(PCへデータを送信する)
3	TXD	送信データ(PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可(5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求(4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ(未処理)
7	SG	信号用接地(信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ(通信可能状態後正電圧出力)

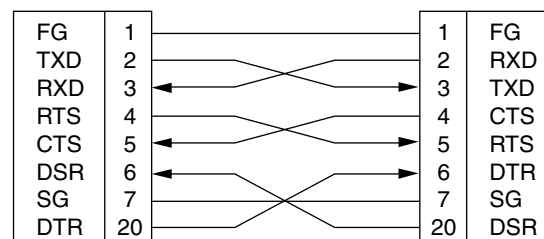
●コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)

PC側

(D-SUB 25ピン)

VTR側

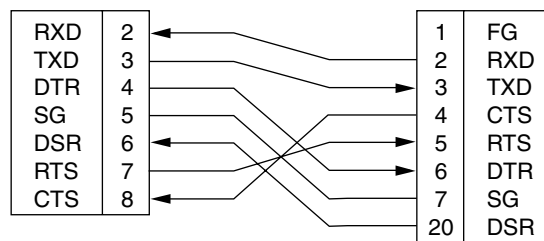


(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)

PC側

(D-SUB 9ピン)

VTR側



RS-232C インターフェース

ソフトウェア仕様(プロトコル)

1. 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACK コード	返信する/返信しない <ノート> ACK コードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR 側からコントローラに対して返信するコードのことです。

_____ は、工場出荷モードです。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACK コード	No.209 RETURN ACK

2. 送信フォーマット

[コントローラ(PC) → VTR]

■データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]
02h XX XX XX 3Ah XX……XX 03h

20H<XX<7FH

(XX=ASCII コード：記号、数字、英大文字)

[command] :

コマンド識別子(3 バイト)です。

コマンドとして 3 バイトの識別子(ASCII コード：記号、数字、英大文字)を送信します。

[:] :

コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。

[data] :

必要なバイト数のデータ(ASCII コード：記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

■コントローラからの送信手順概略

- ① 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続く COMMAND によりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。最後に ETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
- ② 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTR からの応答を待ってから送信します。(126 ページ参照)
- ③ ETX を送信する前に再度 STX を送信すると、VTR 側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信した STX を先頭として、新たにデータ処理を行います。

RS-232C インターフェース

3. 返信フォーマット

[VTR → コントローラ(PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

■通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. 実行完了メッセージを返信します。

[STX] [command] [data] [ETX]
02h XX XX XX XX……XX 03h

[command] :

返信するメッセージ(データ)または、実行完了のメッセージ識別子です。

[data] :

返信するデータです。省略が可能です。

example:

送信コマンド 返信メッセージ(データ)

[STX] OPL [ETX] → [ACK] [STX] OPL [ETX]

■通信が異常終了した場合

[NACK]
15h

■間違ったデータまたはVTRに異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. エラーコードを返信します。

[STX] [E R N₁ N₂ N₃] [ETX]
02h エラーコード 03h

4. エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER102 : VTR モードエラー

(フロントローディングモータ)

ER103 : VTR モードエラー

(ローディングモータ)

ER104 : VTR モードエラー

(ドラム、キャプスタン系)

ER105 : VTR モードエラー(リール系)

ER106 : VTR モードエラー(テンション系)

ER108 : VTR DEW エラー

ER1FF : VTR システムエラー

RS-232C インターフェース

5. コマンド一覧

■ 動作制御(Operation)関連コマンド

<ノート>

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後に EROO1(無効コマンド)を返信します。

VTR 操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
STOP	[STX] OSP [ETX] ↔	[STX] OSP [ETX]
	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No. 105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
EJECT	[STX] OEJ [ETX] ↔	[STX] OEJ [ETX]
	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
PLAY	[STX] OPL [ETX] ↔	[STX] OPL [ETX]
	再生を開始するコマンドです。	
REWIND	[STX] ORW [ETX] ↔	[STX] ORW [ETX]
	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX] ↔	[STX] OFF [ETX]
	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
REC	[STX] ORC [ETX] ↔	[STX] ORC [ETX]
	録画を開始するコマンドです。	

VTR 操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX] ↔	[STX] OSF [ETX]
	正方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.5 5 : × 1 6 : × 2.0 (DVCPROHD-LP 以外のフォーマット時は、× 1.85) 7 : × 4.9 8 : × 9.8 9 : × 16 A : × 32 <ノート> × 16 倍速と × 32 倍速は、セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。	
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX] ↔	[STX] OSR [ETX]
	逆方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.5 5 : × 1 6 : × 2.0 (DVCPROHD-LP 以外のフォーマット時は、× 1.85) 7 : × 4.9 8 : × 9.8 9 : × 16 A : × 32 <ノート> × 16 倍速と × 32 倍速は、セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。	
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX] ↔	[STX] OBF [ETX]
	VTR をスタンバイ OFF にするコマンドです。	
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX] ↔	[STX] OBN [ETX]
	VTR をスタンバイ ON にするコマンドです。	

RS-232C インターフェース

■ 問い合わせ(Question)関連コマンド

<ノート>

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後に EROO1(無効コマンド)を返信します。

VTR 操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX] ↔ [STX] CD data [ETX]	<p>カウンター値を問い合わせるコマンドです。</p> <p>data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL のとき： g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0~9 : 時 TC のとき： gh = 00~23 : 時 mm = 00~59 : 分 ss = 00~59 : 秒 [525i システム] ff = 00~29 : フレーム</p> <p><ノート> フロント表示モードに合わせて、CTL か TC を返信します。</p>
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX] ↔ [STX] *** [ETX]	<p>VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。</p> <p>*** = OEJ : EJECT OFF : FAST FORWARD OPL : PLAY ORC : REC ORW : REWIND OSP : STOP (STANDBY ON 含む) SRS : (IN/OUT) PREROLL OBF : STAND BY OFF OSF : SHTL FORWARD OSR : SHTL REVERSE OJG : JOG FORWARD/REVERSE OSW : VAR FORWARD/REVERSE EAE : AUTO EDIT EON : EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV : PREVIEW ERV : REVIEW</p>
ID(機器番号)REQUEST	[STX] QID [ETX] ↔ [STX] data [ETX]	<p>使用機器を問い合わせるコマンドです。</p> <p>data = AJ-HD1700</p>

RS-232C インターフェース

■ Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "*** Quit ***": GOTO ProgEnd

WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

コネクタの信号

VIDEO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1、アクティブスルー(BNC × 1)
HD REF IN	BNC × 2、ループスルー、75 Ω終端スイッチ付
SD REF IN	BNC × 2、ループスルー、75 Ω終端スイッチ付
SD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1、アクティブスルー(BNC × 1) (ボード オプション)
SDTI IN	BNC × 1 (ボード オプション)

VIDEO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 4
SD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 2
VIDEO OUT	BNC × 3
HD REF OUT	BNC × 1
SD REF OUT	BNC × 1
SDTI OUT	BNC × 1 (ボード オプション)

AUDIO IN

AUDIO IN (DIGITAL)	BNC × 4 (CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)、AES/EBUフォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1、アクティブスルー(BNC × 1)
SD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 1、アクティブスルー(BNC × 1) (ボード オプション)
CUE IN	XLR × 1
TIME CODE IN	XLR × 1

AUDIO OUT

AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC × 4 (CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)、AES/EBUフォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 4
SD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 2
CUE OUT	XLR × 1
TIME CODE OUT	XLR × 1
MONITOR OUT	XLR × 2 (L、R)
HEADPHONES (フロント)	M6

RS-422A REMOTE (9P)

● REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—————
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND

● REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	RECEIVE A
3	TRANSMIT B
4	TRANSMIT COMMON
5	—————
6	RECEIVE COMMON
7	RECEIVE B
8	TRANSMIT A
9	FRAME GROUND

コネクタの信号

PARALLEL REMOTE(50P)

ファンクションメニューの50 PIN ASSIGN を参照してください。(77ページ)

RS-232C

(D-SUB 25ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地(フレームグラウンド)
2	RXD	受信データ(PCヘデータを送信する)
3	TXD	送信データ(PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可(5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求(4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ(未処理)
7	SG	信号用接地(信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ(通信可能状態後正電圧出力)

ENCODER REMOTE(15P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
4	REM (G)
7	REM RX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
8	REM TX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT
14	REM RX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
15	REM TX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT

回路基板

F1 基板(ADDA)

スイッチNo.	設定目的
SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH1のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω
SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH2のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω
SW201	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH3のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω
SW301	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH4のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω

H3 基板(CUE)

スイッチNo.	設定目的
SW101	CUE INPUT IMPEDANCE SW CUE入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω

ボードの取り付けは、販売店にご相談ください。

_____ は、工場出荷モードです。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

DVCPRO ビデオヘッド: 1.000 時間
消耗・摩耗部品 : 1.000 時間

■補修用性能部品

当社では、デジタルHDビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 摩耗部品とは、

- | | |
|----------|-------------|
| ●ビデオヘッド | ●ローラー類 |
| ●ピンチローラー | ●ヘッド類 |
| ●各種ブレーキ | ●その他メカ駆動系部品 |
| ●モーター | |

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


ご連絡いただきたい内容

品名	デジタルHDビデオカセットレコーダー
品番	AJ-HD1700
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源 : AC 100 - 240V、50/60 Hz
消費電力 : 240W(オプション未挿入時 220W)

 は安全項目です。

動作周囲温度

5℃～40℃

動作周囲湿度

10%～80%(結露無し)

質量

約 22 kg

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

424 mm (最大 435.4 mm) × 175.2 mm × 448.9 mm
(セット足、ジャック、JOG ダイヤル、FAN を除く)

記録フォーマット

DVCPRO HD-LP

記録ビデオ信号

1080i (50Hz/59.94Hz/60Hz 切り替え)
720p (59.94Hz/60Hz 切り替え)
480i/59.94Hz
576i/50Hz (オプション AJ-UC1700G 装着時)

記録オーディオ信号

48 kHz 16bit 8CH

記録トラック

デジタルビデオ・オーディオ :
ヘリカルトラック
(タイムコードはサブコード領域に記録)
キュートラック :
1トラック
コントロールトラック :
1トラック

テープ速度

67.64 mm/秒 (59.94Hz モード)
67.70mm/秒 (60Hz/50Hz モード)

使用テープ

メタルテープ

録画時間

126分 (XL カセット使用時)
64分 (L カセット使用時)
32分 (M カセット使用時)

早送り/巻戻し時間

約 1 分 30 秒 (XL カセット使用時、± 100 倍速選択時)

サーチ速度

± 100 倍速

デジタルスロー

- 1 ~ + 2 倍速 (DVCPRO HD-LP 記録テープ再生時)
- 1 ~ + 1.1 倍速 (DVCPRO HD-LP 記録テープ以外)

編集精度

± 0 フレーム (タイムコード使用時、50Hz、59.94Hz、60Hz
モード時)

テープタイマー精度

± 1 フレーム (連続 CTL 信号使用時)

サーボロック時間

0.3 秒以内 (スタンバイ ON から)

ローディング時間

約 4 秒

オーディオスプリット編集

有り

【ビデオ】

サンプリング周波数

Y : 74.25 MHz、Pb/Pr : 37.125 MHz

量子化

8 bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100 Mbps

ビデオ入力端子

HD シリアルデジタル入力

BNC × 1 (SMPTE 292M 規格に準拠)、
BNC × 1 (アクティブスルー)

SD シリアルデジタル入力(オプション)

BNC × 1 (SMPTE 259M-C 規格に準拠)、
BNC × 1 (アクティブスルー)

SDTI 入力(オプション)

BNC × 1 (SMPTE 305M/SMPTE 321M 規格に準拠)*

HD リファレンス入力

BNC × 2 (ループスルー)、75 Ω ON/OFF 切り替え

SD リファレンス入力

BNC × 2 (ループスルー)、75 Ω ON/OFF 切り替え

ビデオ出力端子

HD シリアルデジタル出力

BNC × 3 (SMPTE 292M 規格に準拠)、
BNC × 1 (スーパーインポーズ付きモニター出力)

SD シリアルデジタル出力

BNC × 1 (SMPTE 259M-C/SMPTE 294M 準拠)、
BNC × 1 (スーパーインポーズ付きモニター出力)

SDTI 出力(オプション)

BNC × 1 (SMPTE 305M/SMPTE 321M 規格に準拠)*

HD リファレンス出力

BNC × 1

SD リファレンス出力

BNC × 1

アナログコンポジット出力

BNC × 3、ビデオ 1、ビデオ 2 (WFM OUT)、ビデオ 3 (スーパ
ー ON/OFF)、SD 再生時またはダウンコンバート時に出力

* SD シリアルデジタル入力オプション (AJ-UC1700G) と SDTI
入力オプション (AJ-YAC150P) は同時には挿入できません。
いずれか一方のみでご使用ください。

定 格

【ビデオ】

ビデオ調整範囲

- コンポーネントスタイル
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のYゲイン
-∞ ~ +3 dB
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のPbゲイン
-∞ ~ +3 dB
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のPrゲイン
-∞ ~ +3 dB
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のYブラックレベル
±10%
- コンポジットスタイル
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のビデオゲイン
-∞ ~ +6 dB
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のクロマゲイン
-∞ ~ +3 dB
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のクロマ位相*1
±30°
 - HD/SD SDI、コンポジット出力のセットアップ
±10%
- システム位相
 - HD SDI 出力システム位相
±5.5 H (±12100 sample, 13.5 nS step, 59/60Hz)
(±14520 sample, 50/25Hz)
(±15125 sample, 23/24Hz)
 - SD SDI 出力システム位相
±5.5 H (±9438 sample, 480i : 37nS step, 480p : 54nS step)
(±9504 sample, 576i)
 - コンポジットビデオ出力システム位相
±5.5 H (±9438 sample, 37nS step, 59Hz)
(±9504 sample, 37nS step, 50Hz)
 - コンポジットビデオ出力SC位相
±180° 以上

*1 50Hz/25Hzモード時はSDテープ再生のSD SDI/コンポジット出力のみ有効

【オーディオ】

デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48 kHz(ビデオに同期)

量子化

16 bits

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB(基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

90 dB以上(1 kHz, エンファシス OFF)

歪率

0.05%以下(1 kHz, エンファシス OFF, 基準レベル)

クロストーク

-80 dB以下(1 kHz, 2チャンネル間)

ワウ&フラッター

測定限界値以下

ヘッドルーム

20 dB

【オーディオ】

キュートラック

周波数特性

300 Hz ~ 6 kHz ± 3 dB

オーディオ入力端子

アナログ入力(CH1 ~ CH4)

XLR × 4, 600 Ω/High インピーダンス(切り替え可能)、
+4/0/-20 dBm 切り替え可能

デジタル入力(CH1/CH2, CH3/CH4, CH5/CH6, CH7/CH8)

BNC × 4, AES/EBU フォーマット

HD シリアルデジタル入力

BNC × 1 (SMPTE 292M/SMPTE299M 規格に準拠)、
BNC × 1 (アクティブスルー)

SD シリアルデジタル入力(オプション)

BNC × 1 (SMPTE 259M-C/SMPTE272M-A 規格に準拠)、
BNC × 1 (アクティブスルー)

キュートラック入力

XLR × 1, 600 Ω/High インピーダンス(切り替え可能)、
+4/0/-20/-60 dBm 切り替え可能

オーディオ出力端子

アナログ出力(CH1 ~ CH4)

XLR × 4, Low インピーダンス、
+4/0/-20 dBm 切り替え可能

デジタル出力(CH1/CH2, CH3/CH4, CH5/CH6, CH7/CH8)

BNC × 4, AES/EBU フォーマット

HD シリアルデジタル出力

BNC × 4 (SMPTE 292M/SMPTE299M 規格に準拠)

SD シリアルデジタル出力

BNC × 2 (SMPTE 259M-C/SMPTE294M/SMPTE272M-A 規格に準拠)

キュートラック出力

XLR × 1, Low インピーダンス(切り替え可能)、
+4/0/-20 dBm 切り替え可能

モニター出力

XLR × 2, Low インピーダンス(切り替え可能)、
+4/0/-20 dBm 切り替え可能

ヘッドホン出力

M6, 8 Ω, レベル可変

オーディオレベル調整範囲

-∞ ~ +12 dB

定 格

【その他入出力信号】

タイムコード入力

XLR × 1、0.5 ~ 8.0 V [p-p]、10 k Ω

タイムコード出力

XLR × 1、Low インピーダンス、
2.0 \pm 0.5 V [p-p] (600 Ω 負荷時)

RS-422A 入力

D-sub 9pin、RS-422A インターフェース

RS-422A 出力

D-sub 9pin、RS-422A インターフェース

RS-232C

D-sub 25pin、RS-232C インターフェース

パラレル入出力

D-sub 50pin

エンコーダリモート

D-sub 15pin

【オプション】

ラックマウントアダプタ

AJ-MA75P

SD-HD フォーマットコンバータボード

AJ-UC1700G

DVCPRO HD バンクデータ対応エンコーダ/デコーダボード

AJ-VNC150P

SDTI インターフェースボード

AJ-YAC150P

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

